

平成 30 年度
グローバル化に対応した外国語教育推進事業
(慶應義塾大学)
成果報告書

総括	1
韓国・朝鮮語	19
中国語	48
スペイン語	57
ドイツ語	73
フランス語	81

平成 31 年 3 月

巻頭言

本冊子は、文部科学省の委託事業として慶應義塾大学が実施した「平成 30 年度グローバル化に対応した外国語教育推進事業」の研究成果を纏めたものです。前年度の「平成 29 年度外国語教育強化地域拠点事業」同様、慶應義塾大学外国語教育研究センター研究推進委員会が受け皿となり、「初習外国語科目において言語種を超えて共有できる指導案と評価計画の作成と実践——逆向き設計論にもとづきパフォーマンス評価を取り入れた授業づくり」をテーマに、神奈川県で様々な言語を担当する中学・高校・大学の教員が慶應義塾日吉キャンパスで定期的集まる形で事業を進めました。参加メンバーは以下の通りです。

研究担当者：

山下 一夫	慶應義塾大学理工学部准教授（中国語・研究主任）
境 一三	慶應義塾大学経済学部教授（ドイツ語）
吉川 龍生	慶應義塾大学経済学部准教授（中国語）
吉村 創	慶應義塾高等学校教諭（ドイツ語）
櫻木 千尋	カリタス女子中学高等学校教諭（フランス語）
遠藤 正承	神奈川県立横浜翠嵐高等学校（定時制の課程）教諭（韓国語）
潮田 央	神奈川県立藤沢総合高等学校教諭（中国語）
日比野 規生	神奈川県立藤沢総合高等学校教諭（スペイン語）

運営指導委員：

中島 ベルナルド	神奈川県立国際言語文化アカデミア教授（スペイン語）
山下 誠	神奈川県立大師高等学校教諭（韓国語）
辻 祐哉	神奈川県立光陵高等学校教諭（英語）
水口 景子	（公財）国際文化フォーラム事務局長（外国語教育、国際交流）

オブザーバー：

温 悠	神奈川県立横浜桜陽高等学校教諭（中国語）
-----	----------------------

慶應義塾大学外国語教育研究センター：

矢田部 清美	慶應義塾大学外国語教育研究センター助教
仲眞 優子	臨時職員

現在、新学習指導要領が目指す、資質・能力の三つの柱（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう態度）の育成のための手立てとして、逆向き設計論にもとづきパフォーマンス評価を取り入れた指導の有効性が注目されています。また、5つの領域別に設定する目標の達成のために、CAN-DO リストの活用も推奨されている状況にあります。私たちはこうした点を踏まえ、前年度の「平成 29 年度外国語教育強化地域拠点事業」では、言語ごとに単元指導案・評価計画の作成と、その一部実践を試みました。

この「平成 30 年度グローバル化に対応した外国語教育推進事業」では、逆向き設計論をはじめとする指導と評価の方法について、さらなる理解を深めるとともに、わが国の諸外国語教育先進校における実践事例や小中高の英語教育、および他国の外国語教育研究において得られた知見をもとに、より効果的で汎用性を確保した指導案と評価計画の作成に取り組みました。その際、指導案と評価計画の合評や公開研究授業の相互参観によるフィードバックを行い、よりいっそうの質的向上も図って行きました。そしてそれらをもとに、最終的に複数単元においてパフォーマンス評価を取り入れた年間指導計画の策定を行いました。

本冊子の構成は以下の通りです。まず全体の総括として、冒頭に事業の概要を記した見取り図（文部科学省書式、1 枚）を置き、さらに平成 31 年 1 月 13 日に開催した本事業の成果報告会で用いたスライド「逆向き設計論にもとづきパフォーマンス評価を取り入れた授業づくり」および「英語教育からのコメント」を掲載しました。次に、韓国語・中国語・スペイン語・ドイツ語・フランス語の順で各国語の資料を収録しました。これらは、概要見取り図（文部科学省書式、1 枚）・単元指導案（単元案の概要・単元の指導計画・ルーブリック・ダイアログ例など）・1 月 13 日の成果報告会のスライド・実施した公開研究授業の資料（開催案内や使用した教材など）の順番で並んでいます。

本事業メンバーは、今後もさらに外国語教育についての議論を進めていきたいと考えています。

慶應義塾大学理工学部准教授（中国語）
外国語教育研究センター研究推進委員

山下 一夫

「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」取組事例 慶應義塾大学

○研究主題—初習外国語科目において言語種を超えて共有できる指導と評価の計画を、逆向き設計論をもとにパフォーマンス評価を取り入れて作成・実践し、成果をまとめ課題を展望する。

○研究仮説—前年度試行したパフォーマンス評価を取り入れた授業を、年間にわたって適正に配置することにより、5つの領域を意識した具体的な学習目標の達成と、新学習指導要領がめざす3つの資質・能力の涵養・育成を、より促進することができる。

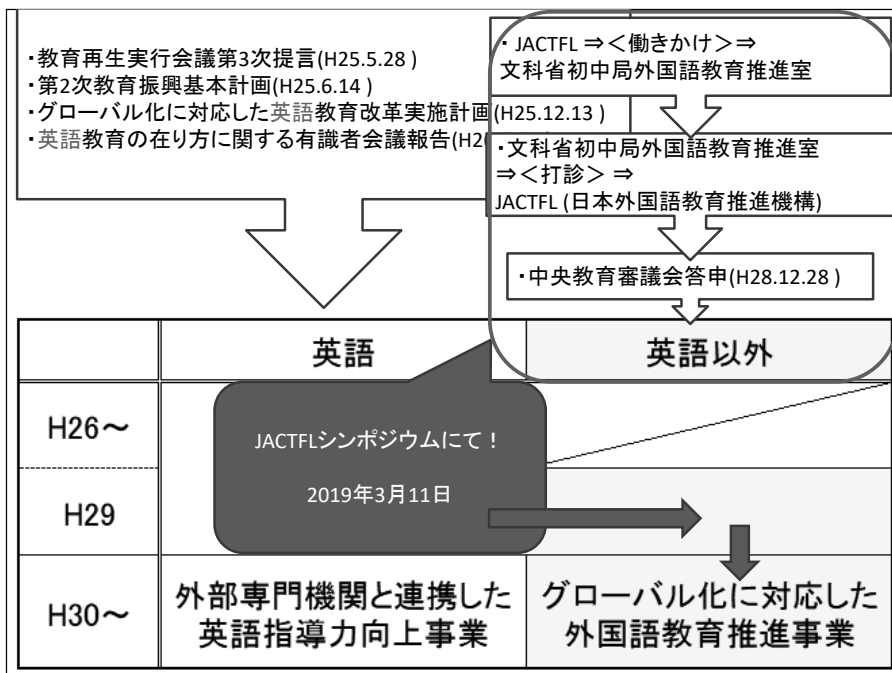
	ドイツ語(慶應高校3単位)	フランス語(カリタス中学2単位)	スペイン語(藤沢総合高校4単位)	韓国朝鮮語(横浜翠嵐高校2単位)	中国語(横浜桜陽高校2単位)
取組内容	P課題 ・履修2年目生徒対象に年4回設定。 ・うち3回目「慶應義塾高等学校を紹介し質疑応答する」単元を研究対象。	・履修2年目生徒対象に年3回設定 ・うち2回目「五輪で来日したフランス語圏選手や観光客に道案内をしよう」単元を研究対象。	・履修1年目生徒対象に年8回設定 ・うち7回目「私のお気に入り観光スポット」を研究対象。	・履修1年目生徒対象に年2回設定 ・うち2回目「ルーツの国・地方の言語や方言を紹介しよう」を研究対象。	・履修1年目生徒対象に年2回設定 ・うち1回目「あーすフェスタかながわ2019ボランティア参加時に会場案内をしよう」単元を研究対象。
	公開授業 ・グループ活動より紹介原稿の作成と相互検討を行う。原稿をもとに口頭発表の練習をし、相互評価を行う。⇒積極的な参加により、効率よく目標を達成していた。	・グループ活動により、多文化共生の視点を盛り込みながら原稿の作成と相互検討を行う。⇒積極的な参加により、効率よく目標を達成していた。	・定型会話に新出する、所在を表すestarと存在を表すhaberの用法を、既習言語である英語との対比で理解・演習する活動を行う。⇒状況を表す絵カードと教師の発問により、生徒が自ら気づき理解していた。	・クラス内プレゼン発表を行った。 ⇒研究協議では「基本的な発音がしっかりできている生徒もいた」「テーマと発表者である生徒の気持ちが合致していた」「教師の導きによりより深い文化的テーマを扱えることがわかった」等の批評があった。	・グループ活動により会場案内に必要な質問な文法項目と単語を意識した原稿の作成と相互検討を行う。⇒発音練習や原稿作成の活動など、普段よりもやる気があり、いきいきと取り組む態度が見られた。
	成果発表 ・ドイツ人留学生対象に、実際に学校案内を行った。	・クラス内でスキット発表を行った。	・クラス内でプレゼン発表を行った。		・教室内に模擬会場を設営して案内するペア活動を行った。
評価	定性的 ・自己評価の自由記述から、コミュニケーション方略や学習方略について、具体的な気づきがあり、学びに向かう力を育むことができたと判断する。	・多くの生徒がフランス語を実践的に使うことを楽しいと感じ、協働することの喜びを得られた。筆記が苦手な生徒ほどこのような傾向がある。 ・フランス文化やフランス語圏への興味が高まった生徒が多く、日本で外国語を教える意義をより意識したカリキュラムを考えていく必要性を感じている。	・目標の明確化と評価の難易度の段階的引き上げにより生徒の動機は向上し、生き生きと発表できた。 ・英語との対比の活用により両言語に対する興味・関心が高まった。 ・文化項目の学習機会を増やすことにより、国際社会への興味・関心が高まった生徒が多かった。	・生徒は自分自身と関係の深いテーマとらえ、意欲的に取り組んだ結果、自己肯定感が生まれた。 ・既習事項をふまえ、未習事項についても取り入れ、教師とやり取りしながら学習を深めようとしていた。 ・2単位という限られた時間の中でも、充実した発表ができる可能性がある。	・生徒が伝えたい内容をよく考え、必要な単語を自分で教科書から探しグループワークに取り組むようになった。 ・既習事項を的確に覚え互いに意見をだしあうようになった。 ・パフォーマンス課題を実社会でボランティアとして中国語で実践できるとわかると授業の出席率が上がった。
	定量的 ・自己評価において、「読む」「書く」「聞く」能力が事前より事後の方が平均的に低く評価された。実際に5技能を使用してみることができ、より正確に自己評価する能力が身に付いたと判断される。	・定型会話よりも会話を作成したほうがフランス語力があがる(62%) ・プレゼン発表は効果的な学習法である(56%) ・ペア、グループ活動について「好む」、「最も効果的」「楽しく勉強できる」(74%~83%) ・フランス文化やフランス語圏への興味が前より高まった(74%)	・英語学習の意欲の向上 80% ・4領域の能力の向上 82%(『話す(やり取り)』領域では64%) ・西語検定受験者の大幅増加 2016年2名→17年4名→18年20名 ・英語検定受験者の劇的増加 2016年12名→17年39名→18年62名 ・課題研究における国際関係テーマ選択者の増加=2017年8%→18年14%	・「プレゼン発表は好きである」、「プレゼン発表で韓国語に自信がついた」→「ややそう思う」=86%、「強くそう思う」=14%(生徒) ・「プレゼン発表課題の設定は適切である」→「とても適切」=94%、「おおよそ適切」=6%(参観教員)	・授業スタイルの中で「一人で勉強するのを好む」生徒が80%を占める一方、パフォーマンス課題で「中国語の勉強を一生懸命した」に解答した生徒は90%。 ・グループやペアワークに姿勢は肯定的ではないが、課題に取り組んでから後に生徒の「中国や中国語への肯定感、自分に対する肯定感」が非常に高くなる結果となった。
今後の課題	・長い期間をかけた割には、生徒は5技能が上達したとは判断しなかった。特に発表時にドイツ語で即時に受け答えすることに困難を感じていた。『話す(やり取り)』能力向上の手立てを検討する必要がある。	・会話作成時に、過重な負担、また負担の偏りがみられた。各生徒に均等にタスクを与えるジグソー法、生徒の学力差に配慮したグループ編成等を工夫する。個人、ペアワークを、フランス良く組み合わせる。 ・発表原稿をもとに使える表現集をまとめ、言語知識の定着を図る。	・プレゼンテーション台本作りに、グループワーク導入を検討する。 ・『話す(やり取り)』能力の向上のために、プレゼンテーション発表時の質疑におけるグループワーク導入など、方法を検討する。	・「読む」「書く」「話す(発表)」「力」「聞く」領域力を一定養うことができたが、話す(やり取り)能力向上の手立てを検討する必要がある。 ・効果的な発話、発音指導が必要である。 ・Can-do リストを年間指導計画においても有機的に活用する。	・グループ間での原稿相互チェックを効果的に行うための手立てを検討する必要がある(文型の限定など)。 ・効果的な発話、発音指導が必要である。
周知・普及	言語教育エキスポ2019での報告 JACTFL(日本外国語教育推進機構)シンポジウムの分科会における、名古屋大チーム(フランス語)および大阪大学チーム(ロシア語)と合同協議	フランス語教授法研究会 Journée pédagogique 2019での報告	スペイン語教育研究会での報告	高等学校韓国朝鮮語教育NETでの報告	高等学校中国語研究会での報告

○研究成果—授業実践の積み重ねにより、5つの領域を意識した具体的な学習目標の達成と、新学習指導要領がめざす3つの資質・能力の涵養・育成を、より促進する目途がたつたと言える。今後は、逆向き設計論の理解を深めながら、成果の周知・普及を目指したい。

平成30年度文部科学省グローバル化に対応した外国語教育推進事業

逆向き設計論にもとづき パフォーマンス評価を取り入れた授業づくり

韓国朝鮮語運営指導委員
(神奈川県立大師高等学校)
山下 誠



今日の流れ

- ①「グローバル化に対応した
外国語教育推進事業」とは？
- ②研究開発の方針
- ③今年度の取り組み
- ④成果と課題

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)(中教審第197号)

平成28年12月21日中央教育審議会

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1380731.htm

iv) 英語以外の外国語教育の改善・充実

○ グローバル化が進展する中、日本の子供たちや若者に多様な外国語を学ぶ機会を提供することは、語やその背景にある文化の多様性を尊重することにつながるため、英語以外の外国語教育の必要性を更に明確にすることが必要である。

- また、学習指導要領の改訂に向けて
- 外国語教育における領域別の目標を設定して作成するカリキュラムの研究や研修、教材開発などの取組について支援することが求められる。

外国語教育強化地域拠点事業(英語以外の外国語)

・中央教育審議会答申(平成28年12月21日)

「グローバル化が進展する中、日本の子供たちや若者に多様な外国語を学ぶ機会を提供することは、言語やその背景にある文化の多様性を尊重することにつながるため、英語以外の外国語教育の必要性を更に明確にすることが必要。」

→平成29年度より英語以外の外国語について拠点機関を指定。新学習指導要領に基づいた研究開発を支援。

※平成29年度「外国語教育強化地域拠点事業」において3拠点に委託(仏、独、中、韓、西、露)

※「平成27年度高等学校等における国際交流等の状況について」とし「国際交流の多い学校29校(中、韓、独、仏、西、露)」

委託先	平成30年度より + 神奈川県立横浜桜陽高等学校(中国語)	
学校法人慶應義塾	<ul style="list-style-type: none"> ・慶應義塾高等学校 ・カリタス女子中学高等学校 ・神奈川県立藤沢総合高等学校 ・神奈川県立横浜翠嵐高等学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語、ドイツ語 ・フランス語 ・中国語、スペイン語 ・韓国語
学校法人中西学園	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学高等学院 ・大妻中野高等学校 ・アサンプション国際高等学校 ・大阪市立西高等学校 	フランス語
国立大学法人 大阪大学	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道札幌丘珠高等学校 ・青森県立青森南高等学校 ・富山県立伏木高等学校 ・関東国際高等学校 	ロシア語

【事業内容】～「外国語教育強化地域拠点事業」公募要領より～

・研究対象となる英語以外の外国語(複数の言語を扱うこと可能)について、上記の英語に関する事業内容を参考に、以下の点を中心に研究開発を実施する。

○「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の五つの領域ごとに、具体的な学習到達目標を設定する。

○設定した学習到達目標を踏まえた教育課程の研究及び教材の検証を行う。○設定した学習到達目標を活用して指導及び評価の改善を図る。

○研究の成果を広く周知・普及させる機会を設定する。

<教材>研究開発の趣旨及び目的に即した独自教材を開発・使用するものとする。ただし、市販教材を併せて使用することも可能とする。

佐藤人海・(2017)「外国語教育政策の最近の動向」 5

* 文部科学省初等中等教育局国際教育課外国語教育推進室長

今日の流れ

①「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」とは？

②研究開発の方針

③今年度の取り組み

④成果と課題

慶応チームの特徴=多言語連携

- ・これまで言語教育においては、語彙や文法などの知識の伝達や技能の鍛錬に主力が置かれ、
- ・言語使用を通じて社会的行動を行う力(コミュニケーション能力)の育成は従とされる(なくなってしまう)傾向があった。



- ・複数の言語関係者が協働することにより、
- ・個別言語の知識・技能にかかわる課題を超えて、
- ・外国語教育としての普遍的な目標と方法に焦点を絞ることができる。



- ・韓国朝鮮語、スペイン語、中国語、ドイツ語、フランス語5言語協働
- ・推進事業他チームとの協働

(フランス語教授法研究会、ロシア語教育研究集会、ロシア語研究公開授業に参加)

研究開発課題

- * 新学習指導要領下記2項目に留意

⇒単元指導案作成⇒実践⇒検証

A:育成すべき資質・能力の3つの柱

(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう態度」)

B:指導目標の5領域(←4技能)

(「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと(やり取り)」、「話すこと(発表)」)

取り組み内容

- * 実現の手立て

A:逆向き設計論にもとづくカリキュラムデザイン

⇒単元目標としてパフォーマンス課題を設定

B:既習事項の参照、Can-doリストの活用

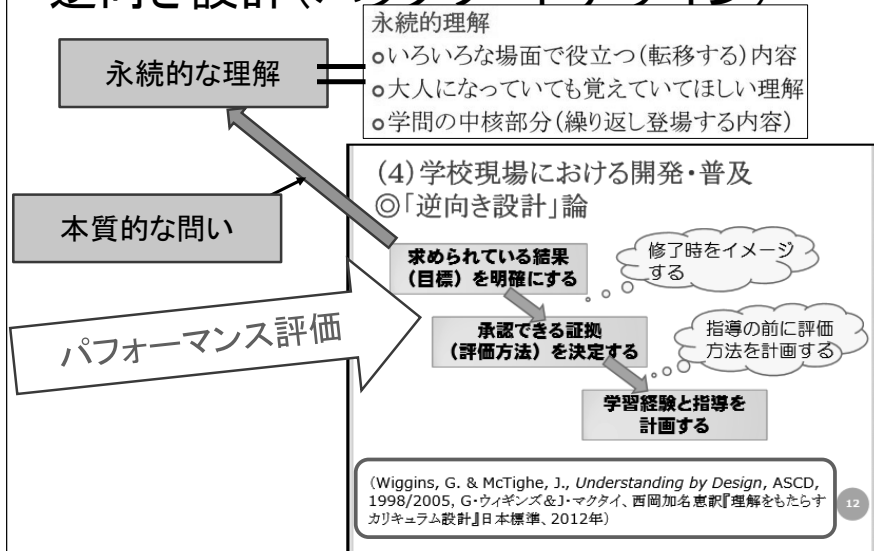
⇒より効果的な習得

育成すべき資質・能力の三つの柱 (案)

授業の中では三つの柱は不可分に機能している



逆向き設計(バックワードデザイン)

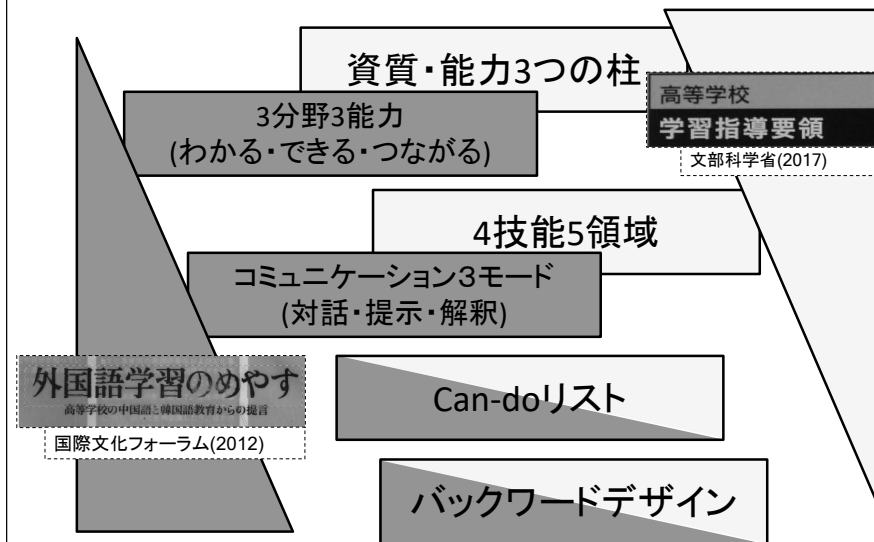
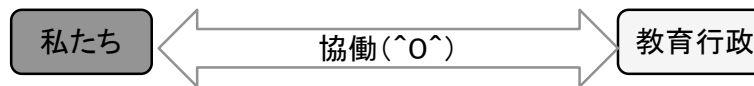


2013年度 教育課程論 II Ⅱ. 学力評価とカリキュラム設計 (教育課程) 講義資料より 2013年10月23日 京都大学 西岡加名恵

- ◎パフォーマンス評価とは・・・ 知識やスキルを使いこなす(活用・応用・総合する)ことを求めるような評価方法(問題や課題)
- ◎パフォーマンス課題とは・・・ 様々な知識やスキルを総合して使いこなすことを求めるような、複雑な課題。

具体的には、論説文やレポート、展示物といった完成作品や、スピーチやプレゼンテーション、実験の実施といった実演(狭義のパフォーマンス)を評価する課題。

広島県 第3回中核教員研修
 各教科を通じたコンピテンシーの育成について: パフォーマンス課題の開発と活用
 2015年5月8日、於 広島県教育センター、京都大学 西岡加名恵



研究開発課題

* 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、
 ⇒ 単元指導案の作成（「知識・技能」の育成と「読解力」の育成に「話す力」の育成を軸とする）
 A: 育成すべき能力の明確化（「知識・技能」の育成と「読解力」の育成に「話す力」の育成を軸とする）
 B: 指導目標の明確化（「知識・技能」の育成と「読解力」の育成に「話す力」の育成を軸とする）
 ⇒ 指導案様式を開発

取り組み

* 実現可能な単元指導案の作成
 A: 逆向き設計による単元指導案の作成
 ⇒ 単元目標としての既習事項を設定
 B: 既習事項の参照、Can-doリストの活用
 ⇒ より効果的な習得

〔裏面〕

次	ねらい（授業をとおして、生徒がどう変容しているか）	本次の間	学習内容	学習活動	言語の5つの領域の目標				
					聞く	読む	話す（やりとり）	話す（発表）	書く
1次 18時間目 28時間目	学校生活について、他者に親しみをもって紹介できるようにするための、言語技能・知識を身につけることができる。	屋食のとり方をわかりやすく、かつ、興味深く伝えるためには、一般的にはどのような語彙や表現が使われるのだろうか？	屋食のメニューの語彙ととり方に関するダイアローグを理解し、表現する。	①ダイアローグのモデル音声聞き、内容を理解する（個人） ②ロールプレイングの練習をする（ペア） ③クラス内発表をする（ペア） ④語彙・表現を学習する（個人、グループ）	○		○		

〔表面〕

単元指導案 作成者: _____

■単元案の概要

1 単元名 _____

2 実施するクラスの状況等

言語/科目名	実施時期
学習年次	言語レベル
クラスの状況	単元の授業時数
単位数	使用教材

3 単元の目標

この単元で目標とするパフォーマンス課題

本質的な問い	永続的理解
--------	-------

Can-doリスト

知識・技能	育むべき資質・能力 思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	文化と社会への気付きのポイント

(この単元で参照する既習事項)

4 単元の評価方法

筆記形式の小テスト・発表テスト(知識技能)	総合的評価(思考力判断力表現力・学びに向かう力に 대응する)
-----------------------	--------------------------------

今日の流れ

- ①「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」とは？
- ②研究開発の方針
- ③今年度の取り組み
- ④成果と課題

○研究仮説－前年度試行したパフォーマンス評価を取り入れた授業を、年間をとおして適正に配置することにより⇒

5つの領域を意識した具体的な学習目標の達成と、新学習指導要領がめざす3つの資質・能力の涵養・育成を、より促進することができる。

カリタス中等学校 2年フランス語II(2単位)

時期	4～6月	9～12月	1～3月
課題	スポーツや部活が話題の会話を作ろう!	2020オリンピックで来日した選手や外国人観光客に道案内をしよう!	「落ち」を入れて笑いの要素を含んだ会話を作ろう!
内容	スポーツがテーマの友人同士の会話を作り、演じる。	2020 オリンピックで来日した道に迷っているフランコフォニーの選手たちや観光客に道案内をしてあげたり、おすすめ場所をアドバイスしたりする会話を作り、演じる。	イベントを企画し、提案を受け入れたり断ったりする会話を笑いの要素を入れて作り、演じる。

横浜桜陽高等学校 2年中国語(2単位)

時期	1学期	2学期	3学期
課題	自己紹介をしよう	会場案内をしよう	買い物計画をたてよう
内容	自己紹介文を書き発表しよう	会場案内文を作成し実際に案内してみよう	中華街で中国語でお買い物や注文をしてみよう

横浜翠嵐高等学校 韓国朝鮮語(2単位)

実施時期	10月	12月
課題	ルーツの国・地方を紹介しよう	ルーツの国・地方の言語・方言を紹介しよう
内容		

京都府亀岡中学校 英語 1年生

時期	1学期	2学期	3学期
課題	なりきり自己紹介をしよう	好きなキャラクターを紹介しよう	自分の一日を発表しよう
内容	自己紹介文を書き、スピーチする	紹介文を書いて、スピーチする	日記を書いて、スピーチする

慶應義塾高等学校 3年ドイツ語II(3単位)

時期	前期中間試験まで (4月～5月中旬)	前期末試験まで (5月下旬～6月)	後期中間試験まで (9月～11月中旬)	学年末試験まで (11月下旬～1月)
課題	スピーチをしよう	自己アピールをしよう	学校を紹介しよう	ディスカッションをしよう
内容	短い物語を朗読する	面接の形式で、自分の趣味や特技について話し、クラスメートからの質問に答える	ドイツ人留学生を案内しながら、学校の各施設を紹介し、質疑応答をする	日常的なテーマで、10分程度のディスカッションをグループで行う

藤沢総合高等学校 スペイン語入門⇒発展(4単位)

実施時期	1回目	2回目	3回目・4回目
	(4月)	(5月)	(①7月・②9月)
課題	なりきり自己紹介	友人を紹介する	夏休みについて
内容	スペイン語圏の人になりきり、氏名、出身、好きな食べ物を発表する。	クラスメイトをスペイン語で紹介する	夏休みの予定を発表する(①) 夏休みの報告(②)
5回目	6回目	7回目	8回目
(10月)	(11月)	(12月)	(3月)
余暇の過ごし方	自分の町の魅力を語る	私のお気に入り観光スポット	私の1年間
スライド、写真を用い余暇の過ごし方や趣味を紹介し、理解してもらおう。	自分の住んでいる町の魅力を語り、理解してもらおう	2020年東京オリンピックに来日した外国人に語る「私のお気に入り観光スポット」	学校生活や私生活を振り返り、かんばったこと、やり遂げられなかったことを発表する。

	ドイツ語 (慶應高校3単位)	フランス語 (カリタス中学2単位)	スペイン語 (藤沢総合高校4単位)	韓国朝鮮語 (横浜翠嵐高校2単位)	中国語 (横浜桜陽高校2単位)
開催日	10月18日(木) 参加者:6名	11月21日(水) 参加者:15名	12月12日(水) 参加者:13名	12月14日(金) 参加者:20名	11月16日(金) 参加者:7名
公開授業	・グループ活動により紹介原稿の作成と相互検討を行う。原稿をもとに口頭発表の練習をし、相互評価を行う。 ⇒積極的な参加により、効率よく目標を達成していた。	・グループ活動により、多文化共生の視点を盛り込みながら原稿の作成と相互検討を行う。 ⇒積極的な参加により、効率よく目標を達成していた。	・定型会話に新出する、所在を表すestarと存在を表すhaberの用法を、既習言語である英語との対比で理解・演習する活動を行う。 ⇒状況を表す絵カードと教師の発問により、生徒が自ら気づき理解していた。	・課題のクラス内プレゼン発表を行う。 ⇒研究協議では「基本的な発音がしっかりできている生徒もいた」「テーマと発表者である生徒の気持ちに合致していた」「教師の導きによりより深い文化的テーマを扱えることがわかった」等の批評があった。	・グループ活動により会場案内に必要な質問な文法項目と単語を意識した原稿の作成と相互検討を行う。 ⇒発音練習や原稿作成の活動など、普段よりもやる気がありいきいきと取り組む態度が見られた
成果発表	・ドイツ人留学生対象に、実際に学校案内を行った。	・クラス内でスキット発表を行った。	・クラス内でプレゼン発表を行った。		・教室内に模擬会場を設営して案内するペア活動を行った。

○研究仮説—前年度試行したパフォーマンス評価を取り入れた授業を、年間にわたって適正に配置することにより、5つの領域を意識した具体的な学習目標の達成と、新学習指導要領がめざす3つの資質・能力の涵養・育成を、より促進することができる。



○研究成果—授業実践の積み重ねにより、5つの領域を意識した具体的な学習目標の達成と、新学習指導要領がめざす3つの資質・能力の涵養・育成を、より促進する見通しをもつことができた。

○今後の課題

- ① 逆向き設計論の理解の深化
- ② 英語をはじめとする諸言語教育研究との連携
- ③ 研究成果の周知・普及

今日の流れ

- ① 「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」とは？
- ② 研究開発の方針
- ③ 今年度の取り組み
- ④ 成果と課題

JACTFL/SOLIFIC 主催
シンポジウム実施要項

シンポジウム

第7回外国語教育の未来を拓く：
多文化共生のための多言語・複言語教育

【午後の部】

◆パネルディスカッション◆
教師ネットワークは多言語教育推進にどう関われるか 1
—韓国とアメリカの事例に学ぶ—
鄭 濤 (ジョン・ヒョン) (韓国外国語教育正常化推進連合 常任代表)
林 昇圭 (イム・スンギョ) (韓国外国語教育正常化推進連合 副代表)
富作 靖彦 (カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)

◆分科会◆

分科会 1：教師ネットワークは多言語教育推進にどう関われるか 2
—JACTFL のこれまでの成果と今後の可能性—
分科会 2：実践報告 (1)
分科会 3：実践報告 (2)

日 時：2019年3月10日(日) 10:00~17:00
会 場：上智大学四谷キャンパス <http://www.sophia.ac.jp>

英語教育からのコメント

神奈川県立光陵高等学校
辻 祐哉

英語以外の外国語の位置づけ（1）

第8節 その他の外国語に関する科目

- 1 その他の外国語に関する科目については、第1から第6まで及び第3款に示す英語に関する各科目の目標及び内容などに準じて指導を行うものとする。

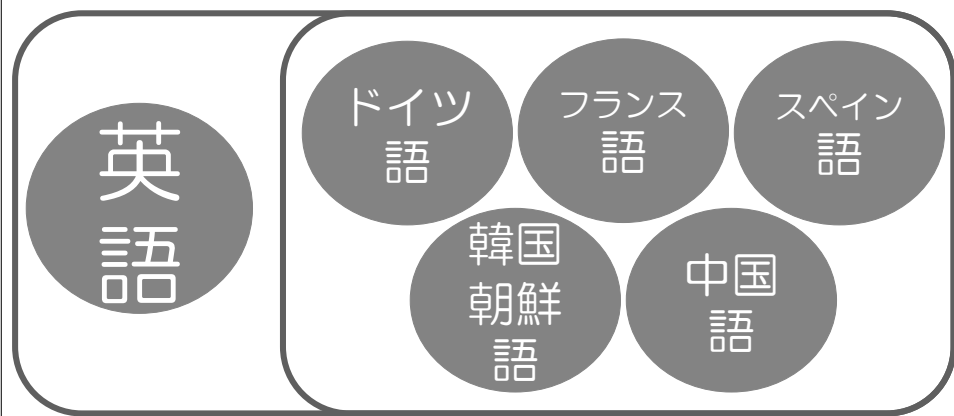
英語の目標などに
「準じて」
指導を行う



「同じ外国語」
という視点を持つ

平成30年7月公布 学習指導要領外国語編・英語編

英語以外の外国語の位置づけ（2）



英語以外の外国語の位置づけ（3）

- 2 高等学校において英語以外の外国語を初めて履修させる場合には、生徒の学習負担等を踏まえ、適切に指導するものとする。

新たに追加された
文言



本腰を入れて取り
組む必要がある

平成30年7月公布 学習指導要領外国語編・英語編

学習指導要領比較対照表（1）

改訂（平成30年告示）	現行（平成21年告示）
第2章 各学科に共通する各教科	第2章 各学科に共通する各教科
第8節 外国語	第8節 外国語
第1款 目標	第1款 目標
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、<u>聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら</u>、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。</p>
	平成30年7月公布 高等学校学習指導要領比較対照表【外国語】

学習指導要領比較対照表（2）

！ 目標のポイント

✓ **目的や場面、状況**
（聞き手などに配慮）

学習指導要領比較対照表（3）

！ 目標のポイント

意味のある
パフォーマンス課題

学習指導要領比較対照表（4）

第3款 各科目に共通する指導計画の作成と内容の取扱い	第4款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い
<p>1 指導計画の作成に当たっては、小学校や中学校における指導との接続に留意しながら、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) <u>単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。</u>その際、具体的な課題等を設定し、生徒が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、<u>コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現、文法などの知識を五つの領域（「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」及び「論理・表現Ⅲ」においては三つの領域。3において同じ。）における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ること。</u></p> <p>(2) 「英語コミュニケーションⅡ」は「英語コミュニケーションⅠ」を、「英語コミュニケーションⅢ」は「英語コミュニケーションⅡ」を履修した後に履修させることを原則とすること。</p> <p>(3) 「論理・表現Ⅱ」は「論理・表現Ⅰ」を、「論理・表現Ⅲ」は「論理・表現Ⅱ」を履修した後に履修させることを原則とすること。</p>	<p>1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(新設)</p> <p>(1) 「コミュニケーション英語Ⅱ」は「コミュニケーション英語Ⅰ」を履修した後に、「コミュニケーション英語Ⅲ」は「コミュニケーション英語Ⅱ」を履修した後に、「英語表現Ⅱ」は「英語表現Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とすること。</p>
	平成30年7月公布 高等学校学習指導要領比較対照表【外国語】

学習指導要領比較対照表（5）

⚠ 指導計画のポイント

- ✓ まとまりを見通した
- ✓ 目的や場面、状況
- ✓ 実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実

学習指導要領比較対照表（6）

⚠ 指導計画のポイント

逆向き設計
パフォーマンス課題

現場の英語教員が困っていること



そもそも教科書の内容をカバーするので精一杯...

他の先生に協力をお願いしても断られてしまうかも...



いいパフォーマンス課題が思い浮かばない...

現在の英語検定教科書の例（1）

Grammar & Expressions

Grammar Points

- ① 仮定法過去 [If S + 動詞の過去形, S + would / could + 動詞]
- a. If there were no safe water at all, we could not live. (p.94, II.5-6)
 - b. If Ken were here, he would tell us what we should do.
 - c. If I knew her e-mail address, I could send her this photo.
 - d. If I had enough money, I could buy the new computer.

Practice

- Fill in the blanks and talk with your partner.
- Q If you had enough (money / time), what would you do?
 - Q If I () enough (money / time), I () () ()
 - Q If you were (the president of the USA / the prime minister of Japan / ...), what would you do?
 - Q If I () () (the president of the USA / the prime minister of Japan / ...), I () () ()

② 関係代名詞の非制限用法

- a. Japan's annual rainfall is about 1,700 mm, which is twice the world's average. (p.98, II.5-6)
- b. She has three daughters, who all became farmers.
- c. She has three daughters who became farmers.
- d. The building, which was completed in 1965, is now used as a community center.

③ seem + to-不定詞

- a. Global water shortages seem (to be) almost certain to happen. (p.95, I.7)
- b. She seems to know the answer to the math problem.
- c. There seems to have been an accident on the main street.

①

仮定法過去 [If S + 動詞の過去形, S + would / could + 動詞]

- a. If there were no safe water at all, we could not live. (p.94, II.5-6)
- b. If Ken were here, he would tell us what we should do.
- c. If I knew her e-mail address, I could send her this photo.
- d. If I had enough money, I could buy the new computer.

いつこの文法使うの？
場面や状況×

コミュニケーション英語 I

現在の英語検定教科書の例 (2)

Grammar 1 直説法と仮定法

A 直説法と仮定法

1. If it rains tomorrow, I will stay home. (もし明日、雨が降れば)

2. If I lived near the sea, I could go swimming every day. (もし海の近くに住んでいれば)

B 仮定法過去と仮定法過去完了

3. If I were free, I could go with you. (もし自由なら、一緒に行きたい)

4. If I knew his phone number, I would call him. (もし彼が電話番号を知っていたら、彼に電話するつもりだ)

5. If I had been free, I could have gone with you. (もし自由なら、一緒に行けた)

6. If I had known his phone number, I would have called him. (もし彼が電話番号を知っていたら、彼に電話していた)

C 仮定法現在完了と仮定法過去完了

7. If he had joined the team, he would be a star now. (もし彼がチームに入っていたら、今スターになっていた)

8. If you were to write a book, what would it be about? (もしあなたが本を書いたら、それは何について書く?)

9. If he should change his mind, he would let us know. (もし彼が考えを変えたら、私たちに知らせる)

10. Were I rich, I could buy the car. (もし私が金持ちなら、車を買える)

A 直説法と仮定法

1. If it rains tomorrow, I will stay home. (もし明日、雨が降れば)
2. If I lived near the sea, I could go swimming every day. (もし海の近くに住んでいれば)

1. 直説法: 事実や、実際に起こる可能性があることを述べる (→ 実際に、雨が降る可能性がある)

2. 仮定法: 事実と違うこと、実際には起こり得ないことを述べる (→ 実際に、海の近くに住んでいない)

使い分けは分かったけど、
どんな時に使うのかな?
実際のコミュニケーションにおいて
活用する学習の充実×

英語表現 I

現場の英語教員が困っていること

指導計画が大事!
(逆向き設計、年間計画)

目標や問題認識を共有し、
チームとして考えよう!

EFL教材を見たり、先生たちと
を情報共有したりしよう!

指導計画の作成 (1)

	目標	1年	2年	3年
READING	様々な英文を読み、多様な考え方が、その見方を理解し、自分の考えを持つことができる。	文章と文章のつながりを理解することができる。(ディスコースマーカ―や結集性(cohesion)、一貫性(coherence)) WPMは100を目指す。	Topic sentence / body / concluding sentenceを意識し、文のまとまりに合わせ、適切なタイトルを選ぶことができる。 WPMは120を目指す。(センター試験に余裕があるレベル)	速読や略読など、文章によって適切なスキミングを使い分けられることができる。 Authenticな英文を読むことができる。 WPMは150を目指す。(TOEICで余裕があるレベル)
WRITING	他者に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。	英文を書くことに抵抗を感じない。(Fluency, Global/Local Error) 基本的な型(理由の添削、アフタインク)を用いて英文を書くことができる。	英文の細かい部分まで意識できる。(Accuracy, Local Errorにも注意) 内容の深化を図る。(論理的に考えて文)	手紙やメールなど、receiver(相手)や上司などに応じて適切な表現や言い表現(無生物主語、分詞構文など)を用いて英文を書くことができる。 20分〜200語程度(分冊誌大 JELTSの250語)の英文を書くことができる。
LISTENING	様々な英語に触れ、要点などを押さえることができる。	英語を話すことに抵抗を感じない。(Fluency) Fillerや適切な表現を使いながら会話をすることができる。	英文の細かい部分まで意識できる。(Accuracy) 聞き手からの質問など(+)があっても自然な会話を続けることができる。	registerや genre、contextを意識して会話を続けることができる。(Accuracy) 自然な会話で会話の目的を達成することができる。
SPEAKING (INTERACTION)	聞き手に応じた適切な表現やアイコンタクトなどの工夫を生かし、自分の考えを伝えることができる。	聞き手を意識して発表をすることができる。(アイコンタクトなどの定着) 定型句などを用いての発表ができる。	聞き手を理解しやすしい発表をすることができる。(グラフの説明やデータを用いた発表など)	聞き手を意識して発表をすることができる。(contextや registerを意識した発表など)

指導計画の作成 (2) 目標の設定

	目標	1年	2年	3年
READING	様々な英文を読み、多様な考え方が、その見方を理解し、自分の考えを持つことができる。	文章と文章のつながりを理解することができる。(ディスコースマーカ―や結集性(cohesion)、一貫性(coherence)) WPMは100を目指す。	Topic sentence / body / concluding sentenceを意識し、文のまとまりに合わせ、適切なタイトルを選ぶことができる。 WPMは120を目指す。(センター試験に余裕があるレベル)	速読や略読など、文章によって適切なスキミングを使い分けられることができる。 Authenticな英文を読むことができる。 WPMは150を目指す。(TOEICで余裕があるレベル)
WRITING	他者に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。	英文を書くことに抵抗を感じない。(Fluency, Global/Local Error) 基本的な型(理由の添削、アフタインク)を用いて英文を書くことができる。	英文の細かい部分まで意識できる。(Accuracy, Local Errorにも注意) 内容の深化を図る。(論理的に考えて文)	手紙やメールなど、receiver(相手)や上司などに応じて適切な表現や言い表現(無生物主語、分詞構文など)を用いて英文を書くことができる。 20分〜200語程度(分冊誌大 JELTSの250語)の英文を書くことができる。
LISTENING	様々な英語に触れ、要点などを押さえることができる。	英語を話すことに抵抗を感じない。(Fluency) Fillerや適切な表現を使いながら会話をすることができる。	英文の細かい部分まで意識できる。(Accuracy) 聞き手からの質問など(+)があっても自然な会話を続けることができる。	registerや genre、contextを意識して会話を続けることができる。(Accuracy) 自然な会話で会話の目的を達成することができる。
SPEAKING (INTERACTION)	聞き手に応じた適切な表現やアイコンタクトなどの工夫を生かし、自分の考えを伝えることができる。	聞き手を意識して発表をすることができる。(アイコンタクトなどの定着) 定型句などを用いての発表ができる。	聞き手を理解しやすしい発表をすることができる。(グラフの説明やデータを用いた発表など)	聞き手を意識して発表をすることができる。(contextや registerを意識した発表など)

目標

他者に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。

WRITING

指導計画の作成（3）目標の具体化

	目標	1年	2年	3年
READING	様々な英文を速く、多様な考え方も理解し、自分の考えを持つことができる。	文章と文章のつながりを理解することができる。(ディスコースマーカ―や結束性(cohesion)、一貫性(coherence)) WPMは100を目指す。	Topic sentence / body / concluding sentenceを認識し、文のまとまりにふさわしいタイトルを選ぶことができる。 WPMは120を目指す。(センター試験に余裕があるレベル)	速読や精読など、文章によってラーディングスキルを使い分けができる。 Authenticな英文を読むことができる。 WPMは150を目指す。(TOEICですべて読み終わるレベル)
WRITING	他者に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。	英文を書くことに抵抗を感じない。	英文を書くことに抵抗を感じない。(Fluency, Global/Local Errorの理解)	英文を書くことに抵抗を感じない。(Fluency, Global/Local Errorの理解)
LISTENING	様々な英語に触れ、要点などを押さえることができる。	身近なテーマにや知っている知る馴染みのある内容の理解ができる。	registerや genre、contextを意識して会話を続けることができる。(Accuracy)	registerや genre、contextを意識して会話を続けることができる。(Accuracy)
SPEAKING (INTERACTION)	英語を話すことに対して抵抗感を感じず、積極的に他者とコミュニケーションを図ることができる。聞き手に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。	Fillerや適切な表現を使いながら会話を続けることができる。	自然な流れで会話の目的を達成することができる。(CEFR A2レベル)	自然な流れで会話の目的を達成することができる。(CEFR B2レベル)
SPEAKING (PRESENTATION)	聞き手に応じた適切な表現やアイコンタクトなどの工夫を生かして、自分の考えを伝えることができる。	聞き手を意識して発表することができる。 (アイコンタクトなどの定着)	聞き手を理解しやすい発表をすることができる。(contextや registerを意識した発表など)	聞き手を意識して理解しやすい発表をすることができる。(contextや registerを意識した発表など)

3年

genre(手紙やメールなど)や receiver(友達や上司など)に応じて適切な表現や幅広い表現(無生物主語、分詞構文など)を用いて英文を書くことができる。

20分で200語程度(分量最大IELTSの250語)の英文を書くことができる。

指導計画の作成（4）目標の逆算

	目標	1年	2年	3年
READING	様々な英文を速く、多様な考え方も理解し、自分の考えを持つことができる。	文章と文章のつながりを理解することができる。(ディスコースマーカ―や結束性(cohesion)、一貫性(coherence)) WPMは100を目指す。	文章と文章のつながりを理解することができる。(ディスコースマーカ―や結束性(cohesion)、一貫性(coherence)) WPMは120を目指す。(センター試験に余裕があるレベル)	速読や精読など、文章によってラーディングスキルを使い分けができる。 Authenticな英文を読むことができる。 WPMは150を目指す。(TOEICですべて読み終わるレベル)
WRITING	他者に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。	英文を書くことに抵抗を感じない。	英文を書くことに抵抗を感じない。(Fluency, Global/Local Errorの理解)	英文を書くことに抵抗を感じない。(Fluency, Global/Local Errorの理解)
LISTENING	様々な英語に触れ、要点などを押さえることができる。	身近なテーマにや知っている知る馴染みのある内容の理解ができる。	registerや genre、contextを意識して会話を続けることができる。(Accuracy)	registerや genre、contextを意識して会話を続けることができる。(Accuracy)
SPEAKING (INTERACTION)	英語を話すことに対して抵抗感を感じず、積極的に他者とコミュニケーションを図ることができる。聞き手に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。	Fillerや適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。	自然な流れで会話の目的を達成することができる。(CEFR A2レベル)	自然な流れで会話の目的を達成することができる。(CEFR B2レベル)
SPEAKING (PRESENTATION)	聞き手に応じた適切な表現やアイコンタクトなどの工夫を生かして、自分の考えを伝えることができる。	聞き手を意識して発表することができる。 (アイコンタクトなどの定着)	聞き手を理解しやすい発表をすることができる。(contextや registerを意識した発表など)	聞き手を意識して理解しやすい発表をすることができる。(contextや registerを意識した発表など)

1年

英文を書くことに抵抗を感じない。

(Fluency, Global/Local Errorの理解)

基本的な型(理由の述べ方、パラグラフライティング)を理解しそれに従って英文を書くことができる。

100語程度の文量を書くことができる。

同僚性（1）実際にあった例

	目標	1年	2年	3年
READING	様々な英文を速く、多様な考え方も理解し、自分の考えを持つことができる。	文章と文章のつながりを理解することができる。(ディスコースマーカ―や結束性(cohesion)、一貫性(coherence)) WPMは100を目指す。	文章と文章のつながりを理解することができる。(ディスコースマーカ―や結束性(cohesion)、一貫性(coherence)) WPMは120を目指す。(センター試験に余裕があるレベル)	速読や精読など、文章によってラーディングスキルを使い分けができる。 Authenticな英文を読むことができる。 WPMは150を目指す。(TOEICですべて読み終わるレベル)
WRITING	他者に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。	英文を書くことに抵抗を感じない。	英文を書くことに抵抗を感じない。(Fluency, Global/Local Errorの理解)	英文を書くことに抵抗を感じない。(Fluency, Global/Local Errorの理解)
LISTENING	様々な英語に触れ、要点などを押さえることができる。	身近なテーマにや知っている知る馴染みのある内容の理解ができる。	registerや genre、contextを意識して会話を続けることができる。(Accuracy)	registerや genre、contextを意識して会話を続けることができる。(Accuracy)
SPEAKING (INTERACTION)	英語を話すことに対して抵抗感を感じず、積極的に他者とコミュニケーションを図ることができる。聞き手に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。	Fillerや適切な表現を使いながら会話を続けることができる。	自然な流れで会話の目的を達成することができる。(CEFR A2レベル)	自然な流れで会話の目的を達成することができる。(CEFR B2レベル)
SPEAKING (PRESENTATION)	聞き手に応じた適切な表現やアイコンタクトなどの工夫を生かして、自分の考えを伝えることができる。	聞き手を意識して発表することができる。 (アイコンタクトなどの定着)	聞き手を理解しやすい発表をすることができる。(contextや registerを意識した発表など)	聞き手を意識して理解しやすい発表をすることができる。(contextや registerを意識した発表など)

目標

様々な英語に触れ、要点などを押さえることができる。

LISTENING

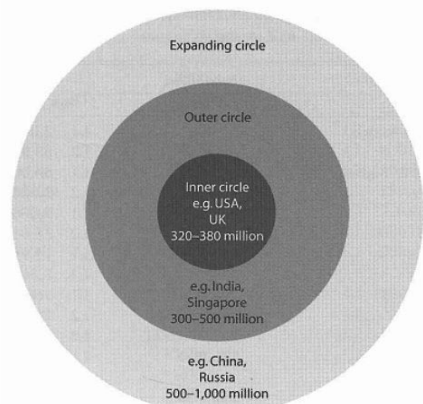
同僚性（2）実際にあった例

?

アメリカやイギリスの英語だけでいいのでは？

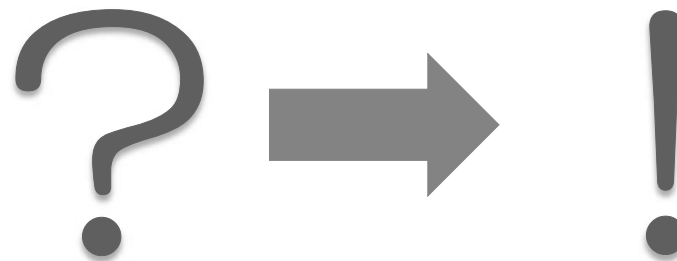
さまざまなジャンルは必要？
問題を解決せればいい！

同僚性（3）実際にあった例



英語が母語
～3億8000万人
英語が第二言語
～5億人
英語が外国語
～10億人

同僚性（4）チームとして



同僚性（5）光陵高校での実践

問題点の共有

考えの深化

パフォーマンス課題

学年を越えたやりとり

同僚性（6）光陵高校での実践

1年生

2年生

①質問

②添削＋回答＋質問

③回答＋質問

④添削＋回答

⑤エッセイ

⑤エッセイ

同僚性 (7) 光陵高校での実践

1年生

(Question)

What should I do now?

(Comment)

④

I'm not good at studying chemistry, but I need it for my future. This is because I will ~~chase~~^{choose} chemistry a second grader. What should I do now? 47

同僚性 (8) 光陵高校での実践

2年生

(Answer and comment)

You should think if you really need it because studying chemistry is harder than your thought. Not to waste your high school life, you should think more and more things. importance of studying?

④

(Additional question)

Which university do you want to go? why?

同僚性 (9) 光陵高校での実践

1年生

(Answer and comment)

I understand your opinion.

I want to go to Yokohama municipal university, because I want to be a nurse in the future. University

④

(Additional question)

What do you want to be in the future? 40

同僚性 (10) 光陵高校での実践

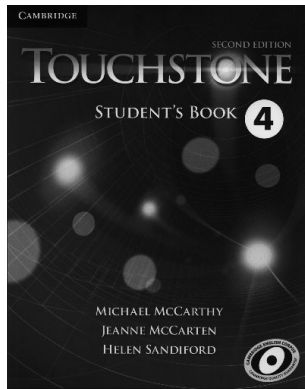
2年生

(Answer and comment)

I answer this question because he absent today. Your goal is so good! I want to go to Waseda university, because it's lesson was very interesting. I think your goal is so difficult to enter. So, you must study more and more!

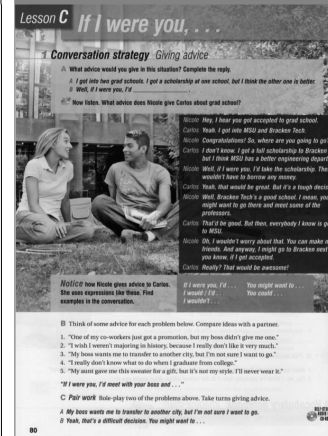
④

情報共有 (1)



Unit	Functions / Topics	Grammar	Vocabulary	Conversation strategies	Pronunciation
Unit 7 Relationships pages 65-74	<ul style="list-style-type: none"> Talk about friendships Discuss dating Talk about relationships with neighbors 	<ul style="list-style-type: none"> Subject relative clauses Object relative clauses Phrasal verbs 	<ul style="list-style-type: none"> Phrasal verbs, including expressions to talk about relationships 	<ul style="list-style-type: none"> Soften comments with expressions like <i>I think, probably, kind of, and in a way</i> Use <i>though</i> to give a contrasting idea 	<ul style="list-style-type: none"> Stress in phrasal verbs
Unit 8 What if? pages 75-84	<ul style="list-style-type: none"> Talk about how you wish your life were different and why Discuss how to deal with everyday dilemmas 	<ul style="list-style-type: none"> Use <i>wish</i> + past form of verb to talk about wishes for the present or future Conditional sentences with <i>if</i> clauses about imaginary situations 	<ul style="list-style-type: none"> Expressions with verbs and prepositions 	<ul style="list-style-type: none"> Give advice using expressions like <i>If I were you . . . / I would . . .</i> and <i>You might want to . . .</i> Use expressions with <i>that</i> clauses about an idea or suggestion 	<ul style="list-style-type: none"> Intonation in long questions
Unit 9 Tech savvy? pages 85-94	<ul style="list-style-type: none"> Discuss gadgets and technology Ask for and offer help with technology problems 	<ul style="list-style-type: none"> Questions within technology Separable phrasal verbs with objects <i>how to</i> + verb, <i>where to</i> + verb, and <i>what to</i> + verb 	<ul style="list-style-type: none"> Phrasal verbs, including expressions to talk about operating electronic machines and gadgets 	<ul style="list-style-type: none"> Give a different opinion Use expressions like <i>You know what I mean?</i> to ask for agreement 	<ul style="list-style-type: none"> Link final consonants and initial vowels

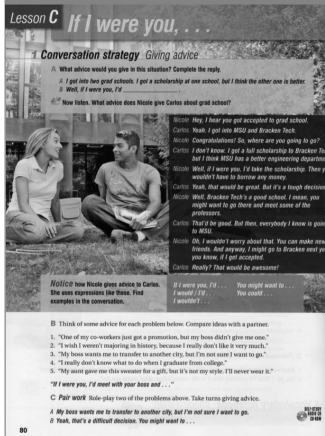
情報共有 (1) EFLの教科書の例



Nicole Hey, I hear you got accepted to grad school.
 Carlos Yeah, I got into MSU and Bracken Tech.
 Nicole Congratulations! So, where are you going to go?
 Carlos I don't know. I got a full scholarship to Bracken Tech, but I think MSU has a better engineering department.
 Nicole Well, if I were you, I'd take the scholarship. Then you wouldn't have to borrow any money.
 Carlos Yeah, that would be great. But it's a tough decision.
 Nicole Well, Bracken Tech's a good school. I mean, you might want to go there and meet some of the professors.
 Carlos That'd be good. But then, everybody I know is going to MSU.
 Nicole Oh, I wouldn't worry about that. You can make new friends. And anyway, I might go to Bracken next year, you know, if I get accepted.
 Carlos Really? That would be awesome!

TOUCHSTONE

情報共有 (2) EFLの教科書の例



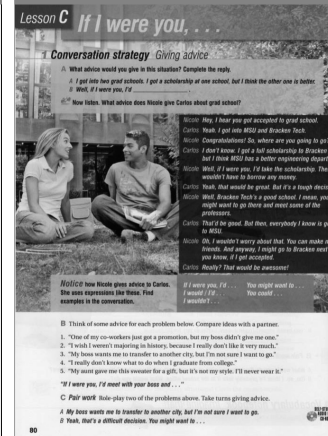
B Think of some advice for each problem below. Compare ideas with a partner.

- "One of my co-workers just got a promotion, but my boss didn't give me one."
- "I wish I weren't majoring in history, because I really don't like it very much."
- "My boss wants me to transfer to another city, but I'm not sure I want to go."
- "I really don't know what to do when I graduate from college."
- "My aunt gave me this sweater for a gift, but it's not my style. I'll never wear it."

"If I were you, I'd meet with your boss and . . ."

TOUCHSTONE

情報共有 (3) EFLの教科書の例



文法説明

自分の答えを
考える

コミュニケーションの場面

ロール
プレイ

C Pair work Role-play two of the problems above. Take turns giving advice.

- A My boss wants me to transfer to another city, but I'm not sure I want to go.
 B Yeah, that's a difficult decision. You might want to . . .

TOUCHSTONE

まとめ

「チーム外国語」

として、生徒のために協力をしていきましょう！

ご清聴
ありがとうございました

神奈川県立光陵高等学校
辻 祐哉

韓国・朝鮮語

平成29～30年度「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」 ～横浜翠嵐高等学校～

研究主題

昨年度作成・実践した、逆向き設計論にもとづきパフォーマンス課題を目標にした単元指導案をもとに、パフォーマンス課題の年間（複数年次）配置デザインを描きつつ、より効果的で汎用的な指導案と評価計画の作成に取り組み、研究授業により成果を検証する。

取組の内容

・(昨年度は履修2年目のクラスで実施→)今年度は履修1年目のクラスで実施＝学習動機の濃淡が前提
 ・外国につながる受講生徒が多いことを踏まえ、「ルーツの国や地方を紹介しよう」「ルーツの国・地方の言語や方言を紹介しよう」の単元でパフォーマンス課題を設定し取り組ませた。・単元指導案に沿い、12月14日に研究授業を実施した。
 生徒は「ルーツの国・地方の言語・方を紹介しよう」を韓国語で発表した。研究協議では「テーマと発表者である生徒の気持ちが合致していた」「教師の導きによりより深い文化的テーマを扱えることがわかった」等の批評をいただいた。
 右は当日のワークシート、左は当日の写真。



()학년 ()반, 이름 name()

ルーツの国(地方)の言語(方言)を紹介しよう!ワークシート 2018年12月14日(日)

「目標設定＝評価のためのルーブリック」は別紙をみながらこたえてください。

なまえ (カタカナ でよい)	発表者が紹介したその言語や方言の語を (ひらがな、英文字、振替等で書いてもよい。)	発表への感想 ・言語(方言)への感想	目標設定＝評価のためのルーブリック	5	4	3	2	1
1	①	②	A					
	③	④	B					
	⑤		C					
			D					
			E					
			F					

成果①

- ・生徒は自分自身と関係の深いテーマととらえ、意欲的に調べ、取り組んだ(担当者)。
- ・生徒は既習学習事項だけではなく、未習事項についても発表に取り入れ、教師とやり取りしながら学習を発展していこうとしていた(担当者)。
- ・2単位という少ない授業時間の中でも、生徒が生き生きと発表に取り組めるという可能性がある(管理職)。
- ・このようなテーマで発表することにより生徒の自己肯定感が生まれる(外部からの参観者)。

成果②

<生徒アンケートより>
 「プレゼン発表は好きである」、「プレゼン発表で韓国語に自信がつくようになった」について7名中6名が「ややそう思う」、1名が「強くそう思う」と答えた。プレゼン発表には拒否感が強いのではないかという担当者の予想とは異なる前向きな回答であった。
 <教員アンケートより>
 「プレゼン発表課題は設定について」、16名中15名が「とても適切」、1名がおおよそ適切」と答えた。教員は有効な方法であると考えていることを確認することができた。

今後の課題・方向性

- ・Can-doリストを活用し、単元指導の過程での指標としたが、今後、さらに年間指導計画においても有機的に活用できるよう工夫したい。
- ・パフォーマンス課題(プレゼン発表)において、生徒自身が調べたり、教師とやりとりすることにより、関心を拡大できた一方、「読む」「書く」「話す(発表)」力、および他人の発表を「聞く」力は一定養うできたものの「話す(やり取り)」力は不十分であった。
- ・韓国語初習者対象であったため、より多くの時間を発音指導に割きたかった。

単元指導案
 ■単元案の概要
 1 単元名

作成者: 遠藤正承(横浜翠嵐高校定時制)

ルーツの国・地方の言語・方言を紹介しよう

2 実施するクラスの状況等

言語/科目名	韓国朝鮮語 I	実施時期	11月～12月
学習年次	初年次	言語レベル	A1
クラスの状況	16名(2年～4年)	単元の授業時数(50分×3回など)	45分×4回
単位数	2単位	使用教材	『新 好きやねんハングル』(2009、白帝社)

3 単元の目標

この単元で目標とするパフォーマンス課題

自分にルーツのある言語(方言)を韓国語で紹介し、他人の言語(方言)がどのようなものであるか知ることができる。

本質的な問い	永続的理解
①自分のルーツの言語(方言)をわかりやすく紹介するには、どうしたらいいのか？ ②自分のルーツの言語(方言)を韓国語で紹介するにはどのように表現すればいいのだろうか？	①挨拶ことばや自分の好きなことばをルーツの言語(方言)で他人に紹介することによって、自分自身がどのような言語(方言)なのかを改めて見直し、理解を深める。 ②自分のルーツの言語(方言)を韓国語で紹介するには、紹介の時の定型句を使用しつつ、紹介したい語を韓国語でどう表現するかを調べ、吟味検討するとよい。

Can-do リスト

- [地域社会と世界]1-a': 自分のルーツの国と都市の名称を言ったり書いたりできる。
 [地域社会と世界]1-e': 自分のルーツの国や地方の有名な場所や食べ物などを言うことができる。
 [ことば]2-c': 自分のルーツの言語(方言)の好きなことば等を紹介し、韓国語でなんとと言うか表現することができる。
 [ことば]3-c': 自分のルーツの言語(方言)の特徴について簡単に表現することができる。

育むべき資質・能力			
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	文化と社会への気づきのポイント
・言語(方言)名 ・自分のルーツの言語(方言)と韓国語・日本語・英語等の対照 ・紹介する言語(方言)の特徴 ・列挙するときの定型文 ・的確な発音・抑揚(目標)	・ルーツの言語(方言)について発表するのに、必要な情報を調べる力 ・発表する内容について、「ルーツの言語(方言)/韓国語/日本語/英語」の形でキーワードを提示し、聴者が理解しやすいように伝える力。 ・聴者が聴きとりやすいように、大きな声でゆっくりとわかりやすく発話する努力。	・発表者だけでなく聴者も、さまざまな国や地域の言語(方言)について関心を持つとする態度。 ・発表する国や地域の言語(方言)について、発表者も聴者も自分との関わりを少しでもつかみ、自分の今後の生き方の中で参考にしようとする態度。 ・発話能力が決して十分ではないとしても、臆することなく表現しようとする態度。 ・他人の発表を見聞きしながら、学びとていこうとする態度	・ルーツの言語(方言)と韓国語の音韻の違い、語の使い方の違いを発見、認識し互いに尊重する。 ・多様な言語の存在を再認識し、言語と文化の関係に目を向ける。 ・同じ日本語の生活文化圏といえども、方言を知ることを通して言語の多様な広がり、差異に気づくことができる。
(この単元で参照する既習事項) ・韓国語の文字と発音 ・「○時間○○分」という表現(固有語数詞と漢字語数詞の使用法) ・首都名、県庁所在地名、料理名 ・紹介するときの定型文 ・합니다(ハムニダ)体			

4 単元の評価方法

筆記形式の小テスト・発表テスト(知識技能)	総合的評価(思考力判断力表現力・学びに向かう力に対応する)
・調べ学習ワークシートおよび発表原稿(記述の確認) ・発表用原稿を一定量書こうとしていたか(行動の観察) ・大きい声で発表できるよう練習を重ねたか(行動の確認)	・きちんと内容を理解した上、自分のことばで発表できたか(発表の分析) ・聴者が理解できるよう、大きな声でゆっくり発表できたか(発表の分析)

■単元の指導計画

次	ねらい（授業をとおして、生徒がどう変容しているか）	本次の問	学習内容	学習活動	言語の5つの領域の目標					評価規準	評価方法
					聞く	読む	話す（やりとり）	話す（発表）	書く		
1	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査する力を身につけることができる。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、どのような語を選び、特徴を簡単に紹介したらよいのだろうか。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査する。	紹介する語を五つ選ぶ。		○			○	内容が理解できているか	行動の観察
				選んだ語を韓国語でどう表現するか調べる。		○			○	はっきり発話できているか	行動の確認(口頭チェック)
				選んだ語を日本語でどう表現するか調べる。				○		はっきり発話できているか	行動の確認(口頭チェック)
				ワークシートに記入し整理する。				○		語彙・表現を理解できているか	記述の確認(小テスト)
2	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査した資料を整理し、原稿にまとめることができる。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査した語や簡単な特徴を原稿にまとめることができるか。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査した資料を整理し、原稿にまとめる。	ワークシートをもとに原稿を完成する。					○	適切な表現・語彙を使っているか	記述の点検(ワークシート)
				原稿の読みかたを調べる。教師に訊く。			○			スムーズに発話しようとしているか	行動の観察
				一度声を出して通して読む。		○		○		見る人に伝えようとしているか	行動の観察
3	自分のルーツの言語(方言)について、調査し整理した原稿を、意味を理解しながら正しく読むことができる。	整理した原稿を意味を理解しながら聴者に理解できるように大きい声で正しく読むことができるか。	自分のルーツの言語(方言)について、調査し整理した原稿を、意味を理解しながら大きい声で正しく読む。	各自声を出して二度読む。	○			○		スムーズに発話できたか	紹介文の分析
				仲間の前で声を出して読む。	○	○		○		見る人に伝えることができたか	紹介文の分析
4	発表とあわせ、単元学習内容を確認するとともに、次につなげることができる。	自分と他の生徒を比べて、良い点と改善点は何か？	発表した内容について相互評価を行う。	発表を見て、自己評価・他者評価をする。		○		○		自他を客観的に見ているか	記述の点検(ワークシート)
				他のメンバーが使った表現・語彙を共有する(個人)	○			○		語彙・表現を理解できているか	行動の確認(発問)

目標設定＝評価のためのルーブリック

記入欄追加版	目標以上達成	目標達成	もう少し頑張ろう	努力が必要
A見る人に伝える	見る人に伝えようと思って、自然に語りかける	見る人に伝えようと思って、一生懸命語りかける	見る人をほとんど意識できない	見る人をほとんど意識できない
Bスムーズに	全然つかえない	ほとんどつかえない	時々つかえる	よくつかえる
Cはっきりと	とてもはっきり	はっきり	はっきりだったりぼそぼそだったり	ぼそぼそ
D 内容のわかりやすさ	相手にわかるよう工夫がみられる	大体わかる	ところどころわかりづらいところがある	内容がわかりづらく工夫が必要である
E 関心の拡大	大いに関心をもった	大体関心をもった	あまり関心をもたなかった	全く関心をもたなかった
F自分の発表内容への理解	よく内容を理解して発表した	大体理解して発表した	あまり理解できないうまま発表した	全く理解できず、ただ原稿を読み上げた

パフォーマンス課題(プレゼン発表)を設定した、逆向き設計授業の試み —韓国語—

グローバル化に対応した外国語教育推進事業報告会
2019年1月13日(日)
慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎にて
遠藤正承(横浜翠嵐高校定時制 非常勤)

はじめに... そもそものねらいはなにか

- 生徒がただなんとなく授業をうけるのではなく、生徒自ら調べることにより、なんのために授業に参加しているのかを意識化するようにする。
- 生徒が学びの発見の機会を体験し、学びの意欲を向上するようにする。

はじめに...

そもそもなぜパフォーマンス課題か

- これまでの授業では、言語の四技能、特にコミュニケーション能力の向上をねらいとしておこなってきた。
 - しかし、生徒自ら何か課題に取り組み、その課題を解決するために生徒が作業や調査をするようなことは少なかった。生徒はどちらかというと受け身の場面が多かった。
- 生徒が学びのよろこび、達成感を得られるにはどうしたらよいかを考えた。
- 私自身の準備は少々大変でも、まず私自身が「これはおもしろい」と思えることが大事であると考えた。

- 1)「何を知っているか、何ができるか(個別の知識・技能)」
- 2)「知っていること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)」
- 3)「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)」

「2.新しい学習指導要領等が目指す姿」(文部科学省、2015)



机を並べている仲間がどんな言語を使っているのかを知ることにより、自分とは異なる言語・方言や異文化に対する理解、認識を深める。

1. 2018年度「韓国朝鮮語 I」について

- 学校設定科目、2単位、木・金、各45分
- 受講者 15名(4月当初、内聴講生1名)→11名
- 受講者母語別 (4月当初)
タガログ語4名、ビサヤ語1名、タイ語2名
中国語1名、ポルトガル語1名、日本語6名



(11月現在)
タガログ語3名、ビサヤ語1名、タイ語2名
中国語1名、ポルトガル語0名、日本語4名

日本語非母語
7名

日本語母語
4名

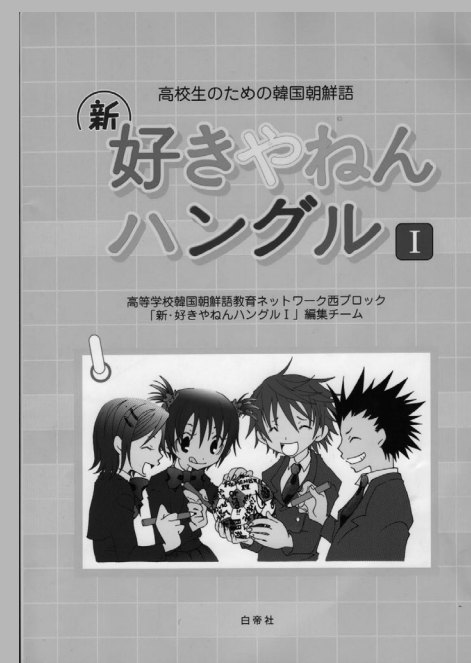
- 教科書 『新 好きやねんハングル』
(2009、白帝社)
- 例年に比べて声を出す生徒が多かった。

日本語が母語でない生徒が多い状況を踏まえ

- 授業用語は、なるべく韓国語を多く使用した。
- 時折、英語の単語も補助的に提示した。
- 但し、欠席が多かった。

授業内容が受講生全体になかなか共有されない、浸透していかない状況であった。

⇒授業が前に進まない。



- 昨年度は、「韓国朝鮮語 II」(韓国朝鮮語 I 既履修者)対象におこなったが、
- 今年度は初習者対象。
今年度のフィリピンの生徒は韓国ドラマ、K-POPに関心がある。
例)私もモモランド(モモランド)の『唄唄(プンプム)※』の存在を彼らから教えてもらった。
※「吹き出す、噴き出す」という意味

2. パフォーマンス課題(プレゼン発表)を設定した逆向き設計授業(2018年度)について

(1) 本年度の韓国朝鮮語 I 授業の年間計画での位置づけ

- 4月～9月までは教科書に沿って授業。
- 9月末から、教科書と並行して、パフォーマンス課題「ルーツの国や県を紹介しよう」設定、調べ学習、発表開始。

(3) パフォーマンス課題

「ルーツの国や県を紹介しよう」

「ルーツの国・地方の言語・方言を紹介しよう」を設定したねらい



- 生徒自らの言語・方言を紹介することにより、自らの言語に対する新たな発見や誇りを持つようになる。
- 他者の言語・方言に接することにより、自らの言語や言語の多様性を再発見する契機とする。

• 11月初よりパフォーマンス課題

「ルーツの国・地方の言語・方言を紹介しよう」

を設定、調べ学習、発表開始

(2) 発表のための事前準備指示

教員の提示したテンプレートに生徒が調べた語をハングルで書き入れながら文を完成する形式。

		韓国語⇒韓国朝鮮語 I (2単位)
取 り 組 み 内 容	P課 題	・履修1年目生徒対象に年2回設定 ・うち2回目『ルーツの国・地方の言語・方言を紹介しよう』を研究対象。
	公開 授業	・生徒は自分自身と関係の深いテーマととらえ、意欲的に取り組んだ結果、自己肯定感が生まれた。 ・既習事項をふまえ、未習事項についても取り入れ、教師とやり取りしながら学習を深めようとしていた。 ・2単位という限られた時間の中でも、充実した発表ができる可能性がある。
	成果 発表	・クラス内でプレゼン発表を行った。

単元指導案	作成者: 渡瀬正和(横浜須賀島高校定時制)		
単元表の発表			
1 単元名			
1-1 ルーツの国・地方の言語・方言を紹介しよう			
2 実施するクラスの状況等			
3 授業の項目名	福田会館第1	実施時期	11月～12月
4 学年次	A1	学習レベル	A1
5 クラスの状況	18名(2年～4年)	単元の授業時数(20分×3回など)	4分×4回
6 単元表	2単位	評価項目	[2年: 延々めねん(ハンゲル)2009, 自習社]
7 単元の目標	この単元で目標とするパフォーマンス課題		
自分にルーツのある言語(方言)を韓国語で紹介し、他人の言語(方言)がどのようなものであるかを知ることができる。			
本質的な問い 系統的処理			
①自分のルーツの言語(方言)をわかりやすく紹介するには、どんな5W1Hの? ②自分のルーツの言語(方言)を韓国語で紹介するにはどのように表現すればいいのだろうか?		①味付けは自分の好きなことばをルーツの言語(方言)で他人に紹介することによって、自分自身がどのような言語(方言)なのかを改めて認識し、理解を求める。 ②自分のルーツの言語(方言)を韓国語で紹介するには、発音の料の発音記号を使用しつつ、発音しにくい語を韓国語で表現する方を調べ、発音練習をする。	
Can-do リスト			
[地域社会と世界]1-a: 自分のルーツの国や地方の名前を言ったり書いたりできる。 [地域社会と世界]1-b: 自分のルーツの国や地方の名前や場所や食べ物などを言うことができる。 [ことば]1-a: 自分のルーツの言語(方言)の好きなことば等を紹介し、韓国語でなんと書こうか表現することができる。 [ことば]1-b: 自分のルーツの言語(方言)の特徴について簡単に表現することができる。			
知識・技能		読む力を養育・読解力	学びに向かう力・人間性
・言語(方言)名 ・自分のルーツの言語(方言)と韓国語・日本語・英語等の対照 ・紹介する言語(方言)の特徴 ・発音するときの発音記号 ・明確な発音・発音記号	・ルーツの言語(方言)について発音する際に、必要な音韻を調べる力 ・発音する内容について、「ルーツの言語(方言)と韓国語/日本語/英語」の形をキーワードで整理し、発音が簡単しやすいように伝える力。 ・発音が簡単しやすいように、大きな声でゆっくりわかりやすく発音する力。	・発音記号や発音記号(発音)も、さまざまな国や地域の言語(方言)について関心を持つことができる。 ・発音する国や地域の言語(方言)について、発音も発音も自分との関わりを少しもつかわず、自分の今後の生活の中で参考にしようとする態度。 ・発音力が決して十分ではないとしても、調べることを怠らないうようにする態度。 ・他人の発音を見聞きしながら、学びたいこととする態度	・ルーツの言語(方言)と韓国語の音韻の違い、語の使い方の違いを発見、説明し互いに尊重する。 ・多様な言語の存在を再認識し、言語と文化の関わりを再考する。 ・同じ日本語の生活文化圏といえども、方言を知ることを通して言語の多様な広がり、差異に気づくことができる。
(この単元で学習する学習事項)			
韓国語の文字と発音 4分時間(20分)という発音 韓国語発音と漢字発音の対照 発音記号の読み方と発音記号の読み方 発音記号の読み方と発音記号の読み方			
4 単元の評価方法		総合的評価(思考力判断力読解力・学びに向かう力に特化する)	
・個人学習ワークシートおよび発表原稿(記述の成果) ・発表原稿を一定量書こうとしているか(行動の観察) ・大きな声で発表できるよう練習を重ねたか(行動の観察)		・きちんと内容を見聞きした上、自分のことばで発音できたか(発音の分析) ・発音が理解できるよう、大きな声でゆっくり発音できたか(発音の分析)	

次	ねらい (授業をとおして、生徒がどう変容しているか)	本次の問	学習内容	学習
1	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査する力を身につけることができる。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、どのような語を選び、特徴を簡単に紹介したらよいか。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査する。	紹介する語を五つ選ぶ。 選んだ語を韓国語でどう表現するか。 選んだ語を日本語でどう表現するか。 ワークシートに記入し整理
2	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査した資料を整理し、原稿にまとめることができる。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査した語や簡単な特徴を原稿にまとめることができるか。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査し整理した原稿を、意味を理解しながら正しく読むこと。	ワークシートをもとに原稿をまとめる。 原稿の読みかたを調べる。 一度声を出して通して読む
3	自分のルーツの言語(方言)について、調査し整理した原稿を、意味を理解しながら正しく読むことができる。	整理した原稿を意味を理解しながら聴者に理解できるように大きな声で正しく読むことができるか。	自分のルーツの言語(方言)について、調査し整理した原稿を、意味を理解しながら大きな声で正しく読む。	各自声を出して二度読む。 仲間の前で声を出して読む
4	発表とあわせ、単元学習内容を振り返るとともに、次につなげることができる。	自分と他の生徒を比べて、良い点と改善点は何か?	発表した内容について相互評価を行う。	発表を見て、自己評価・他者評価を行う。 他のメンバーが使った表現

単元の指導計画	次	ねらい (授業をとおして、生徒がどう変容しているか)	本次の問	学習内容	学習活動	言語の目標(知識・技能)				評価基準	評価方法
						聞く (読む)	話す (書く)	読む (書く)	書く (読む)		
	1	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査する力を身につけることができる。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、どのような語を選び、特徴を簡単に紹介したらよいか。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査する。	紹介する語を五つ選ぶ。 選んだ語を韓国語でどう表現するか。 選んだ語を日本語でどう表現するか調べる。 ワークシートに記入し整理する。	○	○	○	○	内容が理解できているか 聞き取れているか 話し取れているか 書き取れているか	行動の観察 行動の確認(口頭チェック) 行動の確認(口頭チェック)
	2	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査した資料を整理し、原稿にまとめることができる。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査した語や簡単な特徴を原稿にまとめることができるか。	自分のルーツの言語(方言)について、他者に親しみをもって紹介できるようになるために、調査し整理した原稿を、意味を理解しながら正しく読むこと。	ワークシートをもとに原稿をまとめる。 原稿の読みかたを調べる。初声出で読む。 一度声を出して通して読む。	○	○	○	○	原稿が理解できているか 聞き取れているか 話し取れているか 書き取れているか	記述の点検(ワークシート) 行動の観察
	3	自分のルーツの言語(方言)について、調査し整理した原稿を、意味を理解しながら正しく読むことができる。	整理した原稿を意味を理解しながら聴者に理解できるように大きな声で正しく読むことができるか。	自分のルーツの言語(方言)について、調査し整理した原稿を、意味を理解しながら大きな声で正しく読む。	各自声を出して二度読む。 仲間の前で声を出して読む	○	○	○	○	内容が理解できているか 聞き取れているか 話し取れているか 書き取れているか	記述の点検(ワークシート) 行動の観察
	4	発表とあわせ、単元学習内容を振り返るとともに、次につなげることができる。	自分と他の生徒を比べて、良い点と改善点は何か?	発表した内容について相互評価を行う。	発表を見て、自己評価・他者評価をする。 他のメンバーが使った表現・語彙を共有する(個人)	○	○	○	○	内容が理解できているか 聞き取れているか 話し取れているか 書き取れているか	記述の点検(ワークシート) 行動の確認(発問)

4時間中の1時間目に指示したこと

配布資料No2 下半分～No5参照

言語(方言)をテーマに

1 タイ語、タガログ語、中国語、ポルトガル語が母語または得意な生徒対象

(1) あいさつことば・好きなことばをそれぞれの言語で5つ紹介する。

自分が好きなものを選んでよい。

好きなことばは単語でもよい。例) 夢、愛、ファイト、ごはん、健康 など

生徒それぞれ違うものを取りあげる。

(2) それぞれの言語の特徴(特色)を2つあげる。

2 日本語母語の生徒対象

(1) あいさつことば・好きなことばをそれぞれの方言で5つ紹介する。

(2) それぞれの方言の特徴(特色)を2つあげる。

作業例(さぎょうれい)... 新潟(にいがた)方言(ほうげん) を例(れい)に

(5) あいさつことば、好きなことばを5つ紹介...なんでもよい。

以下は遠藤の経験(父が新潟県加茂市出身)にもとづく。加茂市の方言を記憶のかがり紹介したい。

念のためインターネットで「新潟方言」または「新潟弁」で検索をかけてみた。

1 なじらね どうですか。□□□?

2 なんざらて つらい □□□□.

3 だすけ だから □□□□

4 はっこい 冷やっこい □□□□.

5 おまえ 子が親に使う。親をののしているのではない。

□□□/□□□

(6) 新潟方言(新潟県加茂市)の特徴

1 [イ]と[エ]の区別がない。[i]□[e]□ □□□ □□.

2 子音-子音と続くことがある。□□-□□ □□ □□□□ □□□ □□.

例) [アルロ][allo] あるだろう

□□ [allo] □□□□□.

例

作業例(さぎょうれい)... モンゴル語(こ)を 例(れい)に

(5) あいさつことば、好きなことばを5つ紹介...なんでもよい。

参考 <http://www.mongolkaiwa.com/talk/025.shtml> 20181004 検索

遠藤はネット検索で調べましたが、みなさんは自分の頭の中にある語をまずカタカナまたはピンインを用紙に書いてください。

1 こんにちは。□□□□□?

Сайн байна уу? [サイン パイノー?]

2 はじめまして。□□□□□.

Тантай танилцандаа баяртай байна

[タニタイ タニルザサン ダー バヤルタイ パイナ]

3 ありがとうございます。□□□□□.

баярлалаа [バヤルララー]

4 さようなら。□□□ □□□.

Баяртай [バヤルタイ]

5 新年おめでとうございます。□□ □□ □□□□□.

Шинэ жилийн мэнд хургэе

[シネ ジリーン メンド フレギー]

例

(6) モンゴル語の特徴を2つ紹介

遠藤は「モンゴル語」という検索語を入れ調べました。このように調べてもよいし、自分の頭の中のものをもとめてくれてもかまいません。ただし、難しいことをそのまま写さないでください。ほかの人に「わかりやすく」を意識しましょう。

1 語順が日本語と似ている。

□□□ □□□ □□□□ □□□□□. [タノエ スンソガ イルボノワ ビスツムニダ]

2 母音の数が日本語より2つ多い。

□□ □□ □□□□□ □ □□□□□. [モウム スガ イルボノボダ トウ ゲ マンスムニダ]

例

プレゼン発表を意識して既習したこと

- 配布資料№6～№8参照
- 教科書41頁で既に지하철로(地下鉄で), 버스로(バスで), 전철로(電車で), 걸어서(歩いて), 자전거로(自転車)を学ぶ。

(4)生徒別言語・方言(生徒が選択した方言。
当該方言話者ではない。)

- タガログ語3名
- ビサヤ語 1名
- 中国語 1名
- タイ語 2名
- 長野方言 1名
- 山形方言 1名
- 島根方言 1名
- 沖縄方言 1名

(6)教科書未出だが既習の事項

- 固有語数詞... 하나~열
- 固有語数詞の連体形... 한, 두, 세, 네, 스무
(『新 好きやねん~』81頁に登場するが)
- 「〇時〇〇分」という表現(固有語数詞と漢字語数詞の使用法)
- 定型文・助詞
- 「~에 대해 발표하겠습니다。」
- 「~의 유명한 음식을 하나 소개합니다。」
- 「~는/은 나리타에서 비행기로 세 시간 삼십 분 걸립니다。」

『新 好きやねん』41頁
で集中的に関連練習

(5) 教科書と関連した既習事項

- 11/9時点で『新 好きやねん』第3課まで終了

- 指定詞文... ~입니다(~です)
- 助詞... 는/은(は), 가/이(が)
- 漢字語数詞... 일(1)~십(10)

本パフォーマンス課題

「ルーツの言語(方言)を紹介しよう」
では、これらを多用した。

(7) 新出事項

- 国名・首都名等
- 県名・県庁所在地名
- 言語名

☞配布資料№6参照

- 参考
『新 好きやねん~』
86頁

• 定型文・助詞

例) (1) 첫 번째[チヨッポンチエ] 最初(さいしょ)

你好 nǐhǎo

이것은 한국어로 "안녕하세요?"입니다.

• 言語(方言)の特徴を2つ

...これは少々難しいので教員と相談しつつ、
書いていった。

例)中国語の場合

- ① 성조가 네 개 있습니다.四声がある。
- ② 간체자를 씁니다. 簡体字を使う。

拡大すると

◎안녕하세요? こんにちは。

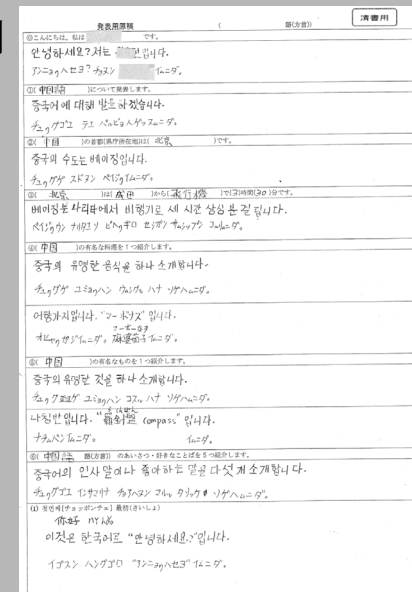
저는 ()입니다. 私は()です。

①()에 대해 발표하겠습니다。
()語(方言)について発表します。

- 중국어(中国語)
- 태국어(タイ語)
- 타갈로그어(タガログ語)
- 나가노 방언(長野方言)
- 시마네 방언(島根方言)
- 야마가타 방언(山形方言)等を入れる。

(8)生徒はどのように発表原稿を作ったか。

• 中国語母語生徒の例



• 写真も生徒がインターネットから拾った。

研究授業時は写真を映しましたが、著作権の
関係上ここでは割愛させていただきます。

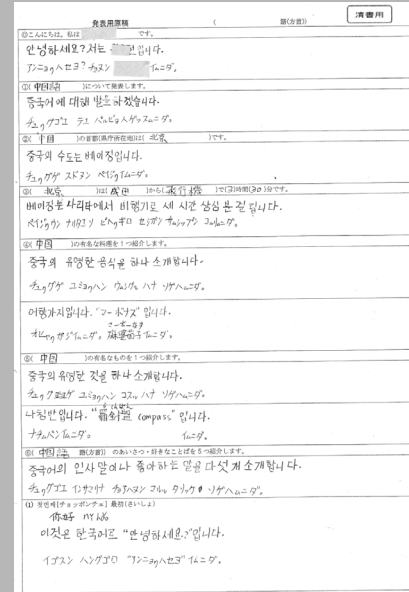
(9)パフォーマンス課題の発表
単元指導計画の4時間目

公開研究授業
プレゼン発表

- 12月14日(金)16:45~17:30
- 横浜翠嵐高校 翠翔みらい館にて

中国語母語生徒の例

さきほどのスライドと同じ



拡大すると

さきほどのスライドと同じ

◎안녕하세요? こんにちは.
저는 ()입니다. 私は()です.
①()에 대해 발표하겠습니다.
()語(方言)について発表します。

- 중국어(中国語)
- 태국어(タイ語)
- 타갈로그어(タガログ語)
- 나가노 방언(長野方言)
- 시마네 방언(島根方言)
- 야마가타 방언(山形方言)等を入れる。

- 以下、場面を紹介します。

• 中国語母語生徒の例



2

再见

zàijiàn

안녕히 가세요.

1

你好

nǐhǎo

안녕하세요?

3

最近怎么样？

zuìjìnzěnmeyàng?

요즘 어때요?

4

我爱你。

wǒ ài nǐ

사랑해요.

중국어의 특징

中国語の特徴(とくちょう)

5

羞羞脸

xiūxiūliǎn

부끄러워요.

1

성조가 네개 있습니다.
四声(しせい)입니다.

四声がある。

しせい

- 以下、生徒は中国語の四声を発音しながら紹介した。

2 간체자를 씁니다.

- 예를 들면

瀋陽 → 沈阳

2 간체자를 씁니다.

簡体字を使う。

かんたいじ つか

Simplified characters

- タイ語母語生徒の例

タイピング!

発表用原稿 () 語(方言) 清書用

◎こんにちは。私は () です。
안녕하세요? 저는 () 입니다.
안녕하세요? 저는 () 이/아=요.

①()について発表します。
태국에 대해 발표하겠습니다.
태국에 대해 발표하겠습니다.
태국에 대해 발표하겠습니다.

②()의首都(県庁所在地)は()です。
태국의 수도는 방콕입니다.
태국의 수도는 방콕입니다.
태국의 수도는 방콕입니다.

③()は()から()で()時間()分です。
방콕은 나리타에어 비행기로 다섯 시간 삼십 분 걸립니다.
방콕은 나리타에어 비행기로 다섯 시간 삼십 분 걸립니다.
방콕은 나리타에어 비행기로 다섯 시간 삼십 분 걸립니다.

④()의有名な料理を1つ紹介します。
태국의 유명한 음식은 하나 소개합니다.
태국의 유명한 음식은 하나 소개합니다.
태국의 유명한 음식은 하나 소개합니다.

生徒はところどころタイ語で読みかたをメモしていた。

가파오 입니다. 닭밥 입니다.
 กาแฟ วัฒน = วัฒน. ข้าวไก่ = วัฒน.
 ⑥(9/1) の有名なものを1つ紹介します。

태국의 유명한 것을 소개합니다.
 กาแฟ ข้าวไก่ = วัฒน. ข้าวไก่ = วัฒน.
 ⑥(9/1) 既(方言) のあいなことばを5つ紹介します。

태국어의 인사말이나 좋아 하는 말을 다섯 개 소개합니다.
 สวัสดี = วัฒน. สวัสดี = วัฒน. สวัสดี = วัฒน. สวัสดี = วัฒน. สวัสดี = วัฒน.
 ① 첫번째(초쵸폰툽 = วัฒน) 最初(さいしょ)
 첫번째 "차라썩" 입니다.
 이것은 한국어로 "사랑해" 입니다.
 วัฒน. วัฒน. "차라썩" วัฒน.



- 以下、数枚紹介します。

1 ฉันรักคุณ

チャラックン

사랑해요.

2

ขอบคุณค่ะ

コックンカー

감사합니다.

4

สบายดีไหม

サバリーマイ?

괜찮아요?

3

ไม่เป็นไรค่ะ

メイペンライカー

You're welcome.

천만어요.

5

มีความสุข

ミーファンズ

Happy

행복해요.

태국어의 특징

タイ語の特徴(とくちょう)

2

성조가 다섯 개
있습니다.

声調が5つある。

せいちょう ipp

The tone

1 외래어가 많습니다.

外来語が多い。

がいらいご おお

Loan word

- 以下、生徒はタイ語の第一声調から第五声調を発音しながら紹介した。

評価	定性的	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は自分自身と関係の深いテーマととらえ、意欲的に調べ、取り組んだ(担当者)。 ・生徒は既習学習事項だけではなく、未習事項についても発表に取り入れ、教師とやり取りしながら学習を発展していこうとしていた(担当者)。 ・2単位という少ない授業時間の中でも、生徒が生き生きと発表に取り組めるという可能性がある(管理職)。 ・このようなテーマで発表することにより生徒の自己肯定感が生まれる(外部からの参観者)。

評価	定量的	<p><生徒アンケートより> 「プレゼン発表は好きである」、「プレゼン発表で韓国語に自信がつくようになった」について7名中6名が「ややそう思う」、1名が「強くそう思う」と答えた。プレゼン発表には拒否感が強いのではないかという担当者の予想とは異なる前向きな回答であった。</p> <p><教員アンケートより> 「プレゼン発表課題は設定について」、16名中15名が「とても適切」、1名がおおよそ適切」と答えた。教員は有効な方法であると考えていることを確認することができた。</p>

(10)昨年度(プレゼン発表授業)との比較

2017年度	2018年度
韓国朝鮮語Ⅱ (Ⅰ既習者 5名)	韓国朝鮮語Ⅰ (初習者)
うち中国語母語1名	日本語母語は少数派
欠席はほとんどない。	欠席が多い。
継続的にできた。	継続性に欠ける。
意欲 大	意欲 普通
おとなしい。	声はよく出る方。
文字と発音は定着	定着?

2017年度	2018年度
韓国朝鮮語Ⅱ	韓国朝鮮語Ⅰ
はじめから積極的に調べた。	最初、どのようにやってよいのか?
はじめから理解	だんだん理解
身近なことなので関心は高い。	身近なことなので関心は高い。
到達点がある程度見えていた。	少々苦しいが何とか到達できそう。

3. 今後の課題

- Can-doリスト(学習のめやす)を活用し、単元指導の過程での指標としたが、今後、さらに年間指導計画においても有機的に活用できるよう工夫したい。
- パフォーマンス課題(プレゼン発表)において、生徒自身が調べたり、教師とやりとりすることにより、関心を拡大でき、また「読む」「書く」「話す(発表)」力、および他人の発表を「聞く」力は一定養うできたものの、「話す(やり取り)」力は不十分であった。
- 韓国語初習者対象であったため、より多くの時間を発音指導に割きたかった。
- 研究校だけでなく、授業を担当する他校においてもプレゼン発表を取り入れたい。

• ご清聴ありがとうございました。

• 경청해 주셔서 감사합니다.

まとめ

教員として

- 「こんなことできかない」とはじめてからあきらめず。
- できる範囲で、少しずつ。

積み重ね

- 「主体的・対話的で深い学び」へ

参考資料

生徒アンケートより

- Q1 私は韓国語が好きである。
ややそう思う 100%
- Q2 私は韓国語の勉強に一生懸命取り組んだ。
強くそう思う 14%
ややそう思う 86%
- Q3 授業で韓国朝鮮の文化や社会を学べた。
強くそう思う 43%
ややそう思う 14%
あまり思わない 43%

Q4 授業で韓国朝鮮への興味関心が高まった。

強く思う	43%
やや思う	14%
あまり思わない	43%

Q5 一人ひとり前を向いて授業するスタイルは好き。

強く思う	29%
やや思う	42%
あまり思わない	29%

Q6 一人ひとり前を向いての授業で韓国語に自信が
ついた。

強く思う	29%
やや思う	71%

Q10 ペアでやりとりするスタイルで韓国語に自信が
ついた。

やや思う	43%
あまり思わない	43%
全く思わない	14%

Q11 どのスタイルの授業がいちばん好きか。

1人	57%
ペア	29%
グループ	14%

Q12 どのスタイルの授業があなたにとっていちばん
効果的か。

1人	57%
グループ	43%

Q7 一人ひとり前を向いての授業で韓国語が楽し
い、面白いと思うようになった。

強く思う	14%
やや思う	57%
あまり思わない	29%

Q8 一人ひとり前を向いての授業は私にとって効果的な
授業だ。

強く思う	14%
やや思う	43%
あまり思わない	43%

Q9 ペアでやりとりする授業は好き。

強く思う	29%
やや思う	43%
あまり思わない	14%
全く思わない	14%

Q13 プレゼン発表「ルーツの国・地方の言語・方言を
紹介しよう」等は好きである。

強く思う	14%
やや思う	86%

Q14 プレゼン発表「ルーツの国・地方の言語・方言を
紹介しよう」等を通して、自分の韓国語に自信が
つようになった。

やや思う	100%
------	------

Q15 プレゼン発表「ルーツの国・地方の言語・方言を
紹介しよう」等の活動を通して、韓国語が楽しいな、
おもしろいなと思うようになった。

やや思う	100%
------	------

Q16プレゼン発表は、私にとって効果的な韓国語学習方法である。

ややそう思う 100%

Q17 ルーブリック(評価基準)を事前に配布したのは良かった。

強くそう思う 14%

ややそう思う 57%

あまり思わない 29%

- 多様なルーツを持つ生徒たちのいるクラスならではのテーマ設定でとてもいいなと思いました。おもしろかったです。生徒からの反応をもっと引き出せたらと思います。感想を書くだけではなく、言わせたらどうかなと思いました。また生徒がその方言や国の言葉を言っているのでもりかえさせたらと思いました。
- 画像情報が沢山ありすごく良いのですが、見終わる前に次へ行くなど少しだけペースが速かったのでご面倒かもしれませんが、事前説明だけでも紙資料を一部入れてもよいかもしれません。
- ICTを生徒に操作させてもよいと思います。(スライドの移動など簡単にできるものでも...)
- 40時間でここまで進むとは...おどろきました。発表が出来る所まで来るんですね！

研究授業を参観した教員のアンケートより

I 授業改善に向けてここをこう変えるとよい等ご意見

- ・いろいろなルーツを持つ生徒さんがいらっしゃるこのクラスならではの課題だったと思います。PPT等先生のご準備も大変だったと思いますが、とてもよい発表だったと思います。ここまでよくご指導されたと思います。
- ・学生達の発音の指導をすともっと内容が正確に伝わったと思います。
- ・はじめの発音練習での발표, 특징...など、方言の紹介に使うことばを選んでいたのであとで気づき、さすがだと思いました。

- 授業のルール(スマホをしまう、音を鳴らさない、ヘッドホン等)は視覚化して黒板に貼る等、注意をする場合、名前を呼ばなくて良い工夫がされると良いと思いました。
- 自己紹介から発展させて他己紹介のかたちにする。その際には1つ内容を加える(自分は～が好きだとか、～が面白いと思った)のはどうでしょうか。
- とても面白かったです。生徒たちのとりくみもよかったです。
- 発音の声(生徒の)が小さく残念。私自身も発音させるのに苦労していますが、週1の授業で発音の時間をとるのは大変ですね。
- 全4時間構成の4時間目ということでしたが、全4回参観したかったです。

II 授業の中で工夫されていたと感じたこと

- 画像を見せながら授業をしたり、発表させたりすることで、音声と文字を結び付けていた点。
- プロジェクターの使用により授業を進める上で効率が良かった。
- 生徒の発表する「発表テーマ」がとても工夫されていると感じました。
- 班全員が発表していて素晴らしいです。発表の内容は最初分かりませんでしたでしたが、いくつか約束ごとがあり、それに沿って進んでいたのので、途中からは理解できました。作りやすく、聞きやすい構成だったと思います。

III 参考になったこと・自分の授業で取り入れたいと感じたこと

- 生徒に発表させることで、今まで身につけてきた単語や表現を使う機会を与えていた点。聞く側も生徒同士だと参考にできること、刺激されることも多いのでよいことだと思う。
- 単語(方言)→韓国→母語という流れで表記されていたのでこの意味は、母語ではどう意味か分かりやすい。
- 全員による発声練習を社会の授業にどう取り入れたらよいか考えた。
- 発表原稿とパワーポイントをリンクさせている点。
- ある程度のまとまった時間を発表をさせることに前向きになりました。

IV その他ご自由に質問、意見

- パワーポイントの資料は生徒さんと一緒に作ったのでしょうか?資料があるだけで全然発表のしやすさが違うと思います。
- プレゼンの内容としてはとても良かったと思います。学生達が自国の言葉や地方の事をととても分かりやすく話していてとても好感が持てました。2番目のAさん、3番目のBさんは発音、イントネーションも良かったです。おつかれ様でした。
- 個々人の差はあれど想像以上にレベルが高く本当に驚きました。外国語を学ぶことの利点などをもっと話してあげればもっと上達するのだらうと思いました。本当にみなさん上手で驚きました。自分の国のルーツ、地方の発表は自分自身の肯定にもつながりとても良いと思いました。

- おもしろかったです。スライドは生徒作ですか?スライドのイラストは生徒?ステキなPDF、もっとゆっくりみえたかったです。
- 生徒の発表内容について画像など視覚教材の用意が充実していてすごい!とても大変だったと思います。発表、聞いている生徒共に学べるあるいは学びが効率良く出来ると感じました。生徒の母語を使わせる点がとても良い。
- ルーブリック評価がとても分かり易く、学習者にとってもモチベーションになると思いました。
- パワーポイントはどのように作ったのか(教員主導であったのか、どの程度生徒が関わっているのか)が知りたいと思いました。
- パワーポイントは生徒とともに作ったのですか?

- さまざまな文化の生徒さんがいるからこそできる授業だったと思います。
- 5ヶ国語は出て来てとても興味のある授業だった。言語自体への関心を広げることの大切さを感じた。
- 母国語の違いによって外国語を学ぶ時に発音やアクセントに影響があるが、それをうまく使って発表に結びつけていたと思う。言語にはそれぞれ特徴があり、興味を持たせるにはよい方法だと思った。
- ありがとうございました。生徒が想像以上に発話していた。韓、朝語を通して世界の言葉の多様性を充実できるようになっていた。
- 감사합니다.

- 生徒があんなにスラスラと発表出来ていて感心しました。
- 授業では改めて準備と補助教材(プリントなど)が重要なのだと再確認できました。させられました。
- あれ程大人がいる空間で、彼らは前に出て発表ができるのかと感心いたしました。

「韓国朝鮮語Ⅰ」公開研究授業について

「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」(文部科学省)は前年度(「外国語教育強化地域拠点事業」)に続いて慶應義塾大学外国語教育研究センターが管理者指定を受け、本校定時制ほか神奈川県内公私立4高校を研究指定校とし、中韓独仏西語教員協働による単元指導案の開発を行なっています。単元指導案にもとづき、それぞれの言語においてパフォーマンス課題(プレゼン発表)を設定した逆向き設計授業に取り組んでいます。

本日の「韓国朝鮮語Ⅰ」(韓国語初習者対象)授業は、単元「ルーツの国(地方)の言語(方言)を紹介しよう」(全4時間構成)のうちの4時間目の授業です。

ねらいを授業のなかで生かし実施できているのか検証したいと考えております。ご多忙中大変恐縮ですが、参観くださり、改善のための課題等についてご助言、批評をいただきたくお願い申し上げます。

ねらい

「韓国朝鮮語Ⅰ」では9月に「ルーツの国(地方)を紹介しよう」発表を行なった。

本単元「ルーツの国(地方)の言語(方言)を紹介しよう」では、生徒がこれまで学んできた学習事項をもとに、調べたことをどれくらい自信をもって発表し、聴者に理解させることができるのか、生徒がただ何となく授業をうけるのではなく、生徒自ら調べ発表することにより、学びの意欲をどれだけ向上できるのか。「主体的・対話的で深い学び」を生徒自身と設計者・支援者である教員がともにどれだけ展開できるのか。本単元では、4技能5領域(聞く、読む、話す(やりとり)、話す(発表)、書く)のうち、「聞く」「話す(発表する)」「書く」(事前作業)を重視する。本授業では、生徒による主体的な学びへの意欲を促すとともに、韓国語・韓国文化にとどまらず、さまざまな言語(方言)等への関心が拡大できるように促したい。

担当者 遠藤正承 定時制外国語(韓国語)非常勤講師

日時 12月14日(金) 16:45~17:30

教室 翠翔みらい館(全日制職員室側)

主題 ルーツの国(地方)の言語(方言)を紹介しよう

- 目標
- 1 生徒自ら課題に取り組み、既習の文法項目等を使いながら韓国語の文を作ることができる。
 - 2 大きな声で「ルーツの国(地方)の言語(方言)を紹介しよう」について、韓国語で他人にわかるように発表することができる。
 - 3 他の生徒の発表内容を聞き、理解することができるようにする。
 - 4 他の生徒の発表内容を聞き、日本語以外の言語や地方の方言について関心を拡大することができるようにする。
 - 5 発表ややりとりを通じて、充実感・達成感を持つことができるようにする。

教材 ・高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク西日本ブロック編著

『高校生のための韓国朝鮮語 新 好きやねんハングルⅠ』白帝社、2009年

・ワークシート

受講生徒(四月当初) 計15名

- ・学年別内訳 2年3名、3年11名、聴講生1名
- ・母語別内訳 タガログ語4名、ピサヤ語1名、タイ語2名、中国語1名、ポルトガル語1名、日本語6名
- ・生徒による発表言語・方言(必ずしも当該方言話者ではありません)
 - タガログ語 ピサヤ語 タイ語 中国語
 - 長野方言 島根方言 山形方言 沖縄方言

【参考】「東京外国語大学言語モジュール」ほか

韓国語研究授業資料No.1 20190113

授業展開略案

	内容	活動・留意点等	評価の観点
導入	・出欠点呼 ・「アンニョンハセヨ」 「バンガッスムニダ」 等、挨拶ことば ・今日行なうことを確認	・発声練習 ・コーラスリーディング ・「ゆっくり大きな声で」指示 ・遠藤が簡単に	・声が出ているか。 ・正しく発音しようとしているか。
展開	・生徒が簡単に自己紹介 ・生徒が一人ずつ「ルーツの国(地方)の言語(方言)を紹介しよう」を発表する。 ・一人ずつ発表終了後、各言語(方言)のことばを練習する。 ・質問。	・聴者の生徒は発表を聴きながらメモする。 ・発表者によることば紹介のうち、大きな声で発音する。	・発音の正確さ ・声・目線・態度 ・流暢さ ・内容のわかりやすさ ・関心の拡大
整理	・ワークシート完成 ・次回の予告	・ワークシート、感想を記入する。	・的確に自分の発表をふりかえっているか。 ・他の生徒の発表をよく聴き記しているか。

【参考1】教科書と関連した既習事項

- ・11/9時点で『新 好きやねん』第3課まで終了
- ・指定詞文… ~입니다
- ・助詞… 는/은, 가/이
- ・漢字語数詞… 일~십

【参考2】教科書未出だが既習の事項

- ・固有語数詞... 하나~열
- ・固有語数詞の連体形... 한, 두, 세, 네, 스무 (『新 好きやねん』81頁に登場するが)
- ・「〇時〇分」という表現(固有語数詞と漢字語数詞の使用法)
- ・定型文・助詞
- ・「~에대 해 발표하겠습니다。」
- ・「~의 유명한 음식을 하나 소개합니다。」
- ・「~는/은 나라타에서 비행기로 세 시간 삼십 분 걸립니다。」

【参考3】新出事項

- ・国名、首都名、県名、県庁所在地名、言語名
- ・固有語数詞... 하나~열
- ・定型文・助詞
- 例) (1) 첫번째 [초췌뵡뵡치예] 最初(さいしよ)
你好 nihao
이것은 한국어로 “안녕하세요?”입니다.
・言語(方言)の特徴を2つ
...これは少々難しいので教員と相談しつつ、書いていった。

例) 中国語の場合

- ①성조가 네 개 있습니다. 四声がある。
- ②간체자를 씁니다. 簡体字を使う。

韓国語研究授業資料No.2 20190113

【これからの授業予定】

201811.2

これまでの韓国語学習はどうでしたか。
 これからの授業では、いままで勉強したことを使って、3~4回ほど発表形式の授業も取り入れる予定です。すべて韓国語で話していただきます。
 ??? 大丈夫。事前に教員がサポートします。
 まずはつぎのことについて、図書館、インターネット、スマホ等で各自調べてください。

第1回

- ①-1 タイ語、タガログ語、中国語、ポルトガル語が母語または得意な生徒対象
- (1)私の出身国 (2)首都 (3)成田(羽田)から飛行機で〇〇時間
 (4)有名な料理(菓子、飲み物等)3つ (5)有名なところ(こと、人)3つ…何が有名か?
- ①-2 日本語母語の生徒対象
- (1)「新潟」「秋田」「鹿児島」「沖縄」「長野」等から1つ選ぶ。
 (2)それぞれの県でいちばん大きな都市
 (3)横浜(羽田)から新幹線(または飛行機)で〇〇時間
 (4)有名な料理(菓子、飲み物等)3つ (5)有名なところ(こと、人)3つ…何が有名か?

第2回 言語(方言)をテーマに

- ②-1 タイ語、タガログ語、中国語、ポルトガル語が母語または得意な生徒対象
- (1)あいさつことば・好きなことばをそれぞれの言語で5つ紹介する。
 自分が好きなものを選んでよい。
 好きなことばは単語でもよい。例)夢、愛、ファイト、ごはん、健康 など
 生徒それぞれ違うものを取りあげること。
 (2)それぞれの言語の特徴(特色)を2つあげる。
- ②-2 日本語母語の生徒対象
- (1)あいさつことば・好きなことばをそれぞれの方言で5つ紹介する。
 (2)それぞれの方言の特徴(特色)を2つあげる。
- * 第一回の発表もすこし取り入れます。☞例を参照

* 第3回・第4回についてはあらためてお知らせします。

【注意】

さぎょうれい 作業例…モンゴル語を例に

- ・すべて韓国語で話していただきます。
- ・大丈夫。事前に教員がサポートします。
- ・図書館、インターネット、スマホ等で各自調べてください。
- ・写真やイラストを保存しておいてください。

第2回

①-1 タイ語、タガログ語、中国語、ポルトガル語が母語または得意な生徒対象

- (1)私の出身国 몽골[モウゴル] モンゴル **前に調べたことです**
 (2)首都 울란바토르[Ulan Bator][ウランバートル] ウランバートル
 (3)有名な料理(菓子、飲み物等)1つ紹介 아이리크[アイログ][마유 馬乳]
 (4)有名なところ(こと、人)1つ…何が有名か? 겐[ゲル]ゲル モンゴルの家
 (5)あいさつことば、好きなことばを5つ紹介…なんでもよい。

参考 <http://www.mongolkaiva.com/talk/025.shtml> 20181004 検索

遠藤はネット検索で調べましたが、みなさんは自分の頭の中にある語をまずカタカナまたはペンインを用紙に書いてください。

1 こんにちは. 안녕하세요?
 Сайн байна уу? [サイン バイノー?]
 2 はじめまして. 반갑습니다.
 Тантай танилцсандаа баяртай байна
 [タニタイ タニルザサン ダー バヤルタイ バイナ]
 3 ありがとうございます. 감사합니다.
 баярлалаа [バヤルララー]
 4 さようなら. 안녕히 가세요.
 Баяртай [バヤルタイ]
 5 新年おめでとうございます. 새해 복 많이 받으세요.
 Шинэ жилийн мэнд хургэе
 [シネ ジリイン メンド フレギー]

- (6)モンゴル語の特徴を2つ紹介
- 遠藤は「モンゴル語」という検索語を入れ調べました。このように調べてもよいし、自分の頭の中のものをもとめてくれてもかまいません。ただし、難しいことをそのまま写さないでください。ほかの人に「わかりやすく」を意識しましょう。

1 語順が日本語と似ている。
 단어의 순서가 일본어와 비슷합니다. [タノエ スンソガ イルボノワ ビスツタムニダ]
 2 母音の数が日本語より2つ多い。
 모음 수가 일본어보다 두 개 많습니다. [モウム スガ イルボノボダ トウ ゲ マンスムニダ]

②-2 日本語母語の生徒対象

さぎょうれい にいがたほうげん れい
作業例…新潟方言を例に

- (1) あいさつことば・好きなことばをそれぞれの方言で5つ紹介する。
 (2) それぞれの方言の特徴(特色)を2つあげる。
 * 第一回の発表もすこし取り入れます。下の例を参照

- (1) 私のルーツの県 니가타현[ニイガタヒョン] 新潟県 **前に調べたことです**
 (2) 県庁所在地 니가타시[ニイガタシ] 新潟市
 (3) 有名な料理(菓子・飲み物等)1つ紹介 사사당고[ササダンゴ] 笹団子 **例**
 (4) 有名なところ(こと、人)1つ…何が有名か? 쌀[サル] 米

- (5) あいさつことば、好きなことばを5つ紹介…なんでもよい。
 以下は遠藤の経験(父が新潟県加茂市出身)にもとづく。加茂市の方言を記憶のかぎり紹介したい。
 念のためインターネットで「新潟方言」または「新潟弁」で検索をかけてみた。
 1 なじらね どうですか. 어때요?
 2 なんぎらて つらい 힘들어요.
 3 だすけ だから 그러니까
 4 はっこい 冷やっこい 차가워요.
 5 おまえ 子が親に使う. 親をののしているのではない.
 아버님/어머님
 (6) 新潟方言(新潟県加茂市)の特徴
 1 [イ]と[エ]の区別がない. [i]와[e]의 구별이 없습니다.
 2 子音 - 子音と続くことがある. 자음-자음 같이 연속하는 경우가 있습니다.
例 [アルロ][allo] あるだろう
 보기) [allo] 있을거예요.

国名・県名・言語名・方言名・都市名一覧

韓国	韓国語	
한국[ハングク]	한국어[ハングゴ]	
タイ	タイ語	
태국[テグク]	태국어[テグゴ]	
アメリカ	英語	
미국[ミグク]	영어[ヨゴ]	
中国	中国語	
중국[チュウグク]	중국어[チュウグゴ]	
フィリピン	タガログ語	
필리핀[ピルリピン]	타갈로그어[タガログゴ]	
ブラジル	ポルトガル語	
브라질[ブラジル]	포르투갈어[ポルトウガロ]	
日本	日本語	
일본[イルボン]	일본어[イルボン]	
山形県[ヤマガタケン]	山形方言[ヤマガタ ホウゲン]	
야마가타현[ヤマガタヒョン]	야마가타 방언[ヤマガタ パゴオン]	
長野県[ナガノケン]	長野方言[ナガノ ホウゲン]	
나가노현[ナガノヒョン]	나가노 방언[ナガノ パゴオン]	
島根県[シマネケン]	島根方言[シマネ ホウゲン]	
시마네현[シマネヒョン]	시마네 방언[シマネ パゴオン]	
沖縄県[オキナワケン]	沖縄方言[オキナワ ホウゲン]	
오кина와현[オキナワヒョン]	오кина와 방언[オキナワ パゴオン]	
県庁[ケンチョウ]	県庁所在地[ケンチョウシヨザイチ]	
현청[ヒョンチュウ]	현청소재지[ヒョンチュウソジェジ]	
マニラ	北京	バンコク
마닐라[マニラ]	베이징[ベイジ]	방콕[パゴコ]

학년 반 이름


固有語数詞をおぼえよう 教科書 81 쪽(関連) 2018 年 9 月 13 日(목)
 固有語数詞 ※ひと～は渡辺実『日本語史要説』(1997、岩波書店、18-19 頁)による。

一 ひと	二 ふた	三 み	四 よ	五 いつ
하나	둘	셋	넷	다섯
ハナ	トゥル	セツ	ネツ	タソツ

かけごえをかけるとき「하나 둘 셋[ハナ ドウル セツ]」といいます。

六 む	七 な나	八 や	九 此の	十 とお
여섯	일곱	여덟	아홉	열
ヨソツ	イルゴッ	ヨドル	アホッ	ヨル

二十	三十	四十	五十	六十
스물	서른	마흔	쉰	예순
スムル	ソルン	マフン	シン	イエスン

七十	八十	九十	百 ※	
일흔	여든	아흔	백 ※	
イルン	ヨドゥン	アフン	ペ	

※ 「백[ペ]」は固有語ではなく、漢字語です。固有語でのいいかたはありません。

固有語数詞の連体形(うしろに助数詞がつづくときの形)

	一 ひと	二 ふた	三 み	四 よ	二十
基本の形	하나	둘	셋	넷	스물
連体形	한	두	세	네	스무
発音	ハン	トゥ	セ	ネ	スム
例	한 명	두 명	세 명	네 명	스무 명
発音	ハンミョ	トゥミョ	セミョ	ネミョ	スムミョ
意味	一名	二名	三名	四名	二十名

한(韓)년(年) 반(半), 이름(イ름) (おまえ)

韓国語研究授業資料№7 20190113

固有語数詞は○時、○時間、○歳、○個、○名、○枚、○杯等につかいます。

例 1 1時間 한 시간[ハン シガン] 2時間 두 시간[トゥ シガン]

3時間 세 시간[セ シガン] 4時間 네 시간[ネ シガン]

5時間 다섯 시간[タソツ シガン] 6時間 여섯 시간[ヨソツ シガン]

例 2 16歳 열여섯 살[ヨルヨソツ サム] 17歳 열일곱 살[ヨルヨゴッ サム]

18歳 열여덟 살[ヨルヨドル サム] 19歳 열아홉 살[ヨラホッ サム]

例 3 横浜から成田まで電車で2時間かかります。

요코하마에서 나리타까지 전철로 두 시간 걸립니다.

[ヨコハマエソ 나리타カジ チョンチョルロ トウ シガン コルムニダ]
 에서[エソ]: から 까지[カジ]: まで 로[ロ]: で
 걸립니다[コルムニダ]: かかります

例 4 成田からモンゴルまで飛行機で5時間30分かかります。

나리타에서 몽골까지 비행기로 다섯 시간 삼십 분 걸립니다.

[나리타에소 모궤골까지 비행기로 다섯 시간 삼십 분 걸립니다]
 [나리타에소 모궤골까지 비행기로 다섯 시간 삼십 분 걸립니다]
 練習 1 家から学校まで()時間()分かかります。

練習 2 成田からタイまで飛行機で()時間()分かかります。

練習 3 成田からフィリピンまで飛行機で()時間()分かかります。

練習 4 成田から中国まで飛行機で()時間()分かかります。

練習 5 横浜から秋田まで電車で()時間()分かかります。

한(韓)년(年) 반(半), 이름(イ름) (おまえ)

韓国語研究授業資料№8 20190113

20180913

中国語

平成29～30年度「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」～横浜桜陽高等学校～

研究主題

・昨年度作成・実践した、逆向き設計論にもとづきパフォーマンス課題を目標にした単元指導案をもとに、パフォーマンス課題の年間（複数年次）配置デザインを描きつつ、より効果的で汎用的な指導案と評価計画の作成に取り組み、研究授業により成果を検証する。

取組の内容

- ・中国語履修1年目（第三学年）の生徒に対し、「自分が使える範囲の中国語であーすフェスタかながわ2019のボランティア参加時に会場（道）案内をすることができる」をパフォーマンス課題とした。このクラスでパフォーマンス課題は今回はじめて実施する。
- ・パフォーマンス課題は11月から12月の間に現地調査を含め全8回の授業を実施した。研究授業は11月16日（金）に実施した。
- ・授業では会場案内に必要な質問な文法項目と単語を意識して活動をし、案内文の原稿にまとめる。
- ・会場の地図をみて生徒が案内する場所を決め、案内を開始する起点と終点を決める。
- ・公開授業では、普段よりも生徒のやる気がありいきいきとした態度が見られた。発音練習ではいつもより大きな声を出していた、文章を書くのも比較的積極的に取り組んでいた。
- ・あーすフェスタかながわ2019の会場案内（ボランティア）の役割をすることは現実社会（多文化共生社会）との実質的つながりとなるほか、他者を受容する態度の育成となり得る。発表の際は聞き手が安心してきけるように話す（表現）方法を工夫する。

成果①

- ・パフォーマンス課題で生徒が伝えたい内容をよく考えるようになった。必要な単語を進んで教科書から探しグループワークに取り組むようになった。（担当者）
- ・既習事項を的確に覚え互いに意見をだしあうようになった。（担当者）
- ・発表など活動が好きな生徒たちなのでパフォーマンス課題で生徒がいきいきと課題に取り組んでいる。（英語科教員）
- ・パフォーマンス課題を実社会でボランティアとして中国語で実践できるとわかると授業の出席率が上がった。（担当者）
- ・実際に中国語で案内する現場へ行き道順を確認すると、より積極的に文章作りに取り組み、意見を話すようになった。（担当者）

成果②

- ・授業スタイルについて「一人でする」が80%を占めたのに対し、パフォーマンス課題で「中国語の勉強を一生懸命した」に解答した生徒は90%を占めた（アンケート）
- ・「中国語が好き」「中国文化社会を学ぶことに興味関心がある」に関して80%の生徒が「そう思う」と回答。（アンケート）
- ・「授業スタイル」に関して、グループやペアワークに関して45%の生徒が「やりたくない」と回答。「ルーブリックを事前に配布したことがよかったか」に関して60%の生徒が「よかった」と回答。パフォーマンス課題に取り組む姿勢は肯定的ではないが、課題をやってから生徒の「中国や中国語への肯定感、自分に対する肯定感」が非常に高くなる結果となった。

今後の課題・方向性

- ・イベントの会場案内をするために文を作成する過程において、グループワークをする生徒に別のグループの文章をチェックさせることを取り入れた。自由選択で基本文型を3パターン用意した為、自分が選んだ文型と違う文章の時、相互に文章チェックできなかった点に課題がある。今回の授業時間数（8回）で実施する場合、今後は文型を一つにして行うことにする。
- ・多文化共生社会への興味・関心が高まり、文章を自分で作成することを積極的に行えるようになったが、発表の際、中国語に対する発音に対して苦手意識があり、なかなか大きな声で発表ができない点が大きな課題である。

単元指導案
 ■単元案の概要
 1 単元名

作成者: 温 悠 神奈川県立横浜桜陽高等学校

中国語であーすフェスタかながわの来場者に会場案内をする

2 実施するクラスの状況等

言語/科目名	中国語入門	実施時期	11月～12月
学習年次	3年次	言語レベル	A1
クラスの状況	17名	単元の授業時数(50分×3回など)	50分×8回
単位数	2単位	使用教材	中高版 シャベっていいとも中国語

3 単元の目標

この単元で目標とするパフォーマンス課題		
自分が使える範囲の中国語であーすフェスタかながわ2019のボランティア時に会場(道)案内をすることができる		
本質的な問い		永続的理解
①どのようにして中国語の学習を通して他者との多様な関係性を築けるか		①中国語を通じて中国や他国、多文化への興味と発見がある
②会場(道)案内をするとき、中国語で表現するにはどのような言葉や文型で表現すればよいのか		②会場(道)案内をするとき、中国語で表現するには、方向や位置を表す前置詞を適切に用いられればよい。
Can-do リスト		
案内できる・話せる [交通と旅行]1-a自分の生きたい場所を口頭でまたは書いて伝えることができる。 [人とつきあい]1-a人とのつきあいでよく使う基本的な(あいさつ・初対面・感情表現・謝罪)表現。 [地域社会と世界]1-a自分が住んでいるところの名前を書いたり、言える。		
育むべき資質・能力		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
<ul style="list-style-type: none"> 道案内に必要な表現と会場の見取り図を把握する。 道順を案内する時に用いる基本的な挨拶の習得。 起点や場所を表す介詞。方向詞。疑問詞。 道順を案内するために必要なその他の言いまわし 从～怎么走? / 左边儿/往～拐/一直走/右边儿/～在哪儿? / 然后 	<ul style="list-style-type: none"> 案内する道順を頭の中で想像する力。 教科書から案内に必要な単語を見つけ適切に使う力。 相手に聞こえるようにはっきり話す。 道順を丁寧にわかりやすく伝える工夫をする力。 相手が安心してきけることを意識しわかりやすく発表する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がわからない単語について教科書から自分で調べ、先生に質問する力。 相手に伝わるような言い方を想定できる。 自分が担当する場所について、自分から進んで案内しようとする力。 ボランティア(多文化共生イベント・オリピックなど)活動を通じて将来自分の職への興味・関心を持つ。
文化と社会への気づきのポイント		
<ul style="list-style-type: none"> 生徒は、日頃の生活に中国人と同じ空間にいることが増え、中国語を耳にする機会が増えた。中国語を学校で学ぶ機会があるので、日ごろ出会う中国人がどのようなことを話しているのか知りたい。できれば、自分も中国語を話せるようになりたい。という思いから、学校で中国語クラスを履修しているという生徒が多数いる。 神奈川県内で多文化共生をテーマとしたイベントや勉強をする場は多数ある。そこではボランティアを募集する機会が多く、中国語学習者が中国語を実践的に使う機会が非常に多くあるため、学んだことと実社会との繋がりを体験できる。 中国人やその他の外国人がどのように社会と関わっているか。 		
(この単元で参照する既習事項)		
<ul style="list-style-type: none"> 这儿 「どこ」哪儿? ・名詞+在+場所 起点をを表す”从” ・向かう方向を表す” 		

4 単元の評価方法

筆記形式の小テスト・発表テスト(知識技能)	総合的評価(思考力判断力表現力・学びに向かう力に対応する)
○行動観察(会話練習)○ワークシートの記述(各時限のねらいを踏まえて例文を作成)○発表の分析(会場案内の典型的問答を用いた発表)	○ワークシートの記述(会場案内の例文を自ら作成したもの)○発表の分析(自ら作成した例文を用いて発表)

■単元の指導計画

温 悠 横浜桜陽高等学校

次	ねらい(授業をとおして、生徒がどう変容しているか)	本次の間	学習内容	学習活動	言語の5つの領域の目標					評価規準	評価方法
					聞く	読む	話す (やりとり)	話す (発表)	書く		
1時間目 2時間目	ボランティア(あーすフェスタかながわ)の会場案内をするための情報集め	起点から他者が会場のどこへいく可能性があるか	道の聞き方 道を案内し方 ～那儿?/在~/往~/从~ を用いて道案内の問答をきいて発音できる	案内するための基本的な語彙を教科書から探す	○	○				内容が理解できているか	行動の観察
				地図を元に場面を想定し行き方を決める					○	語彙・文法事項を理解できているか	行動の観察
				～那儿?/在~/往~/从~を使った例文をつくる	○	○			○	適切な表現・語彙を使っているか	ワークシートの記述
				学んだ単語をお互いを聞き合う(発表)				○	はっきり発話できているか	発表の分析	
3時間目 4時間目	道案内の時に用いる疑問詞数の使い方 起点や場所を表す介詞。方向詞。	目標地点まで会場(道)案内するにはどんな言い方ができるのか	道案内の起点と終点を決め、決めた内容を文にまとめ、言う ①从～怎么走? ②去～怎么走? ③～在哪儿?	地図をみて案内する場所の起点と終点の決める	○	○		○	適切な表現・語彙を使っているか	行動の観察	
				3つの文型から使い易い言い回し1つ決め原稿を作る			○	○	○	語彙・文法事項を理解できているか	ワークシートの記述
				グループ相互で文の内容を確認する				○	はっきり発話できているか	発表の分析	
5時間目 6時間目	道順を確認し自分の作った文章との整合性を確認できる	自分の用意した文章が実際の会場に合っているか	実際の会場で位置を確認して文章を修正する	会場で実際の道順を確認する	○	○			○	内容が理解できているか	行動の観察
				確認した道順をもとに文章の再考をする				○	○	適切な表現・語彙を使っているか	ワークシートの記述
7時間目 8時間目	会場ガイドとして案内内容を適切に話す	聞き手に伝えたいことを想定しながら丁寧にはっきりした声で発表できるか	教室の机などを使って教室内を会場に見立て実際に歩いて発表する	作成した文例を生徒間で会話練習する	○	○	○		○	適切な表現・語彙を使っているか	ワークシートの記述
				道案内をしながら発表する				○	○	はっきり発話できているか	発表の分析

横浜桜陽高等学校 3年中国語(2単位)

時期	7月～10月	11月～12月	1月～2月
課題	自己紹介をしよう	会場案内をしよう	買い物計画をたてよう
内容	自己紹介文を書き発表しよう	会場案内文を作成し実際に案内してみよう	中華街で中国語でお買い物や注文をしてみよう

単元ルーブリック

	目標達成	もう少し頑張ろう	努力が必要
視線・語りかけ	相手に目を向けて語りかけるように発表している。	ところどころ聞き手に目を向けず語りかけるように発表している。	聴衆に目を向けず語りかけるように発表していない。
発音が正しいか	正しく発音して発表している。	やや発音に不正確さが見られる。	発音が不正確である。
フレーズとイントネーションを意識しているか	フレーズとイントネーションを意識して発表している。	ところどころフレーズとイントネーションを意識していない。	フレーズとイントネーションを意識していない。

ダイアローグ

- A: 从这儿去 会议室 怎么走?
B: 一直走, 去一楼, 然后往右拐。
- A: 请问, _____ 在哪儿?
B: 一直走, 往右拐。
- A: 去 _____ 怎么走?
B: 往前走, 在右边儿。

平成29～30年度 グローバル化に対応した外国語教育推進事業

神奈川県立横浜桜陽高等学校

中国語入門

神奈川県立横浜桜陽高等学校

非常勤講師 温 悠

学校概要

- ・神奈川県立横浜桜陽高等学校 JR戸塚駅からバスで15分
- ・学校概要 平成29年度入学生よりフレキシブルスクールから年次ごとの学びが中心となる単位制普通科となった。
- ・学校規模 892名(23学級規模2018年度現在)
- ・学期 2学期制
- ・履修形態 中国語入門 履修者 17名(3年生) 週一回 2単位
中国語実践 履修者 7名(3年生) 週一回 2単位
- ・履修動機 普段の生活で中国人と同じ空間にいることは増えた。彼らが中国語で何を話しているのか知りたいと思った。将来仕事で中国語は使えそうだから。

中国語入門

パフォーマンス課題:

1回目 授業実施時期:11月～12月全8回

「自分が使える範囲の中国語であーすフェスタかながわ2019
のボランティアの時に会場(道)案内をすることができる」

2回目 授業実施時期:1月

「中国語を使って中華街で買い物ができる。お店で注文ができる」

あーすフェスタかながわ とは

毎年5月にJR本郷台駅にある 神奈川県立地球市民かながわプラザで開催される「多文化共生」をテーマにしたイベント。

- ・あーすフェスタかながわは、多文化共生社会の実現にむけて、異なる国籍、文化を持つ多くの県民が集い、出会い、それぞれの文化や考え方をアピールするとともに、互いを理解する機会を作るため、県内の民族団体、NGO、市民ボランティアなどが企画段階からともに力をあわせ開催するものです。
- ・各プログラムにおいて、多くの外国籍の方が参加できる場をもうけることをめざします。
- ・<http://www.earthplaza.jp/earthfesta/about.html>より

①本質的な問い

- (1)どのようにして中国語の学習を通じて他者との多様な関係性を築けるか
- (2)会場(道)案内をするとき、中国語で表現するにはどのような言葉や文型で表現すればよいか

②永続的理解

- (1)中国語を通じて中国や他国、多文化への興味と発見がある。
- (2)会場(道)案内をするとき、中国語で表現するには、方向や位置を表す前置詞を適切に用いればよい

実施状況

- ・パフォーマンス課題の授業実施回数

11月～12月中の4日間 全8回(2時間連続の授業)

- ・各授業の「本次の問い」

- (1)起点から他者が会場のどこへいく可能性があるか
- (2)目標地点までの会場(道)を案内するにはどんな言い方ができるか(公開授業)
- (3)自分が用意した文章が実際の会場にあっているか(現地へ視察)
- (4)聞き手に伝えたいことを想定し丁寧にはっきりとした声で発表できるか(発表)

授業計画

(1)主な流れ

「会場案内をする」というゴールに向かってグループごとに原稿を作成する。
グループ相互間で文章をチェックし完成度をあげる。

(2)使用文型

会場の地図をみながら、案内する場所を想像し、案内に必要な3つの
中国語の文型から自分が使う文型を1つ選び作文できる。

- ①「ここから～へはどのようにいきますか」
- ②「～へはどういきますか」
- ③「～はどこですか」

・文型は事前に学校の道案内の練習をしてからあーすフェスタの会場案内作成をしている

公開授業

生徒の作成文例:

- ・A:「総合案内所から 研修室A へは、どのようにいきますか。」
- ・B:「真っ直ぐいき、一階へ行き、右に曲がります。」
- ・C:「リリスホールはどこですか。」
- ・D:「真っ直ぐあるいて右に曲がります。」

公開授業時 グループワーク時の様子



授業資料 教科書

『中高版しゃべっていいとも中国語』

ワードバンク

便利店 binielián コンビニエンスストア	学校 前边儿 xuéxiào qiánbianr 学校の前
餐厅 cāntīng レストラン	公園 旁边儿 gōngyuán pángbianr 公園の隣
医院 yīyuàn 病院	车站 左边儿 chēzhàn zuǒbianr 駅の左側
电影院 diànyǐngyuàn 映画館	书店 后边儿 shūdiàn hòubianr 本屋の後ろ

本文とワードバンクの語句を使って空欄を埋め、会話練習をしてみましょう。

A: 請問、() 在哪儿?
B: 在 ()。
A: () 这儿怎么走?
B: 一直走, 然后 () 左拐。
A: 在道路哪边儿?
B: 在右边儿。

下の地図を使って“车站”、“医院”、“銀行”、“便利店”の行き方をたずねてみましょう。答えは
□: 从这里走〇〇怎么走?
A: 一直走……

授業資料

あーすプラザ会場地図・チラシ・教科書

教員の取り組み

「育むべき資質・能力」

- **知識・技能**
⇒案内に必要な言い回しを生徒自身で探せるよう丁寧に取り組むことを説明する
- **思考力・判断力・表現力**
⇒知識・技能を活かし、聞き手に伝えたいことを生徒が想定できるよう多角的な視点で声かけをする
- **学びに向かう力・人間性**
⇒わからないことを曖昧にさせないようにはたらきかける。
発表時、聞き手に伝わるようにはっきりと話せるよう粘り強く指導する。

あーすフェスタかながわ 会場見学時の様子



成果

- 「課題に取り組む前にルーブリックを配布したのはよかった」60%の生徒が回答(アンケート)
- 「中国語の勉強を一生懸命した」90%の生徒が回答(アンケート)
- 「中国語が好き」「中国文化社会を学ぶことに興味関心がある」と80%の生徒が回答(アンケート)
- 生徒が相手に伝えたい内容をよく考え、案内に必要な単語を教科書から進んで探し、グループワークにも参加するようになった。(担当者)
- 寝ている生徒がいなくなった。(担当者)
- もともと真面目に取り組んでいた生徒は、既習事項を的確に覚え、グループ内や教員に対して意見を出せるようになった。(担当者)

今後の課題

- 3つの文型から自由に一つを選択し生徒が原稿を作成したが、グループ相互間チェックの際、自分が使っていない文型の文章チェックができなかった。
→ 今後は使用文型を一つする。あるいは3つの文型を使いこなせるまで練習時間を増やすなどの対策が必要だと考える。
- 発表の際中国語の発音の苦手意識から、なかなか大きな声で発表ができなかった。
→ 今後は生徒が発音練習に取り組みやすい雰囲気づくりや生徒が興味を持つようなアクティビティを入れるなどさらに工夫する必要があると考える。

スペイン語

研究主題

昨年度作成・実践した、逆向き設計論にもとづきパフォーマンス課題を目標にした単元指導案をもとに、パフォーマンス課題の年間（複数年次）配置デザインを描きつつ、より効果的で汎用的な指導案と評価計画の作成に取り組み、研究授業により成果を検証する。

取組の内容

- ・各単元目標に8つのプレゼンテーションを設定し、それらを年間指導計画に位置づける。
 1回目『なりきり自己紹介』 2回目『友人を紹介する』 3回目『夏休みの予定』 4回目『夏休みの報告』
 5回目『趣味の紹介』 6回目『私の町』 7回目『私のお気に入り観光スポット』(研究授業対象単元)
 8回目『1年間を振り返って』
- ・単元指導案の作成にあたって、その目標に向け逆向き設計を行う。(必要な場合、テキストの文法事項の学習順序を変更)
- ・発表の目標、評価の重点は徐々に難易度を上げてゆきルーブリックに反映させた上で生徒に提示する。
- ・既習外国語である英語を様々な場面で用い、英語とスペイン語双方の底上げを図る。
- ・プレゼンテーションに対する質疑など対話的要素も多く実施する。
- ・社会文化的学習の要素も多く取り入れる。

成果①

《定性的評価》

- パフォーマンスという明確化された目標を示すことにより生徒たちは生き生きと発表しモチベーションも上がっていた。
- 評価の重点の難易度を段階的に上げてゆくことで、生徒たちは目標を立てて取り組むことができたと思われる。
- 英語を多く用いることにより両言語に対する興味・関心が高まった。
- スペイン語で質疑ができない場合、英語でも可とした。結果、『英語で表現できる』という自信がついたようである。
- 文化項目の学習機会を増やしたことにより、国際社会への興味・関心が高まった生徒が多かった。

成果②

《定量的評価》

- アンケート結果の分析
 - ・英語学習の意欲の向上 80%
 - ・4領域(聞く・書く・発表する・読む)でプレゼンテーション課題による学習の効果を実感した生徒が82%
- 英語検定受験者の数の劇的な増加
 2016年12名 2017年39名 2018年62名
- 西検受験者の大幅増加
 2016年2名→2017年4名→2018年20名
 (5級合格者2名)
- ・課題研究における国際関係に関するテーマ選択者の増加 (2017)全体の8%
 →(2018)全体の14%

今後の課題・方向性

- 各単元でプレゼンテーションの台本を作成する際、グループワークで意見を出し合うなどの機会を十分に設定できなかった。今後生徒相互の関わりの機会をどのように担保するか課題である
- プレゼンテーションに対して質疑の機会を多く設定したにも関わらず『話す(やり取り)』の領域で能力の向上を実感した生徒の割合がやや少なかった。(64%)今後生徒間のグループワークなど方法を検討する必要があると考える。
- 英語の多用は英語嫌いの生徒に対してのアプローチを検討する必要がある。

単元指導案

■単元案の概要

作成者： 日比野 規生

1 単元名

私のおすすめ観光スポット

2 実施するクラスの状況等

言語/科目名	スペイン語/スペイン語発展	実施時期	11月～12月
学習年次	2年次	言語レベル	A1
クラスの状況	11人(2年)	単元の授業時数(50分×3回など)	55分×5回
単位数	2単位(半期科目のため週4時間)	使用教材	朝日出版 Gramaño!

3 単元の目標

この単元で目標とするパフォーマンス課題

2020年 東京オリンピックに来日した外国人に対して自分のお気に入り観光スポットを分かりやすく紹介し、その魅力や注意点などを伝える。またその内容についてやり取りする。

本質的な問い	永続的理解
①スペイン語で外国人観光客に自分がお勧めする観光地をどのようにすれば、わかりやすく紹介、説明できるか？ ②観光地の魅力やアクセス、注意点はどのように表現すればいいのか？ ③分かりやすく観光スポットを説明するにはどのような工夫をしたらいいのか？	①外国人に事柄を紹介するには外国人が日本のどんなところを知りたいがっているか、日本のどんなことを知っていて、どんなことを知らないかを考えて紹介するとよい。 ②所在と存在を表す動詞(estar/haber)を正しく使い、また目的地までの所要時間を交通手段などの表現を用い、詳しく説明するとよい。 ③写真やイラストを使ったり、自分の体験を組み込みアドバイスするとよい。

Can-do リスト

[紹介内容]1 観光スポットの場所や名前を言ったり書いたりできる。 [紹介内容]2 観光スポットの魅力やお勧め時期、注意点を口頭でやり取りできる。
 [紹介内容]3 観光スポットに関する自分の経験を口頭で紹介しあうことができる。
 [人とのつきあい]1 人とのつきあいで使う基本的な表現(初対面)を言うことができる。[人とのつきあい]2 紹介するときに交わす基本的な表現を言うことができる。
 [発表]1 発表の時の定型表現を言うことができる。[発表]2 大きな声で、文の区切り目を意識しつつ発表することができる。
 [発表]3 聴衆に目を向けながら台本を見ずに語るように発表できる。[発表]4 フリップやスライドなどを使って発表できる。

育むべき資質・能力			文化と社会への気づきのポイント
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	
・今から～を紹介しします。Ahora voy a hablarles ～。 ・ご清聴ありがとうございました。Muchas gracias por su atención.などプレゼンテーションに必要な表現。 ・Pero(しかし) por eso(だから) porque(～だから)y(そして)además(さらに)など論理的な文章に必要な表現 ・動詞 haberの用法(estar動詞との違い)/hay queの用法 ・¿Cuánto tiempo se tarda ～? 『～に行くのにはどのくらいかかりますか?』の文と その答えになる Se tarda～の構文 (この単元で参照する既習事項) 乗り物に関する語、時の単位 英語のBe動詞に相当する動詞(ser,estar)及びhaveに相当する動詞(tener)	・紹介するのに適した観光スポットを考え決定する力。 ・お気に入りの観光スポットについて発表するのに必要な情報を調べる力。 ・スペイン語の辞書や英語・スペイン語版日本の観光ガイドブックを使って適切なスペイン語で表現する力。 ・写真、地図、絵などの使い方を工夫し発表する力。 ・文の区切り目を意識しつつ分かりやすく発表する力。 ・聴衆に視線を向け、思いを伝えようとする力。	・発表者だけでなく聴者も、他人のおすすめ観光スポットについて関心を持つとする態度。 ・自分の好きな理由などを説明してその考えを共有してゆこうとする態度。 ・成功談、失敗談を含めて説明し他人に対して思いやりと配慮の気持ちを持って接してゆこうとする態度。 ・訪日する外国人が日本での旅行の目的や求めるものを理解した上で観光スポットを紹介しお互いの文化を尊重しながら生きてゆこうとする態度。	①自分の発表や他の発表を通して日本の観光地についての新たな発見があるか。 ②日本の観光地を知ることで世界の中の日本、世界の中の自分を意識することができるか。 ③日本の観光地を訪れる際の注意点を外国人の立場になって伝えることができるか。 ④聴衆は外国人の立場になって発表者に質問をすることができるか。

4 単元の評価方法

筆記形式の小テスト・発表テスト(知識技能)	総合的評価(思考力判断力表現力・学びに向かう力に対応する)
語彙・表現の小テスト(記述の確認) 発表形式のテスト(行動の観察)	パフォーマンス評価 クラス内発表(行動の確認)

■単元の指導計画

次	ねらい (授業をとおして、生徒がどう 変容しているか)	学習内容	学習活動	5領域別の目標					評価規準	評価方法			
				聞 く	読 む	読 す (ゆり り の め)	読 す (読 書)	書 く					
1	日本での観光の傾向を知り、 また観光に関する基礎知識深 め、紹介文のイメージが出来 る	スペイン語圏の人が訪れる観光スポットランキングの紹介	国別のランキングを見て傾向を知り、国によるランキ ングの違いの理由を考える。		○				積極的に取り組んでいるか	行動の観察(ワーク シート記入など)			
		紹介する観光地を決定する	自分のお気に入りの観光地の中から紹介する場所を 決める。						意欲をもって決定しているか	記述の確認			
		観光に関する用語、表現を学ぶ	観光地に関する単語や交通手段を表す語句の確認 (英語で記載されたフラッシュカードを用い学ぶ。)(既 習事項)		○		○			語彙を理解し積極的に発話しているか	行動の確認		
			交通手段の表現、所要時間の表現を学ぶ AからBまで〜で・時間かかるの表現 ¿Cuánto tiempo se tarda para ir ~? 『〜に行くにはどのくらいかかりますか?』 と Se tarda ~の構文		○	○		○	○	意味を正しく理解し積極的に発話しているか	行動の確認		
2	紹介する観光地の特徴や所 在などを表現できるようにな る。	1次の復習	①交通手段、時間の表現の復習 ②(プリント) 藤沢総合高校までの所要時間 ③(英文を提示して) It takes thirty minutes from Tokyo Station to Sinzuyukyoen.			○		○	語句の意味が理解できているか 英語をインプットしスペイン語でアウトプッ トしているか	行動の観察			
		haberの用法を学び、estar動詞との違いを理解する	動詞haberの用法を英文やイラストを見ながら 学ぶ。(estar動詞との違いを交えながら) 例 ・トイレを探す①近くにトイレがあるか(公園) ②どこにトイレがあるか(お店) ・ My cat Tama is on the chair(知っている猫). Mi gato Tama está en la silla. ・ There is a cat on the chair(見知らぬ猫) Hay un gato en la silla.		○	○		○	○	用法を正しく理解しかつ適切に表現している か 英文をスペイン語で適切に表現しているか	行動の観察		
		発表の柱になる文章を書く	授業者の質問(英語)に英語で答えそれらをスペイン 語に書き換えてゆく。 (例)Where is Kamakura? ⇒Kamakura is in Kanagawa. ⇒Kamakura está en Kanagawa. (例) How long does it take from Yokohama to Kamakura? ⇒It takes about thirty minutes from Yokohama to Kamakura by train. ⇒Se tarda treinta minutos desde Yokohama a Kamakura en tren.		○	○	○		○	動詞を適切に用いて表現しているか	行動の観察(記述の 確認、発表の様子)		
3	分かりやすくかつ論理的に観 光地の魅力を紹介する文章が 書けたり言えたりできるよう になり、かつ注意点なども表現 できるようになる	注意点を説明する表現を学ぶ	hay queの用法を英文を用いながら一般的注意点や 個人でしなければならないことを述べる表現を学ぶ。 (イラストや英文から想像する文を述べる) 例1 駅の券売機が混雑するので往復切符を購 入する必要があることを伝えるイラスト 例2 事前に予約や申し込みが必要であることを 表す英文			○			○	用法を正しく理解し表現しているか	行動の観察(記述の 確認、発表の様子)		
		集めた語句や表現してきた文章を適切な接続詞などを用い ながら紹介文を作る	porque「なぜなら」pero「しかし」y「そして」 por eso「それゆえ」además「さらに」などの用法を確認 する。(既習事項) ここまでためておいたスペイン語の文章を論理展開を 考え、並び替えたり付け加えたりして台本を完成させ る。 フリップの構成を考える(どのようなフリップをどこで何 枚使うか論理構成を考えながら決定する。 チェック済の台本を覚え表現の練習をする。また、表 情、視線などはペアでお互いに確認しあう 完成させたフリップを用い練習する								表現は適切でわかりやすいか	行動の観察(記述の 確認、生徒の反応)	
											○	分かりやすく文章を展開させているか	記述の確認
												○	積極的に取り組んでいるか
4 5	発表をしたり聞いたりしてそれ ぞれの意見や思いを共有した り尊重する態度が身につく	質問文の例文を提示	意味を確認し質問として応用できる部分を確認する						○	積極的に取り組んでいるか	行動・記述の観察		
		フリップ等を用い外国人に紹介するという設定をイメージし ながら発表する。また発表を聞き質問をして理解を深める。	発表者は表現、発音、視線、フリップの使い方に注意 して自分のお気に入りの観光地を紹介する。聴衆はメモ を取り、質問の文章を考える。 全体の振り返りをする		○	○	○	○	○	○	文章を正しく発音しかつ表現的的確でフリッ プも有効に活用しているか 聴衆は他人の発表を聞き尊重し、さらに質 問により理解を高めようとしているか。	発表(行動)の分析	
										○	発表、質問、など全体をふりかえり、自分 の中で位置づけようとしているか	行動の観察	

総括評価用ルーブリック

記入欄追加版	目標達成	もう少し頑張ろう	努力が必要
視線・語りかけ	聴衆に目を向けて語りかけるように発表している	ところどころ聴衆に目を向けず語りかけるように発表していない。	聴衆に目を向けず語りかけるように発表していない。
発音が正しいか	正しく発音して発表している。	やや発音に不正確が見られる。	発音が不正確である。
フレーズとイントネーションを意識しているか	フレーズとイントネーションを意識して発表している	ところどころフレーズとイントネーションを意識していない	フレーズとイントネーションを意識していない
台本を見ずに語るように発表できるか。	台本を見ずに発表している	ところどころ台本を見ている。	全て台本を見て発表している
写真などの補助素材も有効に使っているか。	補助素材を有効に活用している。	補助素材はあまり活用していない。	補助素材を活用していない。

電岡中学校 英語 1年生		
時期	1学期	2学期
課題	なりきり自己紹介をしよう	大好きなキャラクターを紹介しよう
内容	自己紹介文を書き、スピーチする	日記を書いて、スピーチする

鷹巣養塾高等学校 3年ドイツ語II(3単位)

時期	前期中間試験まで (4月～5月中旬)	前期末試験まで (5月下旬～6月)	後期中間試験まで (9月～11月中旬)	学年末試験まで (11月下旬～1月)
課題	スピーチを行う	自己アピールをする	学校を紹介する	デンスカクションをする
内容	短い物語を朗読する	面談の形式で、自分の趣味や特技について紹介し、デンスカクションからの質問に答える	ドイツ人留学生を家庭内の趣味や特技について紹介し、学校の各授業を説明する	簡単なテーマで、他人のグループ間で10分程度のデンスカクションを行う

カリタス中等学校 2年フランス語II(3単位)

時期	4～6月	9～12月	1～3月
課題	スポーツや部活が話題の会話を作ろう！	2020オリンピックで来日した選手や外国人観光客に道案内をしよう！	「落ちを入れて面白い会話を作ろう！」
内容	スポーツがテーマの友人以上の会話を作り、演じる。	2020オリンピックで来日した選手や外国人観光客に道案内をしよう！	イベントを企画し、提案を交換したり断ったりする会話を面白い、演じる。

横浜桜陽高等学校 3年中国語(2単位)

時期	4月～9月	10月～12月	1月
課題	自己紹介をしよう	会場案内をしよう	買い物計画を立てよう
内容	自己紹介文を書き発表しよう	会場案内文を作成し実際に案内してみよう	中華街で中国語で面白い物や注文をしてみよう

横浜翠嵐高等学校 韓国朝鮮語(2単位)

実施時期	10月	12月
課題	ルーツの国・地方を紹介しよう	ルーツの国・地方の言語・方言を紹介しよう
内容		

藤沢総合高等学校 ス페인語入門→発展(4単位)

実施時期	1回目 (4月)	2回目 (5月)	3回目・4回目 (①7月・②9月)	5回目 (10月)	6回目 (11月)	7回目 (12月)	8回目 (3月)
	課題	なりきり自己紹介	友人を紹介する	夏休みの予定を発表する (①)	余暇の過ごし方	自分の住んでいる町の魅力を語り理解してもらう	私の1年間
内容	スペイン語圏の人に なりきり、好きな食べ物を発表する。	クラスメイトをスペイン語で紹介する	夏休みの予定を発表する (①) 夏休みの報告 (②)	スライド、写真を用い余暇の過ごし方興味を紹介し、理解してもらう。	自分の住んでいる町の魅力を語り理解してもらう	私の好きなこと、外国人に語る「私のホット」	学校生活や私生活が がんばったこと、やり遂げられたこと、 たことを発表する。

ダイアローグ

- 1 **Hay** muchos lugares turísticos **en** Japón. (日本にはたくさんの観光地があります。)
- 2 **Pero** ahora voy a hablarle sobre mi lugar favorito.
(ここでは私のお気に入りの観光スポットについて話したいと思います)
- 3 Mi lugar favorito es Kamakura **porque** es una ciudad antigua.
(それは鎌倉です。というのは歴史ある街だからです)
- 4 Kamakura **está** en Kanagawa. (鎌倉は神奈川にあります。)
- 5 Se tarda treinta minutos para ir a Kamakura desde Yokohama en tren.
(横浜から鎌倉まで電車で30分かかります。)
- 5 **Tiene** muchos templos y edificios históricos. (寺院な歴史的な建造物があり)
- 6 **Pero** los fines de semana **hay** mucha gente. (でも週末はとても人でいっぱいです)
- 7 **Por eso** hay que comprar los billetes de tren por adelantado . (だから前もって切符を買うべきだと思います。)
(Muchas gracias por su atención.) (ありがとうございました)

2018グローバル化に対応した外国語教育推進事業 年間指導計画における8つのプレゼン テーションと研究授業報告

スペイン語担当
藤沢総合高校 日比野規生

2018度の試み

- ① 年間で8回のプレゼンテーション
→必要に応じて文法事項の学習順序を変更
- ② 発表の目標、評価の重点は徐々に難易度を上げてゆく
→ルーブリックにも反映
- ③ 対話的要素を多く設定
- ④ 社会文化的項目の学習を増やす
(例) 海外の観光スポット、スペイン語圏の人気スポーツ

* 昨年度に引き続き各単元で既習外国語である英語を用い
両言語の能力の引き上げを図る

前期	1回目(4月)	2回目(5月)	3回目・4回目 (7月・9月)	後期	5回目(10月)	6回目(11月)	7回目(12月)	8日目(3月)
タイトルと重要表現	なりきり自己紹介 Hola, me llamo Mario/María.	友人を紹介する Él es mi amigo Masao Tanaka.	夏休みについて En las vacaciones voy a trabajar mucho./En las vacaciones de verano fui a Hokkaido.	タイトル	日常生活、余暇の過ごし方、趣味を紹介する Me gusta jugar el fútbol.	自分の町の魅力を語る Kamakura es famosa por el Gran Buda.	「私のお気に入り観光スポット」 Hay muchos lugares turísticos en Japón.	1年間で頑張ったこと Lo que me animó el año pasado fue la actividad del club
内容	スペイン語圏の国の人になりきり、氏名、出身、好きな食べ物を発表する	クラスメイトをスペイン語で紹介する	夏休みの予定を発表する(①) 夏休みの報告(②)	内容	スライド、写真を用い余暇の過ごし方、趣味を紹介し、理解してもらう	自分の住んでいる町の魅力を語り、理解してもらう	東京オリンピックにきた外国人に語る「私のお気に入り観光スポット」	学校生活や私生活で頑張ったことを発表する。
評価の重点(ねらい)	大きな声でゆっくりと(台本を見て)発表できるかスペイン語での発表に慣れる。(正しく読めるかを確認)	大きな声でゆっくりと落ち着いて発表できるか(発音を意識して発表する。)	短い文を台本を見ずに発音を意識して発表できるか/フリップを使いながら発表してみる	評価の重点	比較的最長い文を台本をなるべく見ずに文法構造を考えて発表できるか。(表現することを心がける。)	比較的最長い文を文法構造や文の区切り目を考えながら台本を見ずに発表する。(説明することを心がける)	視線とフレーズやイントネーションに意識して台本を見ずに発表できるか。写真などを有効に使っているか。	文法構造を考えながら聴衆に目を向け身振りなどを交えて発表できるか
必要な文法事項及び語彙	自己紹介の決まった形を理解する	人称代名詞、Ser動詞、estar動詞、形容詞	一般動詞(規則動詞)と不規則動詞不規則動詞ir『行く』の用法とこれからしようとすることを表すira～fui a～(went to～)の用法	文法・構文	gustar(好き)の用法やPorque(なぜなら)などの接続詞の用法	一般動詞、自分の考えを説明するために必要な語法を学ぶ	haberの用法 論理的文章になるような文章構成を学ぶ	直接法点過去 線過去
文化項目	スペイン語圏の国々一般的な名前、ミドルネーム代表的料理	紹介するときのマナーを日本と比較する握手、キス	季節の語彙(花火大会、正月など)スペイン語圏の夏休みの過ごし方	文化項目	スペイン語圏の国々の余暇の過ごし方、趣味について学ぶ人気スポーツ、国技	様々な国の観光スポット、住みよいとされる都市を調べる	外国人に人気の日本の観光スポットを知りその理由を探る	インターネットを利用して魅力的なスポットを調べる
既習外国語(英語)の用い方	英語での自己紹介の文を参照しそれをスペイン語にする	英語でインタビュー→それをスペイン語→スペイン語で聴衆に紹介	英語で台本→それをスペイン語	既習外国語の用い方	娯楽に関する英語→スペイン語 台本作りに英語を使用	インターネット(英語表記)で様々な観光地を調べる	情報収集、台本作り 英語で台本⇒スペイン語	情報収集、台本作り 英語で台本⇒スペイン語

研究授業の対象となる単元

第7回目

東京オリンピックに来た外国人に語る 「私のお気に入り観光スポット」

Hay muchos lugares turísticos en Japón.

このパフォーマンスの諸要素

- 設定 オリンピックで来日した外国人（スペイン語を母語）に語る
- 状況 日本で外国人にお気に入り観光スポットを尋ねられる
- 役割 観光スポットを教え、さらに魅力や行き方、注意点を伝える。
- 結果 自分の好きな観光スポットを自分の言葉で相手に勧め、理解してもらい、相手（聞き手）に共感してもらう。
- 評価の重点 視線・台本を見ずに発表・フレーズ、イントネーション
写真など活用法

⑦「私のお気に入り観光スポット」のルーブリック

		目標達成	もう少し頑張ろう	努力が必要
私のお気に入り観光スポットを紹介する	聴衆に目を向けながら発表できるか。	聴衆に目を向けて発表している。	ところどころ聴衆に目を向けていない。	聴衆に目を向けていない。
	発音やフレーズとイントネーションを意識しながら発表できるか	正しく発音して発表している。	やや発音に不正確さが見られる。	発音が不正確である。
	台本を見ずに語るように発表できるか。	台本を見ずに発表している	ところどころ台本を見ている。	発表内容を全て台本を見ている。
	写真などの補助素材も有効に使っているか。	補助素材を活用している。	補助素材はあまり活用していない。	補助素材を活用していない。

①なりきり自己紹介のルーブリック

		目標達成	もう少し頑張ろう	努力が必要
なりきり自己紹介をする	大きな声で発表しており、初めてとは思えないような落ち着いた態度である。	大きな声で発表している	やや声が小さく聞き取りづらい	聞き取るのが困難である。
	[h] [ll] [qui] の発音を全て正しくしているか	[h] [ll] [qui] の発音を全て正しくしている	[h] [ll] [qui] の発音を正しくしていない	

研究授業の対象クラス

講座名 スペイン語発展

学年 2年次

人数 11名

単位数 2単位 (セメスター半期科目のため週4時間)

クラス様子 明るく積極的な生徒たちである。

スペイン語だけでなく英語にも興味がある生徒が多い

(女子10名、男子1名)

単元指導案の概略

全5時間 前半3時間必要な語法を学ぶ

後半2時間 準備と発表

- 1次 交通手段のスペイン語、時間の表現
所要時間の表現 観光地決定
- 2次 決定した観光地の発表
所在と存在の表現 (estarとhaberの表現)
- 3次 注意点などの表現 (hay queの表現)・台本作成
- 4次 練習・質疑の表現の確認
- 5次 発表 振り返り

1次のプリント①

I 交通手段の表現

既習事項→英語で復習

II 『AからBまで〜で

・・・時間かかる』の表現
→英語の表現と対比して

Mi lugar turístico favorito

Número _____ nombre _____

I 交通手段のスペイン語(escriba en español)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 by bus _____ | 6 by train _____ |
| 2 by car _____ | 7 by taxi _____ |
| 3 on foot _____ | 8 by bicycle _____ |
| 4 by ship _____ | |
| 5 by plane _____ | |

II 『AからBまで〜で・・・かかる』の文

How long does it take from Yokohama to Shibuya by train?

=¿Cuánto tiempo se tarda para ir a Shibuya desde Yokohama en tren?

It takes thirty minutes from Yokohama to Shibuya by train.

=Se tarda treinta minutos para ir a Shibuya desde Yokohama en tren.

• ¿Cuánto tiempo tarda desde su casa a Fujisaka Sogo?

1次のプリント②

I 表現の練習

藤沢総合高校のアクセスマップ
を用いて所要時間を表現

II 自分のお気に入り観光 スポットのアクセスを表現

英語→スペイン語で表現

(ejercicio)

1次の藤沢総合のアクセスマップを見て横浜駅から藤沢総合までの
道案内をしてみよう

①横浜駅から長後駅まで

②長後駅から学校まで

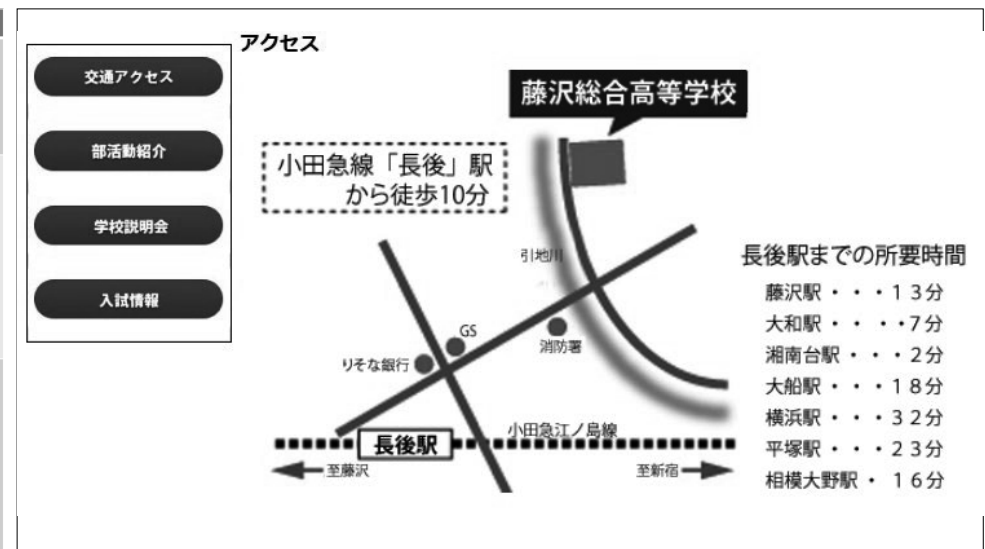


① _____

② _____

2 横浜から自分のお気に入りの観光地までの交通を英語とスペイン語で
書いてみよう。

ねらい	学習内容	学習活動	評価方法
紹介する観光地の 特徴や所在などを 表現できるようになる	1次の復習	①交通手段のスペイン語(英語のフラッシュカードを用い 英語→スペイン語) ②藤沢総合高校までの道のりをスタート地点を変 えて練習する ③所要時間の表現 英語→スペイン語	行動の観察
	haberの用法を学び Estarとの違いを理解 する	・紹介する観光地の発表(Mi lugar turistico favorito es ~) ・動詞haberの用法を英文やイラストを見ながら学ぶ (estar動詞との違いを交えて) 例 ・)イレを探す①近くにトイレがあるか(公園) ②どこにトイレがあるか(お店) ・ My cat Tama is on the chair(知っている猫). Mi gato Tama está en la silla. ・ There is a cat on the chair.(見知らぬ猫) Hay un gato en la silla.	行動の観察
	発表の柱になる文 章を書く	授業者: 英語で質問→生徒: 英語次にスペイン語(書き溜めてゆく) (例)《授業者》Where is Kamakura? 《生徒》Kamakura is in Kanagawa. →Kamakura está en Kanagawa. (例)《授業者》How long does it take from Yokohama to Kamakura by train? 《生徒》It takes thirty minutes from Yokohama to Kamakura by train. →Se tarda treinta minutos para ir a Kamakura desde Yokohama en tren.	行動の観察 (記述の確認 、発表の様子)



by car → 15minutes
on foot and by train
→ 30minutes

Where is ~? / ¿Dónde está ~?

Sendai ~仙台~	Izu ~伊豆~	OSAKA ~大阪~	Chigasaki ~湘南台~
OKinawa ~沖縄~	Kamakura ~鎌倉~	MiShima ~三島~	Tokyo ~東京~
KYOTO ~京都~	Shirakanagou 白川郷	Aomori ~青森~	

Mi lugar turístico favorito② ～所在や特徴を説明しよう～

hayは存在、estarは所在を表す。

⇒ hayは『あるか、ないか』『いるか、いないか』を表す

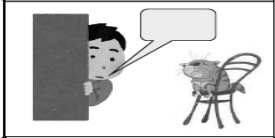
Hay un libro sobre la mesa.

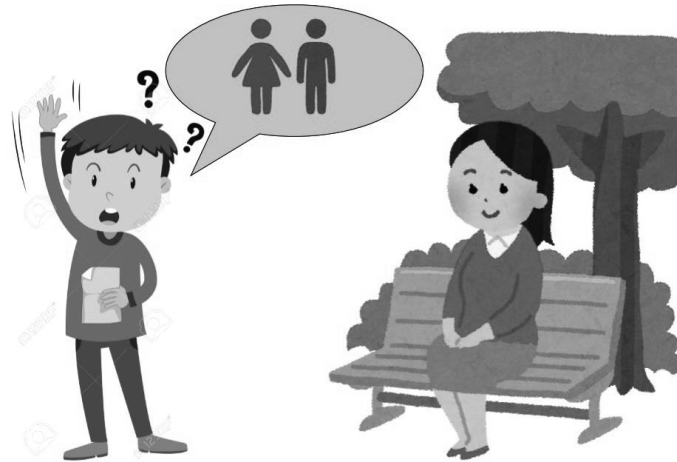
There is a book on the table.

⇒ estarは『どこにあるか、どこにいるか』を表す

El libro está sobre la mesa.

The book is on the table.





Where is Kamakura?

→ Kamakura is in Kanagawa.

⇒ Kamakura está en Kanagawa.

How long does it take from Yokohama to Kamakura by train?

→ It takes thirty minutes from Yokohama to Kamakura by train.

⇒ Se tarda treinta minutos para ir a Kamakura desde Yokohama en tren.

4 時間目

- ① 注意点の文章 (hay queの構文)を加え台本を完成させる。
- ② 練習 (ペアワーク)
- ③ 質疑の文章の例文の提示

Hay muchos lugares turísticos en Japón. (日本にはたくさんの観光地があります。)

Pero ahora voy a hablarle sobre mi lugar favorito.
(ここでは私のお気に入りの観光スポットについて話したいと思います)

Mi lugar favorito es Kamakura porque es una ciudad antigua.
(それは鎌倉です。というのは歴史ある街だからです)

Kamakura está en Kanagawa. (鎌倉は神奈川県にあります。)

Se tarda treinta minutos para ir a Kamakura desde Yokohama en tren.

Tiene muchos templos y edificios históricos. (寺院な歴史的な建造物があり)

Además, en la primavera, los cerezos son muy hermosos. (また、春には桜がとても美しいです)

Pero los fines de semana hay mucha gente en la estación de Kamakura.
(でも週末、鎌倉駅は人でいっぱいです)

Por eso cuando llegue, hay que comprar el billete de regreso .
(だから、駅に着いたら帰りの切符を買っておかなければなりません)

(Muchas gracias por su atención.) (ありがとうございました)



Hay muchos lugares turísticos en Japón. (日本にはたくさんの観光地があります。)

Pero ahora voy a hablarle sobre mi lugar favorito.
(ここでは私のお気に入りの観光スポットについて話したいと思います)

Mi lugar favorito es Kamakura porque es una ciudad antigua.
(それは鎌倉です。というのは歴史ある街だからです)

↓

Hay muchas comidas tradicionales en Japón. 日本にはたくさんの伝統料理があります。

Pero ahora voy a hablarles sobre mi comida japonesa favorita.
ここでは私の好きな日本料理について話したいと思います

Mi comida japonesa favorita es Yudofu porque es fácil para preparar y buena para la salud. (私の好きな日本料理は湯豆腐です。というのは準備が簡単で健康にいいからです)

評価	定性的	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の明確化と評価難易度の段階的引き上げにより生徒の動機は向上し、生き生きと発表できた。 ・英語との対比を多くの場面で活用することにより両言語に対する興味・関心が高まった。 ・文化項目の学習機会を増やすことにより、国際社会への興味・関心が高まった生徒が多かった。
	定量的	<p>《生徒アンケートより》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語学習意欲の向上 (80%) ・4領域の能力の向上 (82%) 「やりとり」の領域では64% <p>《カリキュラムG、英語科の調査から》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語検定受験者大幅増加 2016年2名 → 2017年4名 → 2018年20名 ・英語検定受験者の劇的増加 2016年12名 → 2017年39名 → 2018年 62名 (1月は含まず) ・課題研究における国際関係テーマ選択者の増加 2017年 (3年次生の8%) → 2018年 (14%)



今後の課題

- ・プレゼンテーション台本作りにグループワークの導入を検討する
- ・『話す（やりとり）』能力向上のために、発表後の質疑をグループ単位での行うなど方法を検討する
- ・英語との対比にあたって、英語が苦手（嫌い）な生徒に配慮する必要がある

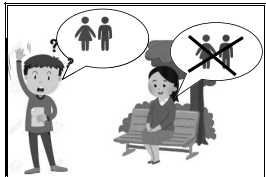
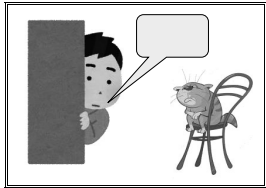
ご清聴ありがとうございました

hayは存在、estarは所在を表す。
⇒ hay は『あるか、ないか』『いるか、いないか』を表す

Hay un libro sobre la mesa.
There is a book on the table.

⇒ estarは『どこにあるか、どこにいるか』を表す

El libro está sobre la mesa.
The book is on the table..



Mi lugar turístico favorito

Número _____ nombre _____

I 交通手段のスペイン語(escriba en español)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 by bus _____ | 6 by train _____ |
| 2 by car _____ | 7 by taxi _____ |
| 3 on foot _____ | 8 by bicycle _____ |
| 4 by ship _____ | |
| 5 by plane _____ | |

II 『AからBまで〜で・・かかる』の文

How long does it take from Yokohama to Shibuya by train?

=¿Cuánto tiempo se tarda para ir a Shibuya desde Yokohama en tren?

It takes thirty minutes from Yokohama to Shibuya by train.

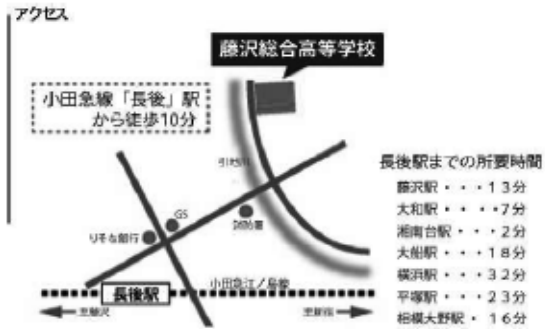
=Se tarda treinta minutos para ir a Shibuya desde Yokohama en tren.

- ¿ Cuánto tiempo tarda desde su casa a Fujisa Sogo?

《ejercicios》

1 次の藤沢総合のアクセスマップを見て横浜駅から藤沢総合までの道案内をしてみよう

- ①横浜駅から長後駅まで
- ②長後駅から学校まで



① _____

② _____

2 横浜から自分のお勧めの観光地までの交通を英語とスペイン語で書いてみよう。

ドイツ語

平成29～30年度「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」 ～慶應義塾高等学校～

研究主題

・昨年度作成・実践した、逆向き設計論にもとづきパフォーマンス課題を目標にした単元指導案をもとに、パフォーマンス課題の年間配置デザインを描きつつ、より効果的で汎用的な指導案と評価計画の作成に取り組み、研究授業により成果を検証する。

取組の内容

・ドイツ語履修2年目(第3学年)の生徒15名に対し、パフォーマンス課題「慶應義塾高等学校を紹介し質疑応答する」を実施する。この課題は、年間で4回行うパフォーマンス課題のうちの3番目に位置づけられている(他の課題は「スピーチを行う」「自己アピールをする」「ディスカッションをする」)。
・このパフォーマンス課題は、ドイツ人留学生2名に対して学校の各施設を紹介するという形で行う。
・後期の授業(9月～10月)にてパフォーマンスの準備となる学習を行う。学校紹介は11月5日(月)に各3名のグループ単位で行う。ドイツ人留学生には、準備段階において本授業に1回参加してもらい、生徒と事前交流を行う。
・本課題では、読む、書く、聞く、話す(表現)、話す(やり取り)の5技能をともに発達させるべく、指導案を作成する。また、ドイツ人留学生が学校について理解し、学校に興味をもってもらえるよう努める態度や、進んで質疑応答をすることにより、聴衆の考えを理解し、自分の意見を理解してもらおうとする態度を養えるよう、指導案を工夫する。
・成績評価については、ドイツ人留学生への学校紹介終了後、11月中に、各自で選んだ施設を一人で紹介し、教員と質疑応答することで評価する。

成果①

・パフォーマンス課題の実施前後に、この課題について(1)すでにできると思うこと、(2)まだできないと思うこと、を尋ねたアンケートにおいて、事後評価のほうに、生徒の様々な気づきを読み取ることができた。例えば、相手と目を合わせる、ジェスチャーを使う、沈黙をつくらない、聞き返すといったコミュニケーションの取り方に関すること、語句や文章を事前に覚えて本番に臨むなど学習ストラテジーに関すること、聞き取れても瞬時に理解できない、といった自分の能力の細かな理解など。学びに向かう力を育むことができた。

成果②

・CEFRの共通参照レベルをもとにした自己評価において、「読む」「書く」「聞く」能力については事前確認より事後評価の方が平均的に低く評価された(「話す(表現・やり取り)」能力についてはほぼ変わらず)。パフォーマンス課題において、実際に5技能を使用してみることにより、克服しなければならない点が具体的に見えてきたことで、厳しい自己評価となったとも考えられる。そうであれば、自己評価をより正確に実施できる能力が身に付いたと判断される。

今後の課題・方向性

・実際にドイツ語話者に対してドイツ語を使用することにより、生徒は様々なことを学ぶ機会を得たようであるし、実施してよかったという感想を得ることができた。
・しかしながら、長い期間をかけた割には、生徒は5技能が上達したとは判断しなかった。教員からは若干の上達を認めることができた。
・学校紹介において、各施設の紹介(「話す(表現)」)については事前準備が十分であり自己評価もよかったのだが、質疑応答(「話す(やり取り)」)については、質問を聞き取り、即時に受け答えすることが難しかったようである。
・このような条件において、より効果的な授業となるよう、検討を続けていきたい。

単元指導案

■単元案の概要

1 単元名

慶應義塾高等学校を紹介し質疑応答する

作成者：吉村創(慶應義塾高等学校)

2 実施するクラスの状況等

言語科目名	ドイツ語/ドイツ語II	実施時期	9月中旬～11月
学習年次	2年次	言語レベル	A2
クラスの状況	15人(第3学年)	単元の授業時数(50分×3回など)	50分×20回程度
単位数	3単位	使用教材	自主教材

3 単元の目標

この単元で目標とするパフォーマンス課題
 慶應義塾大学に所属する留学生が本校を訪問します。慶應義塾高等学校についての紹介をしましょう。その際、聴衆の興味を引くような内容の紹介文をドイツ語で書き、聴衆が関心をもちつつ理解できるよう口頭にて紹介でき、聴衆との質疑応答ができるようになります。

本質的な問い	永続的理解
①ドイツ語で物事を紹介するにはどのような能力が必要であり、実践の際にはどのようなことに注意すべきなのか ②そのような能力を身につけるには、どのように学ぶべきなのか	①聞き手に受け入れてもらえるよう物事を述べる際には、適切なドイツ語を書き、話すことが必要なだけでなく、聴衆の興味や関心がどこに向かっているかに絶えず気を配り、楽しんでもらうことにも注意すべきである ②紹介する内容を(母語で)考えた上で必要な表現を集める、すでに持っているドイツ語の知識を活用する、自分のドイツ語だけでなく他人のドイツ語にふれて改善案を検討し、実際にドイツ語話者に対して物事を紹介してみる、パフォーマンスの後に振り返りを行う、といった学び方が効果的である

Can-do リスト

- ・テキストを読んで理解し、そのテキストから自分がドイツ語で表現する際に必要となる語句や表現を集めることができる
- ・説明すべきことが伝わり、内容に対する興味を呼び起こす紹介文を書くことができる
- ・(準備において)発表内容を聞いて/読んで理解し、理解しにくいところを指摘したり聞き返したりして、お互いの発表を改善することができる
- ・原稿をもとに、口頭で学校を紹介することができる。その際、語句を正しく発音し、文の抑揚を適切につけて発話することができる
- ・聴衆からの質問を理解し、適切に答えることができる
- ・聴衆からの質問の意図が分からなかったとき、聞き返したりすることにより、理解を確かなものに行うことができる

知識・技能	育むべき資質・能力 思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	文化と社会への気づきのポイント
・学校紹介に必要な語句や表現 ・接続詞、代名詞(テキスト構成) ・質問、回答の表現、聞き返しの表現 (この単元で参照する既習事項) 動詞の人称変化 助動詞 分離動詞 再帰動詞 命令形 受動態 完了形 名詞の性・数・格 冠詞(類) 形容詞 zu不定詞 副文 基礎語彙(500～600語) 基本的な表現	・学校紹介の際に何をどのように表現すれば相手に興味をもってもらえる内容となるかを思考・判断する能力 ・聴衆に理解しやすい紹介をするために、語句や表現、文法を適切に使用し、述べる順序を思考・判断する能力 ・紹介すべき内容を、聴衆への気配りをもちつつ、適切なドイツ語で分かりやすく表現する能力 ・質疑応答において、質問の意図を把握し、適切に答えられる能力	・学校紹介の際に、聴衆が学校について理解し、学校に興味をもってもらえるよう努める態度 ・進んで質疑応答をすることにより、聴衆の考えを理解し、自分の意見を理解してもらおうとする態度	・自分の紹介した内容が聴衆にどのように理解されるのか、また自分の予想していなかった点に聴衆が関心を向けたときの理解のあり方について、質疑応答を通して気づき、自分と聴衆のあいだの理解の仕方やものの見方の違いを受け入れる

4 単元の評価方法

筆記形式の小テスト・発表テスト(知識技能)	総合的評価(思考力判断力表現力・学びに向かう力に対応する)
語句や表現をまとめた内容、紹介文の内容(記述の点検) 発表・質疑応答の内容(行動の確認)	パフォーマンス評価(学校・施設紹介、質疑応答)(行動・記述の分析) 自己評価表への記述(記述の点検)

■単元の指導計画

	ねらい（授業をとおして、生徒がどう変容しているか）	本次の問い	学習内容	学習活動	言語の5つの領域の目標					評価規準	評価方法	
					聞く	読む	話す（やり取り）	話す（発表）	書く			
9月10日(月)5時限 9月10日(月)6時限 (一部分)	自分が何を紹介したいかを認識し、何をすべきかを主体的・積極的に決定することができる	何をどのように紹介すれば、聴衆が学校に興味をもつような紹介ができるか	どこで誰が何を紹介するか決定する	どこで紹介するかを決める→校舎、食堂、トレーニングルーム、図書室、和室に決まる 工で決めた場所をそれぞれ3人が紹介するがグループ分けする→それぞれ3人ずつのグループと話し それぞれのグループが何を紹介するか、日本語で内容を考える→実際に学校を回って紹介する							-主体的、積極的に決定しているか -よい紹介をしようという意欲をもって取り組んでいるか	行動の観察(生徒の反応)
9月13日(木)1時限 9月18日(火)5時限 9月18日(火)6時限 (35分間)	学校紹介の前に、聴衆となる留学生のことを知り、紹介の内容を考える視点を育てる	聴衆となる留学生はどのような人たちなのか、どのような学校紹介に興味をもつのか	留学生と事前交流をする	交流の準備をする(自己紹介をできるようにする、ドイツのギムナジウムについて知る) 交流する(自己紹介をする、留学生の自己紹介と出身校(ギムナジウム)についての話を聞く、質疑応答をする) 振り返りを行う(全体で話し合う、自己評価表を記入する)	○		○				-積極的に留学生と交流できているか -留学生がどのような人たちなのかを知ろうと努めているか -自分の行動を、適切に自己評価できているか	行動の観察(生徒の反応) 記述の点検(自己評価表)
9月10日(月)6時限 (一部分) 9月18日(火)6時限 (15分間) 9月20日(木)1時限 9月27日(木)1時限 (25分間)	紹介文の形式を理解し、必要な語句や表現を集めることにより、自分の紹介に向けて準備をすることができる	学校紹介を行うには、どのような語句や表現が必要になるのか	学校紹介文のモデルとなるテキストの内容を理解し、使えそうな語句や表現を集める、またそのテキストにないが重要な語句や表現を補う	これまで使用した教科書を用いて、学校紹介に必要な語句や表現を集める 学校紹介文のモデルとなるテキストを読み、内容を理解する テキストからそれぞれのグループの学校紹介において必要な語句や表現を集める				○			-語句や表現が理解できているか -必要な語句や表現がどのようなものであるか自ら判断できているか	記述の点検(まとめた内容)
9月27日(木)1時限 (25分間) 10月1日(月)6時限 10月4日(木)1時限 10月15日(月)5時限 (10分間) 10月15日(月)6時限 10月18日(木)1時限 (一部分)	これまでに学んだ語句や表現、テキストを構成する表現方法(代名詞、接続詞)を適切に使用して紹介文を書くことができる	学校紹介が成功するよう、紹介文という形で発表内容を適切に書いてまとめるには、どのようなことに注意すべきなのか	集めた語句や表現、テキストを構成する表現方法(接続詞、代名詞)を用いてまとまりのある紹介文を作る	グループでそれぞれの学校紹介文を書く 既有的知識を確認したり、教科書の該当箇所を見ることが、代名詞と接続詞を復習する 代名詞や接続詞を用いて、テキスト構成を意識しつつ紹介文を書き直す グループでお互いの学校紹介文を読みあい、よりよい文章になるよう提案をしよう 学校紹介文を完成させる				○			-これまでに学んだ語句や表現を適切に使用しているか -語句や表現が理解できているか -テキスト構成の整った、まとまりのある紹介文が書けているか	記述の点検(紹介文の内容)
10月18日(木)1時限 (一部分) 10月22日(月)6時限 10月31日(水)5時限 (一部分)	学校紹介文をもとに、聴衆に聴きやすい発音で、聴衆に聞いて楽しんでもらえるよう、適切に口頭で紹介できる	学校紹介が成功するよう、聴衆に聞かせる学校紹介を適切に口頭で行うには、どのようなことに注意すべきなのか	口頭発表の練習をする	グループで紹介文を口頭発表する練習をし、その後全体にて発表する お互いに批評をしあい、その後再度全体にて発表する	○			○			-語句を正しく発音し、文の抑揚を適切につけて発話できているか -適切な訂正案を提示できているか -それらの案を受け入れて改善することができるか	行動の確認(発表の内容)
10月31日(水)5時限 (一部分) 10月31日(水)6時限 11月1日(木)1時限 (40分間)	質疑応答に必要な語句や表現を身につけ、正しく発話し理解することができる	質疑応答を適切に行うためには、どのようなことに注意すべきなのか	質疑応答に必要な語句や表現を学び、質疑応答の内容を予想して模擬練習をする	質疑応答に必要な語句や表現を学ぶ 質疑応答を模擬練習する				○			-語句や表現が理解できているか -語句を正しく発音し、文の抑揚を適切につけて発話できているか -質問の要点を理解し、答えられているか	行動の観察(生徒の反応) 行動の確認(質疑応答の内容)
11月5日(月)5時限 11月5日(月)6時限	聴衆が関心をもつよう理解できる紹介が口頭でき、聴衆の考えを理解し自分の意見を伝えることができるような質疑応答をすることができる	学校紹介を成功させる(聴衆を満足させる)には、どのように振る舞えばよいのか	聴衆を案内しつつそれぞれの場所で口頭での紹介を行う、その後質疑応答を行う	決められた順序で学校案内し、それぞれの場所でそれぞれのグループが口頭で紹介する 質疑応答を行う 振り返りを行う(全体で話し合う、自己評価表を記入する)	○			○			-内容を大まかに理解できているか -質問が相手に理解されたか -聞き取るのに問題ない発音ができているか -聴衆への気配りがあり、聴衆に関心を呼び起こしているか	行動の観察(生徒の反応) 行動の確認(質疑応答の内容)
11月19日(月)6時限 11月22日(木)1時限 11月26日(月)5時限 11月26日(月)6時限 (25分間)	これまでに学んだことを活かして、一人で施設の紹介を行うことができる	自分の選んだ施設を人々に紹介し、紹介を成功させるには、どのように振る舞えばよいのか	自分の知っている施設について一人で紹介し、質疑応答を行う	個々で紹介文を作成する 施設を紹介し、質疑応答を行う 振り返りを行う(自己評価表を記入する)				○	○		-これまでに学んだことを活かして、施設紹介を口頭で適切に行い、質疑応答ができているか -自分の行動を、適切に自己評価できているか	行動の分析(学校紹介) 行動の分析(質疑応答) 行動の観察(生徒の反応) 記述の点検(自己評価表) 記述の分析(紹介文の内容)

※このパフォーマンス課題と並行して、教科書を用いた文法の授業を、10月1日(月)5時限、10月15日(月)5時限(40分間)、10月22日(月)5時限、11月1日(木)1時限(10分間)、11月8日(木)1時限に行った。また、11月19日(月)5時限に、プリントを使用したリーディングの授業を行った。

ルーブリック

	目標以上達成	目標達成	もう少し頑張ろう	努力が必要
紹介文を書く	<ul style="list-style-type: none"> - 語句や表現が豊かに適切に用いられており、文意の読み取りにまったく問題ない - 文法上の間違いがない 	<ul style="list-style-type: none"> - 語句や表現が適切に用いられており、文意が読み取れる - 文法上の間違いが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> - 同じ語句や表現が繰り返しあられるが、文意は読み取れる - 文法上の間違いが少なからずある 	<ul style="list-style-type: none"> - 語句や表現が適切に用いられていないため、文意が読み取れないところがある - 文法上の間違いが多い
	<ul style="list-style-type: none"> - 接続詞や代名詞を用いてテキストがきちんと構成されている - 分かりやすく興味をもてる内容が過不足なくまとめられている 	<ul style="list-style-type: none"> - 接続詞や代名詞が用いられ、テキストを構成しようという努力が見られる - ひとつおりの内容が分かりやすくまとめられている 	<ul style="list-style-type: none"> - 接続詞や代名詞といったテキストを構成する要素が少し用いられている - 説明し足りない部分はあるものの、ある程度の内容がまとめられている 	<ul style="list-style-type: none"> - 接続詞や代名詞といったテキストを構成する要素がほとんど用いられていない - 内容に乏しく、まとまりがない
口頭で学校紹介をする	<ul style="list-style-type: none"> - 語句の発音や文の抑揚が完璧であり、聞き取るのにまったく問題ない - つかえたり止まったりすることがなく、流暢である 	<ul style="list-style-type: none"> - 語句の発音や文の抑揚にあまり間違いがなく、聞き取るのにそれほど問題がない - 時々つかえたり止まったりはするが、概ね流暢である 	<ul style="list-style-type: none"> - 語句の発音や文の抑揚に間違いがあるが、聞き取れないほどではない - つかえたり止まったりすることが目立つが、たどたどしいというほどではない 	<ul style="list-style-type: none"> - 語句の発音や文の抑揚に間違いが多く、聞き取りづらい - つかえたり止まったりすることが多く、たどたどしい
	<ul style="list-style-type: none"> - 聴衆への気配りが行き届いており、聴衆の関心を引きつけることに成功している 	<ul style="list-style-type: none"> - 聴衆への気配りがあり、聴衆は関心をもっている 	<ul style="list-style-type: none"> - 聴衆へ気配りする余裕はあまり見られないが、聴衆の気を損ねるほどではない 	<ul style="list-style-type: none"> - 聴取への気配りが見られず、聴衆の聞く気を損ねる発表である
質疑応答をする	<ul style="list-style-type: none"> - 質問の意図を正しく理解している - どの質問にも適切に答えることができている 	<ul style="list-style-type: none"> - 質問の要点を理解している - 質問に対して少なくとも要点は答えることができている 	<ul style="list-style-type: none"> - 質問の内容をおおまかに理解している - 質問に対して答えられない部分はあるものの、何かしらの回答はしている 	<ul style="list-style-type: none"> - 質問の内容を理解していない - 質問に対して答えられていない

「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」報告会

ドイツ語パフォーマンス課題 「慶應義塾高等学校を紹介し質疑応答する」

2019年1月13日(日)
慶應義塾大学日吉キャンパス
来往舎シンポジウムスペース

吉村創(慶應義塾高等学校)

単元指導案		作成者: 吉村創(慶應義塾高等学校)	
■単元案の概要			
1 単元名			
慶應義塾高等学校を紹介し質疑応答する			
2 実施するクラスの状況等			
言語/科目名	ドイツ語/ドイツ語II	実施時期	
学習年次	2年次	9月中旬～11月	
クラスの状況	15人(第3学年)	資格レベル	
単位数	3単位	単元の授業時間(90分×3回など)	
		50分×20回程度	
		使用教材	
		自主教材	
3 単元の目標	この単元で目標とするパフォーマンス課題		
慶應義塾大学に所属する留学生在が本校を訪問します。慶應義塾高等学校についての紹介をしましょう。その際、聴衆の興味を引くような内容の紹介文をドイツ語で書き、聴衆が関心をもちつつ理解できるように口頭にて紹介でき、聴衆との質疑応答ができるようになります。			
	本質的な問い	永続的理解	
①ドイツ語で物事を紹介するにはどのような能力が必要であり、実践の際にはどのようなことに注意すべきなのか	①聞き手に受け入れられてもらえるよう物事を述べる際には、適切なドイツ語を書き、話すことが必要だけでなく、聴衆の興味や関心がどこに向かっているかに絶えず気を配り、楽しんでもらうことにも注意すべきである		
②そのような能力を身につけるには、どのように学ぶべきなのか	②紹介する内容を(母語で)考えた上で必要な表現を集める、すでに持っているドイツ語の知識を活用する、自分のドイツ語だけでなく聴衆のドイツ語にふれて意図を補足し、必要に応じてドイツ語話者に対して物事を紹介してみる、パフォーマンスの裏に振り回すを行う、といった学び方が効果的である		
Can-do リスト			
*テキストを読んで理解し、そのテキストから自分がドイツ語で表現する際に必要となる語句や表現を集めることができる			
*説明すべきことが伝わり、内容に対する興味を呼び起こす紹介文を書くことができる			
*(準備において)発表内容を聞いて/読んで理解し、理解しにくいところを指摘したり聞き返したりして、お互いの発表を改善することができる			
*原稿をもとに、口頭で学校を紹介することができる。その際、語句を正しく発音し、文の抑揚を適切につけて発話することができる			
*聴衆からの質問を理解し、適切に答えることができる			
*聴衆からの質問の意図が分からなかったとき、聞き返したりすることにより、理解を確かなものにするることができる			
育むべき資質・能力			
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	文化と社会への気づきのポイント
*学校紹介に必要な語句や表現	*学校紹介の期に向き合うように表現すれば相手に興味をもってもらえる内容となるか	*学校紹介の際に、聴衆が学校について理解し、自分の紹介した内容が聴衆にどのように理解されるのか、また自分の予想していなかった点に感ずる能力	*自分の紹介した内容が聴衆にどのように理解されるのか、また自分の予想していなかった点に感ずる能力
*質問、回答の表現、聞き返しの表現	*聴衆に理解しやすい紹介をするために、語句や表現、文法を適切に使用し、述べる順序を思考・度	*聴衆に理解しやすい紹介をするために、語句や表現、文法を適切に使用し、述べる順序を思考・度	*聴衆に理解しやすい紹介をするために、語句や表現、文法を適切に使用し、述べる順序を思考・度
(この単元で参照する既習事項)	判断する能力	*紹介すべき内容を、聴衆への気配りをもちつつ、適切なドイツ語で分かりやすく表現する能力	*質疑応答において、質問の意図を把握し、適切に答えられる能力
動詞の人称変化 助動詞 分詞動詞 再帰動詞 命令形 受動形 完了形 名詞の性・数・格 冠詞(格) 形容詞 zu不定詞 副文 基礎語彙(500～600語) 基本的な表現			
4 単元の評価方法	総合的評価(思考力判断力表現力・学びに向かう力に対応する)パフォーマンス評価(学校・施設紹介、質疑応答)(行動・記述的分析)自己評価表への記述(記述の点検)		
	筆記形式の小テスト・発表テスト(知識技能)		
	語句や表現をまとめた内容、紹介文の内容(記述の点検)発表・質疑応答の内容(行動的理解)		

取り組み内容	P課題	ドイツ語⇒ドイツ語II(3単位) ・履修2年目生徒対象に年4回設定。 ・うち3回目「慶應義塾高等学校を紹介し質疑応答する」を研究対象とする。
	公開授業	・グループ活動により紹介文を作成し、相互検討を行う。 ・紹介文をもとに口頭発表の練習をし、相互評価を行う。 ⇒積極的な参加により、効率よく目標を達成していた。
成果発表	・ドイツ人留学生対象に、実際に学校案内を行う。	

単元の指導計画	ねらい(授業をとおして、生徒がどう実践しているのか)	本来的問い	学習内容	学習活動	表現のつづの領域の目標			評価標準	評価方法	
					聞く	話す(話し手・聞き手)	書く			
1 (約15分間)			どこで誰が何を紹介するか決定する							
2 (約15分間)			留學生と事前文書を作る		○	○	○			
3 (約15分間)			学校紹介文のモデルになるテキストの内容を確認し、後でその語句や表現を集める。またそのテキストにないが必要な語句や表現を補う			○				
4 (約45分間)	これまでに学んだ語句や表現、テキストを構成する表現方法(代名詞、接続詞)を適切に使用して紹介文を書くことができる	学校紹介が成功するよう、紹介文という形で発表内容を適切に書いてまとめるには、どのようなことに注意すべきなのか	集めた語句や表現、テキストを構成する表現方法(接続詞、代名詞)を用いてまとまりのある紹介文を作る	グループでそれぞれの学校紹介文を書く 既知の知識を確認したり、教科書の該当箇所を見ることで、代名詞と接続詞を復習する				○	「これまでに学んだ語句や表現を適切に使用しているか」 「語句や表現が理解できているか」 「テキスト構成の整った、まとまりのある紹介文が書けているか」	記述の点検(紹介文の内容) 行動の観察(生徒の反応)
5 (約2時間)	学校紹介文をもとに、聴衆に話し掛かって聞きやすい発音で、聴衆に楽しんでもらえるよう、適切に口頭で紹介できる	学校紹介が成功するよう、聴衆に聞かせる学校紹介を口頭で行うには、どのようなことに注意すべきなのか	グループでお互いの学校紹介文を読みあい、よりよい文章になるよう提案をしよう 学校紹介文を完成させる	グループでお互いの学校紹介文を読みあい、よりよい文章になるよう提案をしよう 学校紹介文を完成させる		○		○	「お互いの作文を尊重しつつ適切な訂正案を提示できているか」 「提案を受け入れ、適切な文章が書けているか」	行動の観察(生徒の反応) 記述の分析(紹介文の内容)
6 (約10分間)			質疑応答に必要な語句や表現を学び、質疑応答の内容を予想して復習する				○			
7 (約15分間)			聴衆を案内しつつそれぞれの場所での質疑応答を行う。その後質疑応答を行う			○	○			
8 (15分間)			目的の場から退場して一人で行く。質疑応答を行う				○	○		

公開研究授業の報告

・ 紹介文の作成

- ・3人グループで協力して作成する
- ・自分が知っている表現を活用する（教科書から語句や表現を集めるなど）
→「自分のドイツ語」で表現する

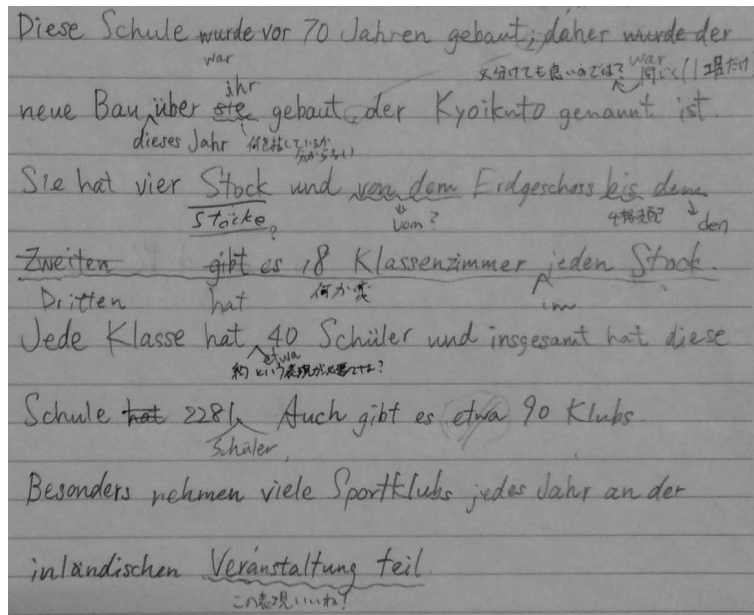
・教員のサポート: モデル文を提示する、辞書を用意する、テキストを構成する表現方法(代名詞、接続詞)を紹介する、など

公開研究授業の報告

・ 紹介文の相互検討

- ・他のグループの紹介文を読み、修正点を書き込む。
- ・書き込まれた内容が分からなかった場合は、書き込んだグループに質問する。

・教員のサポート: 修正する際のヒントを提示する、コーパスの使用を勧める



公開研究授業の報告

・ 口頭発表の練習

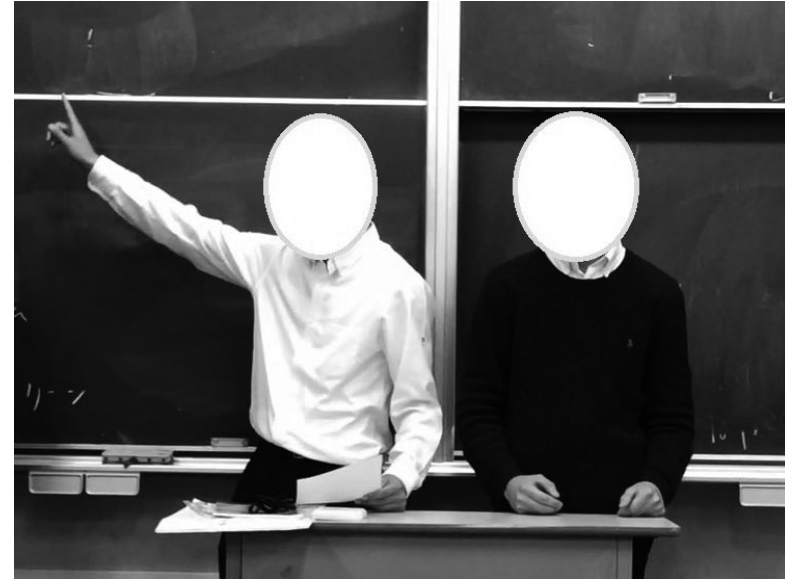
- ・ウォーミングアップ:教科書の発音のページにある語句を一通り全員で発音する。
- ・3人グループで教室の前に出て発表する。

←発音について公開授業見学者からの評価は良好であった

・教員のサポート: (三度目の発表の前に)紹介文を音読する

公開研究授業の報告

- 口頭発表の相互評価
 - ・他のグループの口頭発表を聞き、コメントする。
 - ・コメントをうけ、合計3回発表練習を行う。
 - 身振り、視線、表情など発表態度に変化が見られた
- ・教員のサポート: (二度目の発表の前に) 初回発表の際の録画を見せよう



評価	定性的	<ul style="list-style-type: none"> ・自由記述の自己評価において、コミュニケーション方略や学習方略について、具体的な気づきが見られた。 ⇒学びに向かう力を育むことができた判断される。
	定量的	<ul style="list-style-type: none"> ・CEFRの共通参照レベルをもとにした自己評価において、「読む」「書く」「聞く」能力について、課題実施前より後の方が平均的に低く評価された。 ⇒実際に5技能を使用してみることで、より正確に自己評価する能力が身に付いたと判断される。

今後の課題

- ・長い期間をかけた割には、生徒は5技能が上達したとは判断しなかった。特に発表時にドイツ語で即時に受け答えすることに困難を感じていた。
- ⇒『話す(やり取り)』能力向上の手立てを検討する必要がある。

フランス語

平成29～30年度「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」 ～カリタス女子中学高等学校～

研究主題

・昨年度作成・実践した、逆向き設計論にもとづきパフォーマンス課題を目標にした単元指導案をもとに、パフォーマンス課題の年間（複数年次）配置デザインを描きつつ、より効果的で汎用的な指導案と評価計画の作成に取り組み、研究授業により成果を検証する。

取組の内容

- ・フランス語履修2年目（中学2年）の生徒19名（ハーフクラス）に対し、この単元終了時にできるようになるパフォーマンス課題として「東京2020オリンピックで来日したフランコフォニー（フランス語圏）の選手や外国人観光客にフランス語で道案内をしよう」を設定。実施期間は9月から12月。なお、この課題は年間で3回行うパフォーマンス課題のうちの2番目に位置付けられている。（4月から6月：スポーツや部活が話題の会話を作ろう！1月から3月：イベント企画というテーマで「落ち」を入れて笑いの要素を含んだ会話を作ろう！）
- ・平成28年度は、定型会話を覚えて発表、平成29年度は、道に迷っているフランス人のイケメンを資料から選び、道案内のオリジナル会話を作って発表、そして今年度は、前期に学習した「スポーツについて」、夏休みの課題「フランス語圏を発見しよう」、そして現在学習している「道案内」と学習のつながりを意識し、そこに2年後の「東京2020オリンピック」を想定した課題とした。東京2020オリンピック・パラリンピックに出場するであろうフランス語圏の選手たちを載せた資料を配布した。ワークシート、生徒の様子、その他資料については別途掲載する。
- ・本課題では、読む、書く、聞く、話す（表現）、話す（やり取り）の5技能をとともに発達させるべく、指導案を作成した。
- ・フランス各地からの留学生5名による自分の住んでいる町や学校紹介を聞き、交流する機会を作った。自分の住んでいる国を客観的に見ることで、良さや改善点をクラスメイトと共に見つける姿勢を養う機会とした。
- ・成績評価については、グループ発表で一人ひとり进行评估した。

成果①

- ・教員から見て、生徒がフランス語を実践的に使うことを楽しいと感じている場面が多々見られた。筆記が苦手な生徒ほどこの傾向は顕著である（「自分たちで会話を作ることで実践的なフランス語を使えて楽しい」「グループに迷惑かけたくないと必死に覚えた。楽しかった。」）。
- ・また、「一緒に一つのものを完成させるのは大変だけど終わったら達成感がある」というように協働することの喜びを得る生徒も多数いた。
- ・「74%の生徒がフランス文化やフランス語圏への興味が前より高まった」としており、日本において担当言語を教える意義をより意識してカリキュラムを考えていく必要性を感じている。

成果②

- ・定型会話よりも会話を作成したほうがフランス語力があがる（62%）。
- ・プレゼン発表は効果的な学習法である（56%）。
→課題提示から課題発表までの時間が少なかったことが考えられる。
- ・74%の生徒がペア、3-4人グループの授業スタイルを好む。
- ・73%の生徒がペア、3-4人グループの授業が最も効果的と考えている。
- ・83%の生徒がペア、3-4人グループの授業が楽しく勉強できると考えている。

今後の課題・方向性

- ・授業時間内にもう少し準備の時間をとる。
- ・負担感のない会話作成の方法。
- ・会話作成時にいかに均等にタスクを与えるか（ジグソー？）。
- ・グループ編成の工夫。
- ・わかりやすい課題提示と使いやすいワークシート作成。
- ・発表原稿を回収して、使える表現集をまとめ、共有する（先輩から後輩へ、表現集を受け継いでいく）。
- ・発表を見合っただけの感想を言い合う時間の確保。
- ・3-4名の学習グループを作り、1人、ペア、3-4名のグループの活動を授業時間内にバランス良く組み入れながら、より充実感を得られるパフォーマンス評価を組み込んだカリキュラムにしていきたい。

単元指導案
 ■単元案の概要
 1 単元名

作成者：櫻木千尋(カリタス女子中学高等学校)

東京2020オリンピックで来日したフランコフォニー(フランス語圏)の選手や外国人観光客にフランス語で道案内をしよう

2 実施するクラスの状況等

言語/科目名	フランス語	実施時期	9月～12月
学習年次	2年次	言語レベル	A1
クラスの状況	19人	単元の授業時数(50分×3回など)	45分×15回
単位数	2単位	使用教材	Adosphère 1(Hachette) Module 5、解説プリント、表現をふやそうプリント、宿題プリント、ワークシート

3 単元の目標

この単元で目標とするパフォーマンス課題

「東京2020オリンピックがせまってきましたね。2年後には世界中の超一流アスリートやたくさんの外国人観光客がやってくることでしょ。彼らは、慣れない国で、道に迷ったり、全く違う異文化に困ったりすることもあるでしょう。そんな彼らが日本で素晴らしい滞在ができるように、フランス語による会話を作成してください。」

本質的な問い

- ①外国人旅行者が日本で素晴らしい滞在ができるような道案内の会話を作るにはどうしたらいいか？
- ②わかりやすい道案内をしたり、お勧めスポットを教えたりするにはどのように表現すればいいか？

永続的理解

- ①相手の立場に立った案内をするには、外国人旅行者の文化的背景に配慮してどんなことに困るのかを考えて、学習した文化的事項(文化の多様性、現代フランスの抱える移民問題、フランス語圏の広がりなど)を確認し、それ以外に必要な語彙や表現を新たに取り入れたうえで、おもてなしの気持ちをも前面に出してプレゼンするとうい。
- ②道案内をするには、道案内に必要な動詞、語彙、形容詞と前置詞や交通手段の表現を適切に組み合わせるとよい。また、自分の感想を述べる形容詞句を適切に使うと、さらに効果的である。

Can-do リスト

【学校生活】1-a. 学校の名前や所在地を言ったり書いたりできる。【交通と旅行】1-a. 自分の行きたい場所を、口頭または書いて伝えることができる。1-b. 観光名所やお勧めのお土産を尋ねることができる。1-c. 通学などで普段利用する交通機関を言ったり、尋ねたりできる。2-a. 地図を見せながら目的地までの道順を尋ねることができる。2-b. 目的地までの主要時間や費用について、尋ねたり、教えたりできる。3-a. 目的地までのアクセス方法(交通手段、所要時間、費用など)を尋ねたり、説明したりできる。【人とのつきあい】1-a. 人との付き合いでよく使う基本的な挨拶表現を言ったり、聞いて理解したりできる。1-d. 電話をかけるときによく使う表現を用いて、電話で簡単なやりとりができる。【地域社会と世界】1-a. 自分の住んでいる町や都市と国の名称を言ったり書いたりできる。1-e. 自分の住んでいる町や都市の有名な場所や食べ物などを言うことができる。【ことば】1-f. 相手の話すことがわかったかわからないかを口頭で伝えることができる。1-g. 相手の話すことがわからないときに、聞き返したり、ゆっくり言ってもらうように頼んだりできる。

育むべき資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性	文化と社会への気づきのポイント
①音声、語彙・表現、文法の知識 ・道案内に必要な語句や表現(「どこ?」、「～にいる」、「渡る」、「曲がる」、「そのまま歩く」、「まっすぐ」、「右に」、「左に」など) ・場所説明に必要な表現(「住む」habiter 活用+à、町にある施設に関する語彙や形容詞) ・人称代名詞強勢形(chez ～) 不定冠詞と定冠詞の使い分けの理解 ・前置詞(dans, près de, loin de, sur)とその縮約 交通手段の表現(à / en + 交通手段) ・いつquand、どこoùの表現 ・電話の表現 ・コミュニケーションを円滑にする表現(繰り返す、言い換える) ・情報を伝える表現(説明する、理由を述べる) ②学習事項・参考資料から発表課題に必要な語句や表現を集めるための読む能力 ③語句を正しく発音し、文の抑揚を適切につけて発話する能力 ④発表を聞く能力 (この単元で参照する既習事項) ・ar 動詞の活用 ・数字 ・il y a(～がある)の表現	①道案内やお勧め観光スポットを紹介する際にどのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 ②聴衆に理解しやすい発表をするために、語句や表現、文法を適切に選び使用し会話の順序を思考・判断する能力 ③発表をより聴衆にわかりやすく表現する能力	①一人ひとりが「自分のことば」としてのフランス語で発表を行うことで、気後れせずに発表する態度 ②クラスメイトとの協働作業を通じて、互いに学び合おうとする態度 ③東京2020オリンピックに訪れる多くの海外の人をもてなすホストであることを意識する態度 ④フランコフォニーの広がりを通じて世界の多様性を理解しようとする態度 ⑤自分の住んでいる国を客観的に見ること、良さや改善点をクラスメイトと共に見つける姿勢	①自分の町・国についての新たな発見があるか。 ②他の発表者の発表を聴いて、新たな発見や収穫はあるのか。 ③パリの歴史的建造物や地区を知ることで、フランスやヨーロッパ、アフリカへの歴史的な興味を引き出すとともに、現代フランスが抱える移民問題への意識づけをさせる。 ④多様な文化背景を持つ外国人観光客が日本に来たときにどのようなことに困るのかを考え、日本を客観的に観ることで新たな発見があるか。

4 単元の評価方法

筆記形式の小テスト・発表テスト(知識技能)	総合的評価(思考力判断力表現力・学びに向かう力に対応する)
○行動の観察(生徒の反応、練習の様子、発表準備の様子)○行動の確認(発表の内容、発問に対する答えの内容) 行動の分析(発表の内容)○記述の点検 ○記述の確認(宿題提出)○記述の分析(宿題添削)	○行動の分析(発表の内容) ○記述の分析(小テスト、後期第一中間試験、後期第二中間試験)

時期	4～6月	9～12月	1～3月	
課題	スポーツや部活が話題の会話を作ろう！	東京2020オリンピックで来日したフランコフォニー(フランス語圏)の選手や外国人観光客にフランス語で道案内をしよう！	イベント企画というテーマで「落ち」を入れて笑いの要素を含んだ会話を作ろう！	
内容	スポーツがテーマの友人同士の会話を作り、演じる。	東京2020オリンピックで来日した道に迷っているフランコフォニーの選手たちや観光客に道案内をしてあげたり、困っていることを教えてあげたり、おすすめの場所をアドバイスしたりする会話を作り、演じる。	イベントを企画し、提案を受け入れたり断ったりする会話を作り、演じる。笑いの要素を入れる。	
育成すべき資質・能力の三つの柱	個別の知識や技能 (何を理解しているか、何ができるか)	<ul style="list-style-type: none"> ①音声、語彙・表現、文法の知識 ・スポーツに関する表現 ・なぜスポーツをするのかを尋ねたり説明したりするのに必要な表現 ・好きなスポーツ選手を紹介する表現 ・faire(する)の活用 ・所有形容詞・縮約 ・コミュニケーションを円滑にする表現(繰り返す、言い換える) ・情報を伝える表現(説明する、理由を述べる) ②学習事項・参考資料から発表課題に必要な語句や表現を集めるための読む能力 ③語句を正しく発音し、文の抑揚を適切につけて発話する能力 ④発表を聞く能力 	<ul style="list-style-type: none"> ①音声、語彙・表現、文法の知識 ・道案内に必要な語句や表現(「どこ?」、「～にいる」、「渡る」、「曲がる」、「そのまま歩く」、「まっすぐ」、「右に」、「左に」など) ・場所説明に必要な表現(「住む」habiter 活用+à、町にある施設に関する語彙や形容詞) ・人称代名詞強勢形(chez～) ・不定冠詞と定冠詞の使い分けの理解 ・前置詞(dans, près de, loin de, sur)とその縮約 ・交通手段の表現(à / en + 交通手段) いつquand、どこoùの表現 ・電話の表現 ・コミュニケーションを円滑にする表現(繰り返す、言い換える) ・情報を伝える表現(説明する、理由を述べる) ②学習事項・参考資料から発表課題に必要な語句や表現を集めるための読む能力 ③語句を正しく発音し、文の抑揚を適切につけて発話する能力 ④発表を聞く能力 	<ul style="list-style-type: none"> ①音声、語彙・表現、文法の知識 ・時間表現 ・企画するのに必要な表現 ・企画を受け入れたり断ったりする表現 ・一日の流れを説明する表現 ・代名動詞の活用 命令表現 ・コミュニケーションを円滑にする表現(繰り返す、言い換える) ・情報を伝える表現(説明する、理由を述べる) ②学習事項・参考資料から発表課題に必要な語句や表現を集めるための読む能力 ③語句を正しく発音し、文の抑揚を適切につけて発話する能力 ④発表を聞く能力
	思考力・判断力・表現力等 (知っていること、できることをどう使うか)	<ul style="list-style-type: none"> ①道案内やおすすめ観光スポットを紹介する際にどのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 ②聴衆に理解しやすい発表をするために、語句や表現、文法を適切に選び使用し会話の順序を思考・判断する能力 ③発表をより聴衆にわかりやすく表現する能力 	<ul style="list-style-type: none"> ①道案内やおすすめ観光スポットを紹介する際にどのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 ②聴衆に理解しやすい発表をするために、語句や表現、文法を適切に選び使用し会話の順序を思考・判断する能力 ③発表をより聴衆にわかりやすく表現する能力 	<ul style="list-style-type: none"> ①イベントを企画したり、提案を受け入れたり断ったりする際にどのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 ②聴衆に理解しやすい発表をするために、語句や表現、文法を適切に選び使用し会話の順序を思考・判断する能力 ③発表をより聴衆にわかりやすく表現する能力 ④落ちを考え、笑いの要素をどのようにしたら盛り込めるかウイットに富んだ会話となる表現や構成を思考し判断する能力
	学びに向かう力・人間性 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	<ul style="list-style-type: none"> ①一人ひとりが「自分のことば」としてのフランス語で発表を行うことで、気後れせずに発表する態度 ②クラスメイトとの協働作業を通じて、互いに学び合おうとする態度 ③ハンディキャップを持つ主人公のスポーツの関わり方を知ること、パラリンピックをより意識する態度 ④フランスのサッカー選手の文化的背景が多様であることを知り、フランス現代社会が抱える移民問題を理解しようとする態度 ⑤フランスの国民的スポーツツール・ド・フランスからフランスの地方都市の魅力・多様性に気づく態度 	<ul style="list-style-type: none"> ①一人ひとりが「自分のことば」としてのフランス語で発表を行うことで、気後れせずに発表する態度 ②クラスメイトとの協働作業を通じて、互いに学び合おうとする態度 ③東京2020オリンピックに訪れる多くの外国人観光客をもてなすホストであることを意識する態度 ④フランコフォニーの広がりを通じて世界の多様性を理解しようとする態度 ⑤自分の住んでいる国を客観的に見ることで、良さや改善点をクラスメイトと共に見つける姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ①一人ひとりが「自分のことば」としてのフランス語で発表を行うことで、気後れせずに発表する態度 ②クラスメイトとの協働作業を通じて、互いに学び合おうとする態度 ③フランス各地のお祭りを知ることフランスの地方都市の魅力・多様性に気づく態度 ④落ちを作る、笑いを作るという視点で会話を作ること、パフォーマンスとは何かを考え、聴衆をより意識する態度

中学2年 後期第2中間試験 パフォーマンス課題 評価基準 改訂版 (demander et indiquer un chemin)

	audienceに与える影響	多様な単語とフレーズの選択	正しい発音やイントネーションで話す。	姿勢、アイコンタクト、表情、ジェスチャーの使用	文化の多様性への理解と自国への客観的な視点
4	道案内やおすすめスポットを明確に伝えることができるようなプレゼンのスタイルである。	状況に応じて、効果的に、多様な言葉の選び方、フレーズの選び方をしている。	非常に正確な発音やイントネーションで話し、メッセージが明確に伝わる。	状況に合わせて、効果的に使っている。	多様な文化背景を持つ外国人旅行者の立場に明確に立ち、自国を非常に客観的に観ることができている。
3	道案内やおすすめスポットをほぼ伝えることができるようなプレゼンのスタイルである。	状況に応じて、多様な言葉の選び方、フレーズの選び方をしており、その選択の範囲は比較的広い。	かなりの程度正確な発音やイントネーションで話し、メッセージは伝わる。	状況に合わせて、十分に使っている。	多様な文化背景を持つ外国人旅行者の立場に十分に立ち、自国をかなりの程度客観的に観ることができている。
2	道案内やおすすめスポットをある程度は伝えることができるようなプレゼンのスタイルである。	状況に応じて、多様な言葉やフレーズの選択の範囲はまずまずである。	ある程度正確な発音やイントネーションで話すことが、メッセージが伝わりづらい。	状況に合わせて、ある程度使っている。	多様な文化背景を持つ外国人旅行者の立場にある程度立ち、自国をある程度客観的に観ることができている。
1	道案内やおすすめスポットがほんの少ししか伝わらないプレゼンのスタイルである。	状況に応じて、多様な言葉やフレーズの選択の範囲は限定的である。	少しだけ正確な発音やイントネーションで話すことができるが、メッセージが伝わりづらい。	状況に合わせて、少し使っている。もしくは、状況に合った使い方をしていない。	多様な文化背景を持つ外国人旅行者の立場に立つ意識は感じられるが、自国を少しだけしか客観的に観ることができていない。

Classe

Nom

note

参考ダイアログ①

Xavier – Allô, Imane ? C'est Xavier... Je suis perdu, c'est où, chez toi ?

Imane – Tu es où ? À la station de métro ?

Xavier – Non, je suis sur le pont de Tolbiac.

Imane – Tu traverses le pont et tu continues tout droit.

Xavier – Tout droit après le pont, d'accord.

Imane – Après tu tournes à gauche, rue des Frigos.

Xavier – À gauche, rue des Frigos.

Imane – Et après tu tournes à droite, rue Goscinny !

Xavier – La rue Goscinny ? Mais, c'est chez Lucille !

Imane – Oui, on habite la même rue ! Chez elle, c'est au numéro 22. Chez moi, c'est au numéro 8. À pied, c'est à 10 minutes du pont de Tolbiac.

Xavier – Je ne suis pas à pied, je suis à vélo !

Imane – À vélo ? Tu fais du vélo et tu téléphones ?

Xavier – Non, je ne roule pas, je suis sur le trottoir.

Imane – Je préfère.

新学習指導要領を踏まえた 指導案と パフォーマンス評価を取り入れた 授業づくり

—平成30年度 文部科学省

グローバル化に対応した外国語教育推進事業報告—
神奈川県川崎市 カリタス女子中学高等学校フランス語科
櫻木 千尋

平成30年度 文部科学省

グローバル化に対応した外国語教育推進事業報告会 le 13 janvier

内容

- ・ 本校のフランス語教育の概要
- ・ 今年取り組んだこと 3年間の比較とともに
- ・ 研究授業の紹介
- ・ 生徒の様子
- ・ アンケート結果
- ・ 見えてきた課題



カリタス女子中学高等学校

- 川崎市多摩区 カトリックの女子校
- カナダのフランス語圏ケベックのケベックカリタス修道女会によって1961年に創立
- 幼少中高
- 中高一貫
- 創立当初から英語とフランス語の2つの外国語教育



外国語教育の状況 幼少

- 幼稚園 外国語や異文化への興味付け
- 小学校
 - 1・2年生 週一回20分
カリタス独自の Verbo-Tonale Gladich メソッド
フランス語のリズムとイントネーション
 - 3年生 週一回40分
Hachette 社の「Les Loustics Vol.1&2」
4年間で CEFR に準拠した Delf Prim A1で要求される
聞く、読む、書く、話す力を身に付ける





外国語教育の状況 中学・高校

中学 全員フランス語必修

週45分×2 (1時間はネイティブ教員) フランス語科のキャラクター

内部進学者と外部進学者が半分ずつ

メルシーちゃん

- 中1 既習クラス (内部進学者) と初習クラス (外部進学者)
- 中2、中3 既習・初習合同 ハーフクラス (20名)

高校 第一外国語 (大学受験使用言語) 選択
フランス語による大学受験に対応

- 英語かフランス語のいずれかを選択 (文系に限る)
- 高校2年次に第二外国語として英語、フランス語いずれかを選択できる

2つの言葉をゲットしよう! 「読む、聞く、話す、書く」ことが マスターするポイント。
英語とフランス語の力を手 に入れて世界へ羽ばたこう!

英語 Hello!!
フランス語 Merci

<6年間で身につく力>
1年 2年 3年 4年 5年 6年

<生徒ロコ引>

カリタス人気ランキング!
リアー参加者522名に聞いた。
今、もっともホットなカリタスとは?

カリタスには毎日100以上の生徒が通っていて、さまざまな授業やクラブ活動が行われています。カリタスとリベリオンフランス語科がもっとも人気な授業やクラブ活動として、どのカリタスがもっとも人気な授業やクラブ活動かを調査しました。

人気の授業、ランキング

No. ① フランス語

毎週授業が行われ、授業内容が充実している。フランス語科の授業が人気です。

No. ② 英語

英語科の授業が人気です。英語科の授業が人気です。

No. ③ 音楽

音楽科の授業が人気です。音楽科の授業が人気です。

No. ④ マリア祭・クリスマス委員会

マリア祭・クリスマス委員会の活動が人気です。

No. ⑤ マリア祭・クリスマス委員会

マリア祭・クリスマス委員会の活動が人気です。

No. ⑥ マリア祭・クリスマス委員会

マリア祭・クリスマス委員会の活動が人気です。

No. ⑦ マリア祭・クリスマス委員会

マリア祭・クリスマス委員会の活動が人気です。

No. ⑧ マリア祭・クリスマス委員会

マリア祭・クリスマス委員会の活動が人気です。

人気のクラブ、ランキング

No. ① オーケストラ部

オーケストラ部の活動が人気です。

No. ② ダンス部

ダンス部の活動が人気です。

No. ③ コーラス部

コーラス部の活動が人気です。

No. ④ 外国語の勉強、留学

外国語の勉強や留学の活動が人気です。

No. ⑤ 教師・教育関係の仕事

教師や教育関係の仕事の活動が人気です。

No. ⑥ 公務員・会社員

公務員や会社員の活動が人気です。

No. ⑦ 公務員・会社員

公務員や会社員の活動が人気です。

No. ⑧ 公務員・会社員

公務員や会社員の活動が人気です。

6年間のカリタスツアーに参加したい!と思ったら...

STEP1 カリタスへ見学に行ってみよう!
5月～9月の期間に学生体験ツアーを実施。イベントも準備してあります。

STEP2 カリタスを体験してみよう!
理科実験室やフットボールコート、カリタス体験できるイベントが盛りだくさん! イベントも準備してあります。

STEP3 申し込んでみよう!
カリタスへ申し込み、申し込みを済ませ、申し込み方法をお知らせします。

STEP4 テストを受けてみよう!
テストに備えて自分から準備してください!

STEP5 結果発表
テストの結果を発表し、結果をお知らせします!

旅の費用はこちら

旅の費用はこちら

入学金
旅費
雑費
入居料
退去料
保証料
入居料
退去料
保証料

取り組み内容

パフォーマンス課題

- ・履修2年目の生徒対象に年3回設定
- ・うち2回目「五輪で来日したフランス語圏選手や観光客に道案内をしよう」を研究対象

公開授業

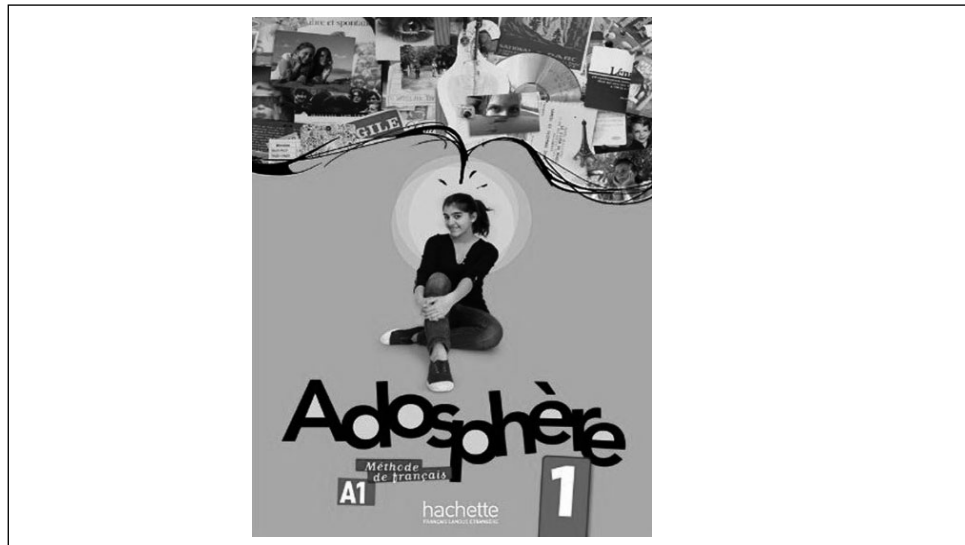
- ・グループ活動により、多文化共生の視点を盛り込みながら原稿の作成と相互検討を行う
- ⇒積極的な参加により、効率よく目標を達成していた。

成果発表

- ・クラス内でスキット発表を行った。

単元指導案		作成者: 塚本千尋(リリアス女子中学高等学校)	
単元名			
東京2020オリンピックが注目されたフランス(フランス語)の選手や外国人観光客にフランス語で道案内しよう			
学習の目標	フランス語	実施時期	10月～12月
学習年次	2年次	学習レベル	A1
クラスの規模	19人	単元の総時数(50分×9回授業)	45分×15回
単位数	2単位	使用教科	Français (Français) Niveau 1, 教科プリント、教科書から採った教材、教科プリント、ワークシート
3. 単元の目標			
この単元で目指す学習パフォーマンス目標			
「東京2020オリンピックが注目されましたね。2年後には世界中の超一流アスリートやたくさんの外国人観光客がやってくるでしょう。彼らは、慣れない国で、道に迷ったり、全く違う異文化に困ったりすることもあるでしょう。そんな彼らが日本で素晴らしい滞在ができるように、フランス語による会話を作成してください。」			
本質的な問い		学習的課題	
外国人観光客が日本で素晴らしい滞在ができるような道案内の会話を創作するにはどうしたらいいか？ どのようにして道案内をしたり、お勧めスポットを教えたりするにはどのように表現すればいいか？		学習の目標は3つの領域(言語・文化・社会)にわたって、外国人観光客の文化や生活習慣(観光)にどう関与するかを考えた上で、学習した文化的事項(文化の多様性、現代フランスの社会と経済事情、フランス語圏の広がりなど)を踏まえ、それ以外に必要な語彙や表現形式に習熟したうえで、おこなう必要がある。道案内をするには、道案内に必要な動詞、前置詞、形容詞、副詞、交通手段の表現を適切に組み合わせていく必要がある。また、自分の感情を伝える形容詞句を適切に使うこと、さらに効果的である。	
Oserのリスト			
【学校生活】→ 学校の名前や所在地を書き添えたりできる。【交通と旅行】→ 4. 自分の行き先(場所)を、口頭または書いて伝えることができる。1-4. 簡単な単語や構文を用いて、自分の行き先(場所)を、口頭または書いて伝えることができる。2-4. 目的地を見ながら目的地までの道案内をすることができる。3-4. 目的地までの主要な場所や建物について、書いたり、教えたりできる。3-4. 目的地までの主要な場所や建物について、口頭または書いて伝えることができる。1-4. 電話で話しかけることができる。【道案内】→ 1. 人の行き先(場所)を、口頭または書いて伝えることができる。2-4. 目的地を見ながら目的地までの道案内をすることができる。3-4. 目的地までの主要な場所や建物について、書いたり、教えたりできる。3-4. 目的地までの主要な場所や建物について、口頭または書いて伝えることができる。1-4. 電話で話しかけることができる。【観光】→ 1. 人の行き先(場所)を、口頭または書いて伝えることができる。2-4. 目的地を見ながら目的地までの道案内をすることができる。3-4. 目的地までの主要な場所や建物について、書いたり、教えたりできる。3-4. 目的地までの主要な場所や建物について、口頭または書いて伝えることができる。1-4. 電話で話しかけることができる。			
知識・技能	読解力・聴解力・視覚力	学びに向かう力・人間性	文化と社会への気づきのポイント
1. 道案内の文脈や状況(「道案内」)について、(「道案内」)の目的や意図(「道案内」)を把握することができる。2. 道案内の文脈や状況(「道案内」)を把握することができる。3. 道案内の文脈や状況(「道案内」)を把握することができる。4. 道案内の文脈や状況(「道案内」)を把握することができる。	1. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 2. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 3. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 4. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力	1. 一人ひとりが「自分のことば」としてのフランス語(発音)を用いて、気後れせずに発表することができる。2. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 3. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 4. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力	1. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 2. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 3. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 4. 道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力
この単元で目指す学習事項	この単元で目指す学習事項		
単元の評価方法	単元の評価方法		
単元の評価方法	単元の評価方法		

4. 単元の目標		この単元終了時にできるおこなうパフォーマンス目標	
「東京2020オリンピックが注目されましたね。2年後には世界中の超一流アスリートやたくさんの外国人観光客がやってくるでしょう。彼らは、慣れない国で、道に迷ったり、全く違う異文化に困ったりすることもあるでしょう。そんな彼らが日本で素晴らしい滞在ができるように、フランス語による会話を作成してください。」			
本質的な問い		学習的課題	
外国人が日本で素晴らしい滞在ができるような道案内の会話を創作するにはどうしたらいいか？ どのようにして道案内をしたり、お勧めスポットを教えたりするにはどのように表現すればいいのだろうか？		外国人の立場に立った道案内をするには、外国人観光客がどんなことに困るのかを考えて、今まで習ったことを踏まえ、それ以外に必要な語彙や表現を新たに取り入れたうえで、おもてなしの気持ちを前面に出してプレゼンする。道案内をするには、道案内に必要な動詞、語彙、形容詞と前置詞や交通手段の表現を適切に組み合わせていく必要がある。また、自分の感情を伝える形容詞句を適切に使うこと、さらに効果的である。	
思考力・判断力・表現力		学びに向かう力・人間性	
①道案内やお勧め観光スポットを紹介する際、どのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力 ②聴衆に理解しやすい発表をするために、語句や表現、文法を適切に選び使用し会話の順序を思考・判断する能力 ③発表をより聴衆にわかりやすく表現する能力		①一人ひとりが「自分のことば」としてのフランス語で発表を行うことで、気後れせずに発表する態度 ②クラスメイトとの協働作業を通じて、互いに学び合おうとする態度 ③東京2020オリンピックに訪れる多くの海外の人をもてなすホストであることを意識する態度 ④フランス語の広がりを通じて世界の多様性を理解しようとする態度 ⑤自分の住んでいる国を客観的に見ることで、良さや改善点をクラスメイトと共に見つける姿勢	

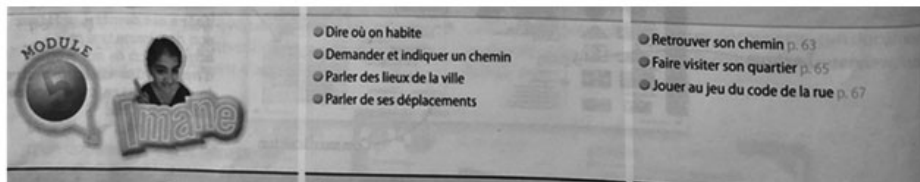


CEFR準拠のテキスト Cando リスト

des contenus	APPRENDRE à...	POUR... (TÂCHES)	GRAMMAIRE	LEXIQUE	PRONONCIATION	ÉCRITURE	ORALE	INTERCULTUREL
Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...
Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...
Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...
Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...	Comprendre et utiliser des expressions familières et courantes...

何を学ぶか

どのように学ぶか



- 住んでいる場所をいうことができる
- 道順を訪ねたり教えたりできる
- 町の場所について話せる
- 移動手段について話せる

- 道を見つけられる
- すんでいる町の紹介
- 交通ルールをすごくでまなぶ

文法

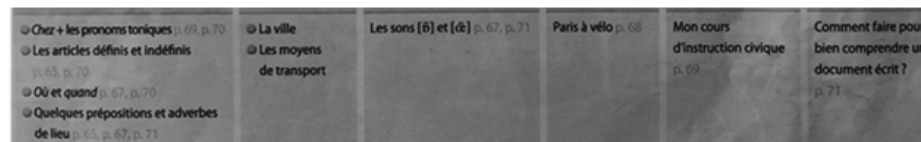
語彙

発音

文化

生活規範

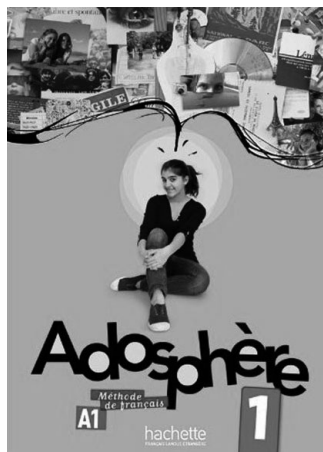
学び方を学ぶ



- Chez + 強勢形
- 定冠詞と不定冠詞
- どこ？いつ？
- 場所を示す前置詞と場所の副詞
- 町
- 交通手段
- パリをサイクリング
- 公民教育・テキストをより理解するにはどうすればいいか

東京2020オリンピックで来日したフランス語圏の選手や外国人観光客にフランス語で道案内をしよう！

- 実施時期 9月～12月
- 言語レベル A1
- 単元の授業時数 45分×15回
- 使用教科書 Adosphère 1(Hachette)
- 使用単元 Module 5 全8 module
- 補助教材 文法解説プリント
宿題プリント



2020年の新学習指導要領実施を見据えて、2015年からCEFR準拠のテキストに変更

解説プリント

日本語での補足説明で理解度をあげる

目標：
1. 自分の住んでいるところについて語れるようになる。
2. 場所や位置を表す単語を覚える。
3. 道順を説明できるようになる。
4. パリの建造物がわかる。

- 目標：
1. 自分の住んでいるところについて語れるようになる。
 2. 場所や位置を表す単語を覚える。
 3. 道順を説明できるようになる。
 4. パリの建造物がわかる。

Exercice 1 (p. 65) → 69

2. 覚えよう！ 単語と意味を覚えるようにしよう！

où	どこ	quand	いつ
à droite	右に	sur	～の上
à gauche	左に	dans	～の中
tout droit	まっすぐ	vers	～の方
à droite de	～の右側	à gauche de	～の左側
près de	～から近く	à l'écart	～から遠く
loin de	～から遠く		
d'après	～の後ろ	en arrière	後ろ
à côté	～の横	en face	正面
à l'arrière	～の後ろ	en avant	正面

2. 覚えよう！ 単語と意味を覚えるようにしよう！

habiter	住んでいる	un musée	美術館
montrer	示す(見せる)	un parc	公園
tourner	曲がる	un bâtiment	建物
à l'arrêt	停車	un bâtiment	建物
expliquer	説明する	un bâtiment	建物

à gauche de 左側から、 à l'arrière 後ろから、 à l'avant 正面から、

11時間目 12時間目	より詳しい町紹介ができるよう 語彙・知識を身につけることが できる。	より詳しい町紹介に必要な文 法事項を学ぶ。オリジナルダイ アログの原稿の完成度を高め る。	①必要な文法事項(前置詞/いつ、どこ)・語彙・表現 を構やす	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	語彙・表現を理解できているか	記述の確認(宿題プリント① ②)
			②必要な語彙・表現を調べ、原稿を書く(グループ)	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	適切な表現・語彙を使っているか	行動の観察(準備の様子)
			③不定冠詞と定冠詞の使い分けを学びながらフランス の歴史的建造物について学習する	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	語彙・表現を理解できているか	行動の観察(生徒の反応)
13時間目	より詳しい町紹介ができるよう語 彙知識・知識を身につけることが できる。わかりやすい発表が できるように工夫できる。	オリジナルダイアログの発表 練習をし、完成度を高める	①必要な文法事項(前置詞/いつ、どこ)・語彙・表現 の確認	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	内容が理解できているか	記述の確認
			①オリジナルダイアログの練習をする(グループ)	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	スムーズに発話しようとしているか	行動の観察(練習の様子)
14時間目	発表の相互評価をすることで単 元学習内容を確認するとともに、 次につなげることができる。	オリジナルダイアログの発表 する。発表の相互評価をする。	①オリジナルダイアログの発表をする(グループ)	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	見る人に伝えようとしているか	行動の観察(発表の様子)
			②発表を見て、自己評価・他者評価をする(個人)	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	スムーズに発話できたか 見る人に伝えられたか	発表(行動)の分析
			③他のペアが使った表現・語彙を共有する(個人)	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	語彙・表現を理解できているか	行動の確認(生徒の反応)
15時間目	単元学習内容を確認するととも に、言語学習を通してより深い 文化や社会への気づき、理解が できる。そして次の単元へ繋げ ることができる	道案内、町紹介に必要な 要素、表現、文法事項の確認を 行うとともにその言葉が話され ている国の文化や抱える問題 などに目を向けさせる。	①パリを自転車で回るいくつかのコースを見ながら、 歴史的建造物や地区を知ることで、フランスやヨー ロッパ、アジアへの歴史的な興味を促すとともに、 現代フランスが抱える移民問題への意識づけをさせ る	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	内容が理解できているか	行動の確認(生徒の反応)
			②パリのレンタルサイクルシステムが日本にも導入され つつある現状を知ることで、清潔緩和と大気汚染対策 などを考える契機とする	○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	内容が理解できているか	行動の確認(生徒の反応)
後期第二中間試験											

従来のパフォーマンス課題=モデルダイアロー グをそのまま覚えて発表

DIALOGUE

XAVIER - Ah, Imane ? C'est Xavier... Je suis perdu, c'est où, chez toi ?
 IMANE - Tu es où ? À la station de métro ?
 XAVIER - Non, je suis sur le pont de Tolbiac.
 IMANE - Tu traverses le pont et tu continues tout droit.
 XAVIER - Tout droit après le pont, d'accord.
 IMANE - Après tu tournes à gauche, rue des Frigos.
 XAVIER - À gauche, rue des Frigos.
 IMANE - Et après tu tournes à droite, rue Goscinny !
 XAVIER - La rue Goscinny ? Mais, c'est chez Lucille !
 IMANE - Oui, on habite la même rue ! Chez elle, c'est au numéro 22. Chez moi, c'est au numéro 8.
 À pied, c'est à 10 minutes du pont de Tolbiac.
 XAVIER - Je ne suis pas à pied, je suis à vélo !
 IMANE - À vélo ? Tu fais du vélo et tu téléphones ?
 XAVIER - Non, je ne roule pas, je suis sur le trottoir.
 IMANE - Je préfère !

パフォーマンス課題の変更=学習した内 容を使って自分の言葉で語る

去年

学習した内容をつなぎ合わせ、自分たち で考え、会話を作り上げていく。その学 びの過程をたどることで、学びのプロセ スを生徒自身が行えるようにする。 =本当の言語運用能力を身に付けさせ る。

東京 2020 オリンピックで来日したフランコフォニーの選手や観光客に道案内をしよう！

Module 5 (道案内) × フランコフォニー × 東京 2020 オリンピック

みなさんは、前期に「スポーツについて語る表現」を学習しました。夏休みには「世界に広がるフランス語圏」について調べ学習をしました。そして後期は、住んでいる場所を伝える表現、道を尋ねたり教えたりする表現、町に何があるかを説明する表現や移動手段の表現などを学んでいます。みなさんご存知のように、2年後には東京 2020 オリンピックが迫っています。日本政府は観光産業の度上げを成長戦略の柱の一つに位置付け、2020 年には日本を訪れる外国人旅行者を年間 4000 万人に増やす目標を掲げています。東京 2020 オリンピック・パラリンピックには、世界中の超一流アスリートがこ日本、東京へと集結しますし、非常にたくさんの人たちがやってくるでしょう。「日本にやって来てよかった！」と思ってもらうために一番大事なことは、もしかしたら競技場で、道ばたで、空港で、バーで、彼らが触れ合う私たち一人ひとりの存在なのかもしれません。せっかくこ日本で世紀の祭典が開催されるのですから、私たちも外国人の方々とのコミュニケーションを思いっきり楽しみましょう。

今回は、東京 2020 で注目のフランコフォニー選手の一部ですが紹介します。こんな選手たちや、外国人旅行者たちが道に迷ってしまっています。みなさんは、学習しているフランス語で助けてあげないわけにはいきません。道に迷ってしまっている人を設定し、(紹介した選手の中から選んでも、フランコフォニーの外国人旅行者でも、選手と旅行者の複数でも構いません)道案内をするシチュエーションを考え、会話を作ってください。その際、異文化である日本で彼らはどんなことに困るだろうかというを考え、それについて尋ねたり、教えたりする内容も含めてください。そして最後に、日本に住んでいるみなさんしか知らないあなたの街のとっておきのスポットについても教えてあげましょう。

学習した内容を使って自分の言葉で語る



どんなフランス語圏の人が道に迷っているか



異文化である日本でどんなことに困るか

今年

今年

東京 2020 オリンピックで来日したフランコフォニーの選手や観光客に道案内をしよう！

① Christophe Lemaitre クリストフ・ルメール選手
フランス陸上界の雄星、100m・200m・400mの3つの短距離種目で世界記録保持者



彼は 1986 年 9 月 20 日生まれでフランスのランフランコフォニー選手です。2008 年、北京オリンピックの 100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2011 年、東京で開催された世界選手権でも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2012 年、ロンドンオリンピックでも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2016 年、リオデジャネイロオリンピックでも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2017 年、ベルギーで開催された世界選手権でも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2019 年、フランスで開催された世界選手権でも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2020 年、東京で開催される東京 2020 オリンピックでも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得する予定です。

② Teddy Liner テディ・リン選手
陸上競技で短距離種目を走るフランス人選手



彼は 2006 年 12 月 28 日生まれでフランスのランフランコフォニー選手です。2008 年、北京オリンピックの 100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2011 年、東京で開催された世界選手権でも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2012 年、ロンドンオリンピックでも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2016 年、リオデジャネイロオリンピックでも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2017 年、ベルギーで開催された世界選手権でも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2019 年、フランスで開催された世界選手権でも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得しました。2020 年、東京で開催される東京 2020 オリンピックでも、100m、200m、400m の 3 つの短距離種目で金メダルを獲得する予定です。

選手
「ドニールームの天使」が「勇気」な一戦、観客を魅了する選手です



彼は 1991 年 11 月 11 日生まれでフランスのテニス選手です。2017 年、フランスで開催されたフランスオープンで、男子シングルスで優勝しました。2018 年、フランスで開催されたフランスオープンで、男子シングルスで優勝しました。2019 年、フランスで開催されたフランスオープンで、男子シングルスで優勝しました。2020 年、東京で開催される東京 2020 オリンピックでも、男子シングルスで優勝する予定です。

選手
美しいスマイルで観客の心を魅了する選手



彼は 1991 年 11 月 11 日生まれでフランスのテニス選手です。2017 年、フランスで開催されたフランスオープンで、男子シングルスで優勝しました。2018 年、フランスで開催されたフランスオープンで、男子シングルスで優勝しました。2019 年、フランスで開催されたフランスオープンで、男子シングルスで優勝しました。2020 年、東京で開催される東京 2020 オリンピックでも、男子シングルスで優勝する予定です。

選手
フランス人選手の活躍の場を拡大する選手



彼は 1991 年 11 月 11 日生まれでフランスのテニス選手です。2017 年、フランスで開催されたフランスオープンで、男子シングルスで優勝しました。2018 年、フランスで開催されたフランスオープンで、男子シングルスで優勝しました。2019 年、フランスで開催されたフランスオープンで、男子シングルスで優勝しました。2020 年、東京で開催される東京 2020 オリンピックでも、男子シングルスで優勝する予定です。

・学習した内容をつなぎ合わせ、自分たちで考え、会話を作り上げていく。その学びの過程をたどることで、学びのプロセスを生徒自身が行えるようにする。
= 本当の言語運用能力を身に付けさせる。

今年

文化の多様性への理解と自国を客観的な視点

中学2年 後期第2中間試験 パフォーマンス課題 評価基準 改訂版 (demander et indiquer un chemin)

	audienceに与える影響	多様な単語とフレーズの選択	正しい発音やイントネーションで話す。	表情、アイコンタクト、感情、ジェスチャーの使用	文化の多様性への理解と自国への客観的な視点
4	道案内やおすめスポットを明確に伝えることができるようなプレゼンのスタイルである。	状況に応じて、効果的に、多様な言葉の選び方、フレーズの選び方をしている。	非常に正確な発音やイントネーションで話し、メッセージが明確に伝わる。	状況に合わせて、効果的に使っている。	多様な文化背景を持つ外国人旅行者の立場に思い立ち、自国を生涯に客観的に観ることができている。
3	道案内やおすめスポットをほぼ伝えることができるようなプレゼンのスタイルである。	状況に応じて、多様な言葉の選び方、フレーズの選び方をしており、その選択の範囲は比較的に広い。	かなりの程度正確な発音やイントネーションで話し、メッセージは伝わる。	状況に合わせて、十分に使っている。	多様な文化背景を持つ外国人旅行者の立場に十分に立ち、自国をかなりの程度客観的に観ることができる。
2	道案内やおすめスポットをある程度は伝えることができるようなプレゼンのスタイルである。	状況に応じて、多様な言葉やフレーズの選択の範囲はまずまずである。	ある程度正確な発音やイントネーションで話す。メッセージが伝わりづらい。	状況に合わせて、ある程度使っている。	多様な文化背景を持つ外国人旅行者の立場に多少程度立ち、自国をある程度客観的に観ることができる。
1	道案内やおすめスポットがほとんど伝わらないプレゼンのスタイルである。	状況に応じて、多様な言葉やフレーズの選択の範囲は限定的である。	少しだけ正確な発音やイントネーションで話すことができるが、メッセージが伝わりづらい。	状況に合わせて、少し使っている。もしくは状況に合った使い方をしていない。	多様な文化背景を持つ外国人旅行者の立場に立つ意識は感じられるが、自国を少ししか客観的に観ることができない。

中2フランス語 MODULE 5 C'est où, chez toi? パフォーマンス課題 評価基準 提出 /

東京 2020 オンラインブックで採点したフランコフォニーの選手や観客を歓迎するようしよう!

Module 5 (道案内) × オンラインパフォーマンス × 東京 2020 オンラインブック

Les membres du groupe (グループメンバーの番号と名前)

Pourquoi? (なぜその人物を選んだか)

採点する項目

- 1. 目的の Dialogue
- 2. 1分30秒以内で発表する
- 3. 1分30秒以内で発表する
- 4. 1分30秒以内で発表する

採点に必ず盛り込む内容とポイント

- 1. 目的の Dialogue
- 2. 1分30秒以内で発表する
- 3. 1分30秒以内で発表する
- 4. 1分30秒以内で発表する

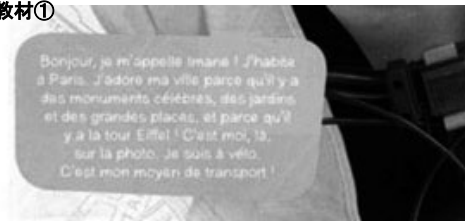
参考にする資料

- ・ p.62 の Dialogue
- ・ p.63 の Pour indiquer un chemin 「道を教える」表現
- ・ p.64 の Imane の自分の街を紹介する表現
- ・ 「表現を増やそう」(1)～(3)プリント

会話に必ず盛り込む内容とポイント

- Je suis perdu(e)...迷っている人が複数の場合には Nous sommes perdu(e)s...「迷っちゃったんだ」を使う。
- Traverser 「わたる」, continuer 「そのまま歩く」, tourner 「曲がる」, aller 「行く」を使う。
- Tout droit 「まっすぐ」, à droite 「右に」, à gauche 「左に」, après 「の後で」, loin de 「遠い」, près de 「近い」を使う。
- Où 「どこ」を使う。
- 表現をふやそうプリントの表現を使う。
- Vous venez d'où? どこから来たんですか? を使う。
- Qu'est-ce qu'il y a d'intéressant à voir au Japon? 日本で面白いところはどこですか? を使う。
- グループのメンバーの中で日本に住んでいる私たちしか知らないお勧めスポットを伝える。
- フランコフォニーの国は様々な国があります。どの国の方か・宗教は何を信じているか・食べ物や文化的背景などによって日本に来たときに困ることがあるはず。それを考えて、迷っている人がそれについて尋ねたり、私たちが教えたりする内容を入れましょう。

オリジナルダイアログを作るための補助教材①



DIAGRAMME

Xavier : - Ah, Imane ? C'est Xavier... Je suis perdu, c'est où, chez toi ?
Imane : - Tu es où ? À la station de métro ?
Xavier : - Non, je suis sur le pont de Tolbiac.
Imane : - Tu traverses le pont et tu continues tout droit.
Xavier : - Tout droit après le pont, c'est tout.
Imane : - Après tu tournes à gauche, sur des Français.
Xavier : - À gauche, sur des Français.
Imane : - Et après tu tournes à droite, sur Quentary !
Xavier : - La rue Quentary ? Mais, c'est chez Lucile !
Imane : - Oui, on habite la même rue ! C'est sûr, c'est au numéro 22. Chez moi, c'est au numéro 8.
Xavier : - Je ne suis pas à pied, je suis à vélo !
Imane : - À vélo ? Tu fais du vélo et tu n'habites pas ?
Xavier : - Non, je ne m'occupe pas, je suis sur le trottoir.
Imane : - Je préfère !

オリジナルダイアログを作るための補助教材②

MODULE 6 Imane

2 表現を増やそう (1) 1 2

指導プリント②の表現の説明、P.63 COMMUNICATION③で道案内をするときなど、P.63 COMMUNICATION④や下の表現を参考にしましょう。



1) tout droit まっすぐ
 ・Tu continues tout droit.
 ・Tu *vas tout droit. *vas + aller(行く)動詞の活用



2) à droite 右に(へ)
 ・Tu tournes à droite.
 ・Tu prends la première (rue) à droite.
 ・Tu prends la deuxième (rue) à droite.
 ・Tu prends la troisième (rue) à droite.

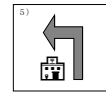


3) à gauche 左に(へ)
 ・Tu tournes à gauche.
 ・Tu prends la première (rue) à gauche.
 ・Tu prends la deuxième (rue) à gauche.
 ・Tu prends la troisième (rue) à gauche.

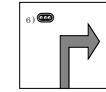


Traverser 横切る、渡る
 ・Tu traverses la rue.
 ・Tu traverses le pont.
 ・Tu traverses la place.
 ・Tu traverses le passage piéton.

物にも、こんな表現もあります。



5) après ～を過ぎて
 ・Tu tournes à gauche après la poste.



6) avant ～の手前、で
 ・Tu tournes à droite avant le feu.

また、順番を言う場合は次の表現を使います。

d'abord まず
puis そして、次に
ensuite そして、次に
enfin 最後に

— Je suis perdu. Je suis sur le pont de Tolbiac. C'est loin, chez toi ?

僕、迷っちゃったよ。トルビアク橋の上にいるんだけど、遠いの、君の家は？

— Non. D'abord tu continues tout droit, puis tu prends la troisième rue à gauche, et ensuite tournes à droite, rue Goscinny et enfin c'est au numéro 8. À pied, c'est à 10 minutes du pont de Tolbiac.

いいえ。まず、まっすぐ進んで、そして、3つ目の通りを左に曲がって、それから、ゴッシーニ通りを右に曲がって、そうしたら、8番地よ。歩きだと、トルビアク橋から10分かな。

オリジナルダイアログを作るための補助教材③

MODULE 6 Imane

2 表現を増やそう (2) 1 2

指導プリント③ P.61とP.64を参考に自分の街、地区について書いてみましょう。
 以下の単語も自由に使って作りましょう。

Dans mon quartier ~ 私の地区では Dans ma ville ~ 私の街では
 J'habite à ~ ~に住んでいます
 Il y a ~ ~があります beaucoup de ~ ~たくさんあります
 J'aime ~ ~が好きです J'adore ~ ~が大好きです

街の中にある単語を増やしましょう！ (P.113の絵の中の単語は書けるようにしましょう！)

la ville	街	la place	広場	le jardin	庭園
le monument	建造物	le théâtre	劇場	le parc	公園
le stade	競技場	la bibliothèque	図書館	la rue	通り
le cinéma	映画館	l'aéroport	空港	la gare	駅(駅名)
le musée	美術館・博物館	la poste	郵便局	le métro	地下鉄
le pont	橋	l'école	学校	la station de métro	駅(地下鉄)
le port	港	l'école primaire	小学校	le bus	バス
la rivière	川	le collège	中学校	l'arrêt de bus	バス停
La mer	海	le lycée	高校	la voiture	車
la police	警察	l'université	大学	le vélo	自転車
l'hôpital	病院	le café	カフェ	la station-service	ガソリンスタンド
l'hôtel	ホテル	le restaurant	レストラン	le carrefour	交差点、十字路
le bureau	オフィス	la pharmacie	薬局	le trottoir	歩道
le magasin	お店	la boucherie	お肉屋	la route	道路
le grand magasin	デパート	la boulangerie	パン屋	la piste	競技場(冬季運動)

場所を表す前置詞も増やしましょう！

près de ~	～から近くに	loin de ~	～から遠くに
en face de ~	～の正面に	dans ~	～の中に
sur ~	～の上に	sous ~	～の下に
devant ~	～の前に	derrière ~	～の後ろに
au coin de ~	～の角に	au bout de ~	～の突き当りに
entre A et B	AとBの間に	à côté de ~	～の横に
jusqu'à ~	～まで		

好きな理由を言うときは、

★ J'aime ma ville parce qu'il y a A Bがあるから私の街が好き。

A の中に単語を入れてあげばいいですね。
 例えば、la Tokyo Skytree スカイツリーがあるから
 des jardins 庭園があるから
 la mer 海があるから
 la nature 自然があるから
 de la verdure 緑があるから

★ J'adore mon quartier parce que c'est + A Bだから私の住んでいるところが大好き。

形容詞的単語 は次の単語を入れてみましょう。

pratique 便利だから
 animé にぎやかだから
 tranquille 静かだから
 beau きれいだから
 propre 清潔だから

中2フランス語 MODULE 5 C'est où, chez toi? パフォーマンス課題 下書き用 提出 /

東京 2020 オリンピックで来日したフランコフォニーの選手や観光客に道案内をしよう！

Module 5 (道案内) × フランコフォニー × 東京 2020 オリンピック

Les membres du groupe (グループメンバーの番号と名前)

Pourquoi? (なぜその人物を選んだか)

参考にする資料

- ・ p.62の Dialogue
- ・ p.63の Pour indiquer un chemin 「道を教える」表現
- ・ p.64の Imane の自分の街を紹介する表現
- ・ 「表現を増やそう」 (1) ~ (3) プリント

会話に必ず盛り込む内容とポイント

- Je suis perdu(e)...迷っている人が複数の場合には Nous sommes perdu(e)s... 「迷っちゃったんだ」を使う。
- Traverser 「わたる」、continuer 「そのまま歩く」、tourner 「曲がる」、aller 「行く」を使う。
- Tout droit 「まっすぐ」、à droite 「右に」、à gauche 「左に」、après 「の後ろで」、loin de 「遠い」、près de 「近い」を使う。
- Où 「どこ」を使う。
- 表現をふやそうプリントの表現を使う。
- Vous venez d'où? どこから来たんですか? を使う。
- Qu'est-ce qu'il y a d'intéressant à voir au Japon? 日本で面白いところはどこですか? を使う。
- グループのメンバーの中で日本で住んでいる私たちが知らないお勧めスポットを伝える。
- フランコフォニーの国は様々な国があります。どこの国の方が・宗教は何を信じているか・食べ物や文化的背景などによって日本に来たときに困ることがあるはず。それを考えて、迷っている人がそれについて尋ねたり、私たちが教えたりする内容を入れましょう。

研究授業内容 文化の多様性への理解を促す目的

Step 1 既習事項の確認

Step 2 自分たちのグループで以下を確認

- ①会話の内容
- ②文法の重要事項
- ③文化的要素

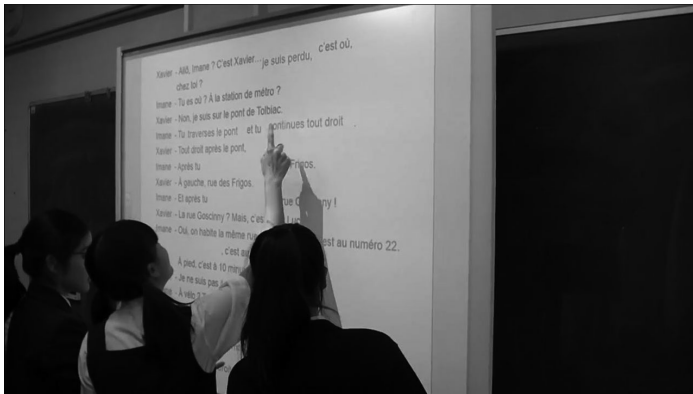
Step 3 前期・夏休みの学習事項を思い出させる

Step 4 文化の多様性への理解を促す資料を提示

Step 5 グループを変えて自分たちの発表内容をシェア

Step 6 自分たちのグループで他のグループからももらったアイデアをシェア

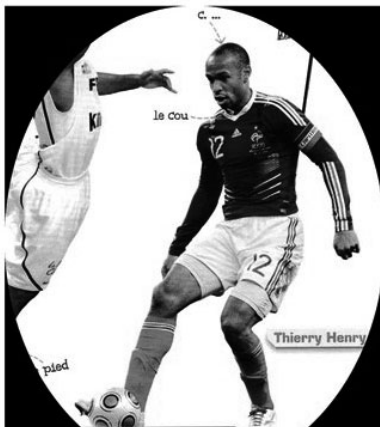
Step 1 既習事項の確認



Step 2 自分たちのグループで以下を確認

- ①会話の内容
- ②文法の重要事項
- ③文化的要素

Step 3 前期・夏休みの学習事項を思い出させる 前期の学習内容 スポーツ フランスの多様性



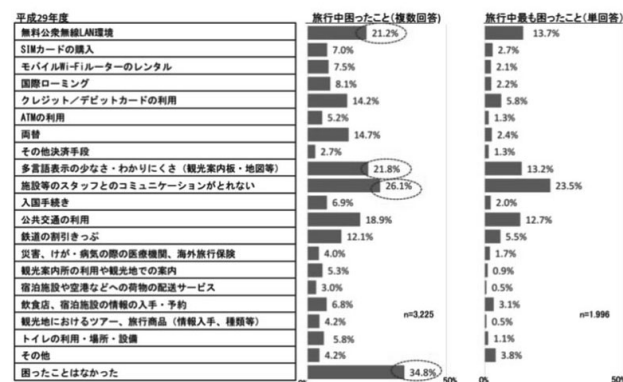
夏休みの課題 **Vivre dans le monde, vivre la francophonie** の作品を取り上げる



フランコフォニーの広がり、フランス語圏の多様性に気づかせる

Step4 資料を提示

受け入れ環境に対する満足度調査



「日本に来て感動したことは？」

電車が数分遅れただけで謝罪するアナウンスが丁寧(男性)

電車で寝ている人が多い。治安がいい証拠！(インド/男性)

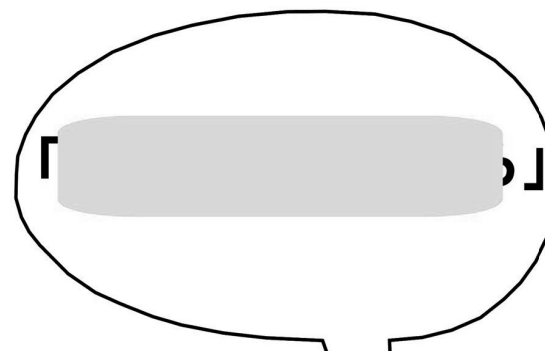
スクランブル交差点でぶつからずに歩く(ドイツ/男性)

コンビニのクオリティがすごい！(オランダ/女性)

おしぼりに癒される(アメリカ/男性)

暖房便座が気持ちよすぎる(メキシコ/女性)

「日本に来て一番感動したことは？」



世界の最も評判のよい国 2018

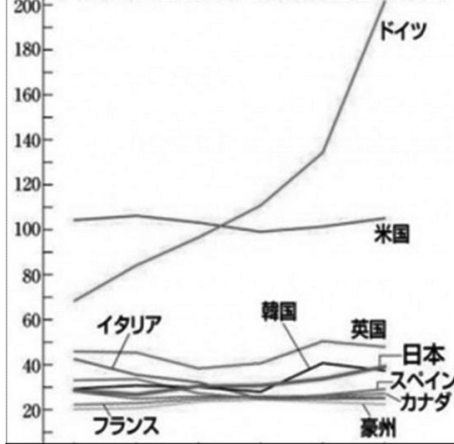
2018 Country RepTrak®: The Top 10

Rank	Country	Score
1	Sweden 🇸🇪	81.7 ⬆️
2	Finland 🇫🇮	81.6 ⬆️
3	Switzerland 🇨🇭	81.3 ⬇️
4	Norway 🇳🇴	81.1 ⬆️
5	New Zealand 🇳🇵	79.7
6	Australia 🇦🇺	79.6 ⬇️
7	Canada 🇨🇦	79.2 ⬇️
8	Japan 🇯🇵	77.7 ⬆️
9	Denmark 🇩🇰	76.7 ⬇️
10	Netherlands 🇳🇱	76.1 ⬇️

移民数・人口・移民比率

		移民数 (万人)	人口 (万人)	移民比率 (%)
1	米国	4,663	32,122	14.5%
2	ドイツ	1,201	8,169	14.7%
3	ロシア	1,164	14,389	8.1%
4	サウジアラビア	1,019	3,102	32.8%
5	イギリス	854	6,511	13.1%
6	アラブ首長国連邦	810	958	84.5%
7	カナダ	784	3,580	21.9%
8	フランス	778	6,430	12.1%
9	オーストラリア	676	2,401	28.2%
10	スペイン	585	4,641	12.6%
11	イタリア	579	6,080	9.5%
12	インド	524	128,292	0.4%
13	ウクライナ	483	4,259	11.4%
14	タイ	391	6,884	5.7%
15	パキスタン	363	18,987	1.9%
16	カザフスタン	355	1,767	20.1%
17	南アフリカ	314	5,475	5.7%
18	ヨルダン	311	682	45.6%
19	トルコ	296	7,874	3.8%
20	クウェート	287	424	67.6%
21	香港	284	731	38.8%
22	イラン	273	7,948	3.4%
23	シンガポール	254	554	45.9%
24	マレーシア	251	3,119	8.1%
25	スイス	244	824	29.6%
26	コートジボワール	218	2,371	9.2%
27	アルゼンチン	209	4,313	4.8%
28	日本	204	12,698	1.6%
29	イスラエル	201	838	24.0%
30	レバノン	200	443	45.1%
31	オランダ	198	1,694	11.7%
32	オマーン	184	378	48.8%
33	カタール	169	244	69.2%
34	スウェーデン	164	985	16.6%
35	オーストリア	149	863	17.3%
36	バングラデシュ	142	15,986	0.9%
37	ベネズエラ	140	3,062	4.6%
38	ベルギー	139	1,124	12.3%
39	韓国	133	5,102	2.6%
40	ギリシャ	124	1,086	11.4%
41	ナイジェリア	120	17,822	0.7%
42	メキシコ	119	12,101	1.0%
43	ウズベキスタン	117	3,130	3.7%
44	ケニア	108	4,420	2.5%
45	ペラルーシ	108	948	11.4%
46	エチオピア	107	8,976	1.2%
47	ニュージーランド	104	465	22.4%
48	中国	98	137,462	0.1%
49	シリア	88	2,200	4.0%
50	ポルトガル	84	1,036	8.1%

経済協力開発機構(OECD)加盟国のうち、1年間に移住した外国人数の上位10カ国



順位	2010年	11年	12年	13年	14年	15年
1	米国	米国	米国	ドイツ	ドイツ	ドイツ
2	ドイツ	ドイツ	ドイツ	米国	米国	米国
3	英国	英国	英国	英国	英国	英国
4	イタリア	イタリア	イタリア	韓国	韓国	日本
5	スペイン	スペイン	日本	日本	韓国	37万2935人
6	韓国	韓国	韓国	イタリア	スペイン	29万1387人
7	日本	日本	スペイン	カナダ	カナダ	27万1808人
8	カナダ	カナダ	カナダ	フランス	フランス	25万2643人
9	フランス	フランス	フランス	スペイン	イタリア	25万465人
10	豪州	豪州	豪州	豪州	豪州	22万3654人

共通理解

フランス語がはなされる地域はたくさんある。

多様な文化背景を持つ人がフランスにはたくさんいる。

Choses à partager シェアすること

- ①自分たちのグループの会話の内容紹介
- ②外国人観光客が日本で困るのはどんなこと？

話す人

初めて会話内容を聞く人にわかり
説明しよう



- ①登場人物は？
(道に迷っている人は？教えてあげる人は？)
- ②場所は？
- ③外国人観光客が困っていることは？
- ④どのように教えてあげる？

聞く人

- ①わかりにくいところがないか意識しながら聞こう
- ②よりよい発表になるようにどんなアドバイスができるか考えながら聞こう

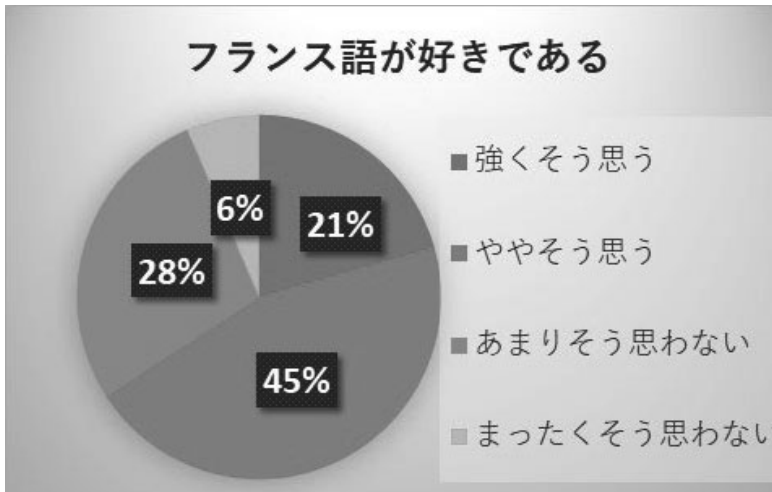
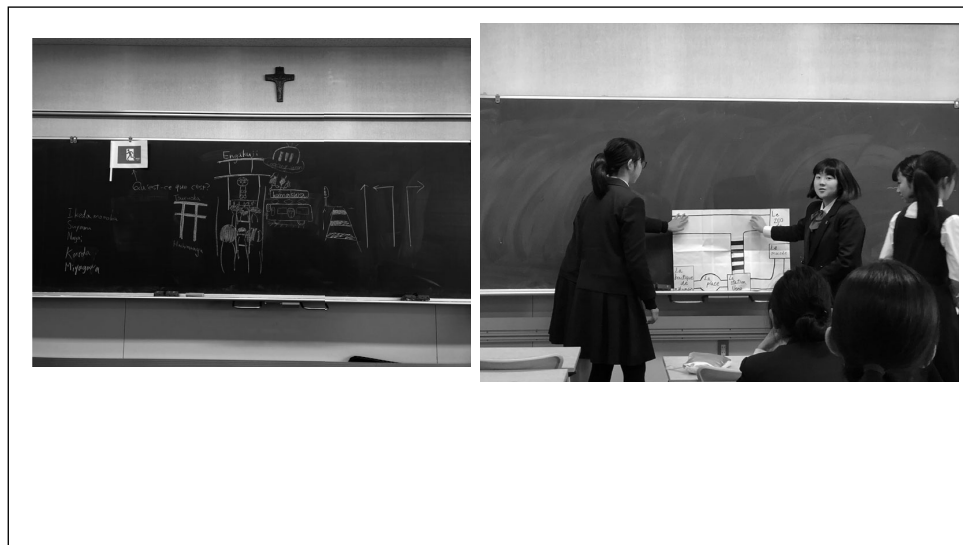
Step 4 グループを変えて自分たちの発表内容をシェア



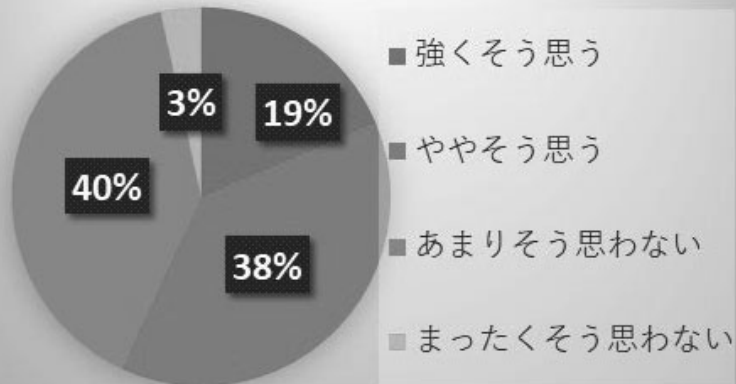
Step 5 自分たちのグループで他のグループからもらったアイデアをシェア

思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
<p>①道案内やおすすめ観光スポットを紹介する際にどのように表現すれば相手にわかりやすく伝わるか思考・判断する能力</p> <p>②聴衆に理解しやすい発表をするために、語句や表現、文法を適切に選び使用し会話の順序を思考・判断する能力</p> <p>③発表をより聴衆にわかりやすく表現する能力</p>	<p>①一人ひとりが「自分のことば」としてのフランス語で発表を行うことで、気後れせずに発表する態度</p> <p>②クラスメイトとの協働作業を通じて、互いに学び合おうとする態度</p> <p>③東京2020オリンピックに訪れる多くの海外の人をもてなすホストであることを意識する態度</p> <p>④フランコフォニーの広がりを通じて世界の多様性を理解しようとする態度</p> <p>⑤自分の住んでいる国を客観的に見ることで、良さや改善点をクラスメイトと共に見つける姿勢</p>

生徒の様子 発表準備



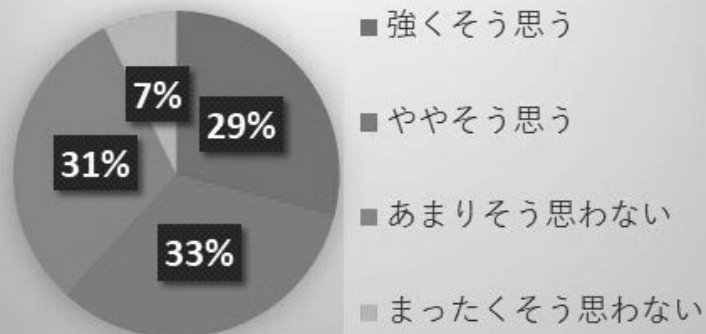
自分なりに一生懸命勉強してきた



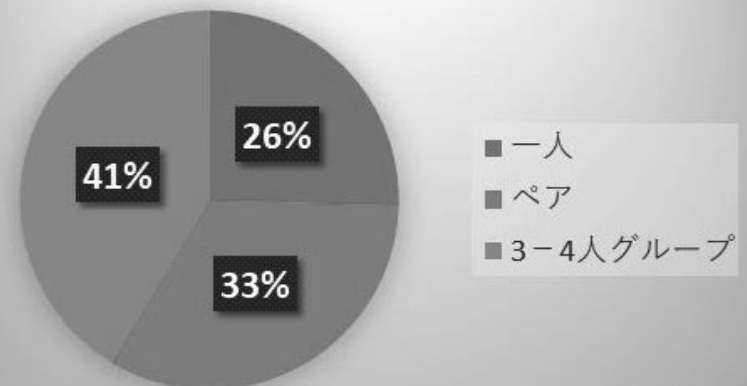
定型会話を覚えるのより自分たち で会話を作るほうが好きである



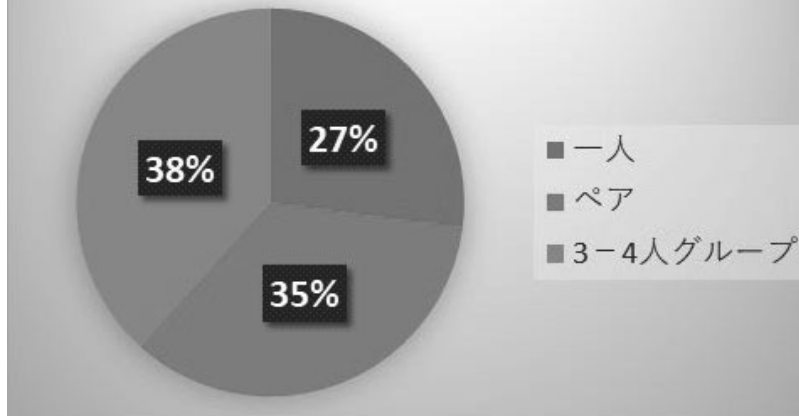
定型会話を覚えるより会話作成のほう がフランス語力があがる



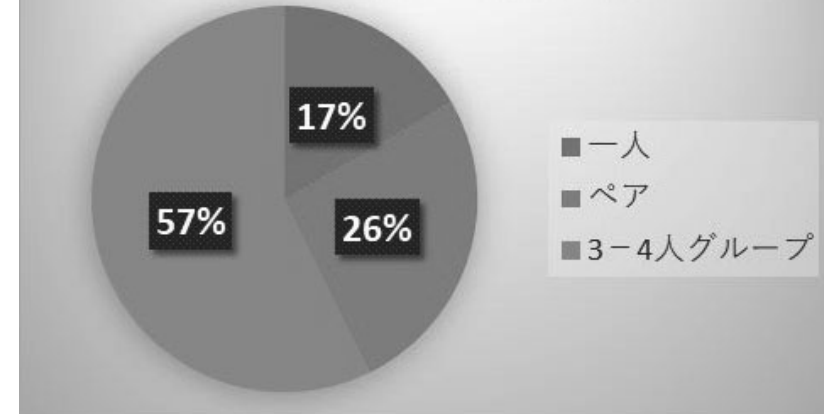
どのスタイルの授業が好きか



どのスタイルの授業が最も効果的か



どのスタイルが楽しく勉強できるか

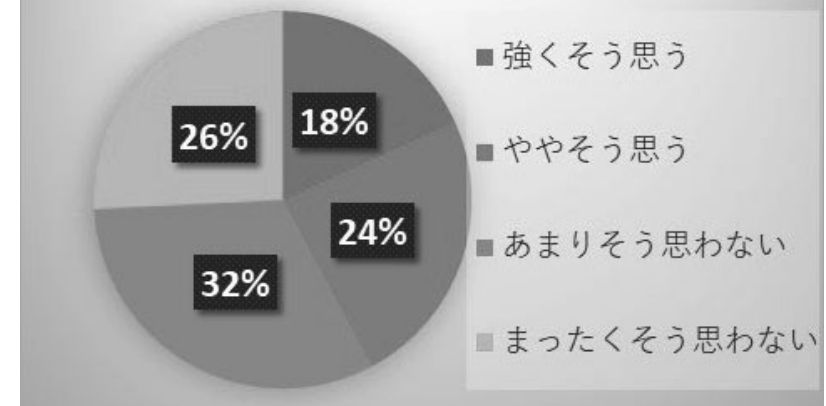


3-4人のグループの自由記述

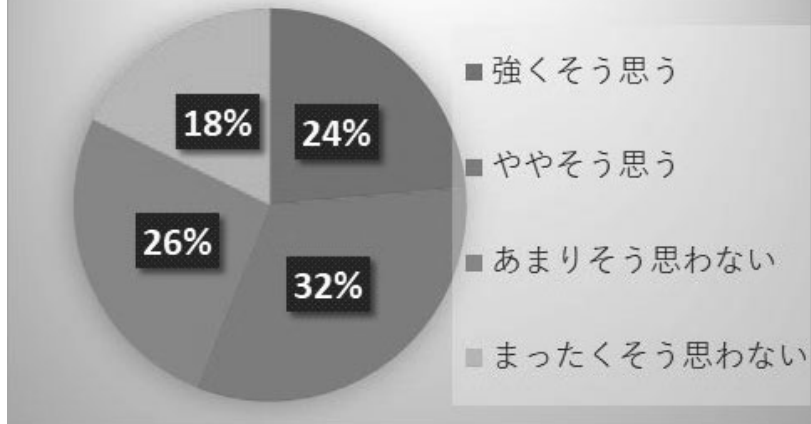
どの答えが正しいか話し合うのが一番ためになった
友達が助けてくれて、フランス語をいつもより早く覚えられ発表の時は緊張するが楽しい（低成績の生徒）
フランス語に少し自信がないので、友達と意見が合うと嬉しい
ペアではなしてから3-4人グループにするなど段階を踏むのもよい
迷惑をかけないように、きちんとやってくる

誰かに任せてしまった
うるさくなりがち

プレゼン発表は好きだ



プレゼン発表は効果的な会話練習法である



プレゼン発表についての自由記述

一緒に一つのを完成させるのは大変だけど終わったら達成感がある

あまり好きではないが文を考えたり、会話の練習になっていたと思う

他のグループの発表を見るのが勉強になる

テーマ決めから自分たちでやってみたい

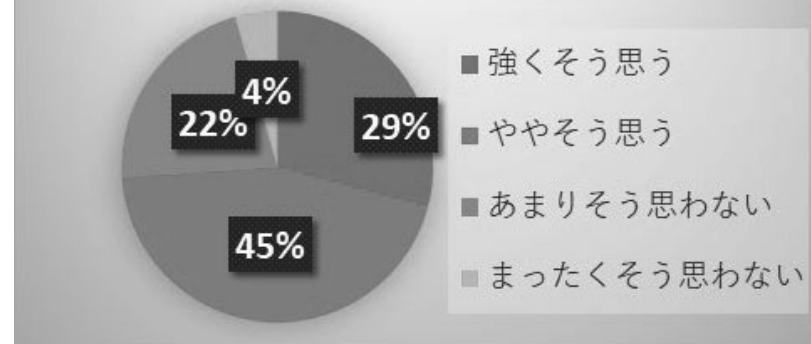
自分たちで会話を作ること実践的なフランス語を使えて楽しい

グループに迷惑かけたくないと必死に覚えた。楽しかった。

みんなで文章を考え仏訳したい、できないからと逃げられる（できる子の意見）

プレゼンメンバーは自分たちで決めたい

フランス文化やフランス語圏への 興味が前より高まった



評価 定性的

- ・多くの生徒がフランス語を実践に使うことを楽しいものと感じ、協働することの喜びを得られた。筆記が苦手な生徒ほどこのような傾向がある。
- ・フランス文化やフランス語圏への興味が高まった生徒が多く、日本で外国語を教える意義をより意識したカリキュラムを考えて行く必要がある。

定量的

- ・定型会話よりも会話を作成したほうがフランス語力があがる（62%）
- ・プレゼン発表は効果的な学習法である（56%）
- ・ペア・グループ活動について「好む」（74%）「最も効果的」（72%）「楽しく勉強できる」（83%）
- ・フランス文化やフランス語圏への興味が前より高まった（74%）

今後の課題

プレゼン発表は効果的な学習法である（56%）が低かった理由

- ・時間が足りなかった。⇒授業時間内にもっと準備の時間をとる
- ・過重な負担、負担の偏りが見られた。

⇒各生徒に均等にタスクを与えるジグソー法、生徒の学力差に配慮してしたグループ編成の工夫。

- ・個人、ペア、グループワークをバランス良く組み合わせる。
- ・発表原稿をもとに使える表現集をまとめ、言語知識の定着を図る。

英語＝グローバル化

日本において、第2外国語であるフランス語を教える意義

自分はフランス語教育を通して生徒たちに何を伝えたいのか

社会的・文化的な気づきや単元終了後の「永続的な知」を生徒たちにどのように与えられるか

1年間で扱う内容を通して、生徒に何を気づかせたいか、何を学ばせたいかを明確にして、授業計画を立てる。

各学年、各担当者間で、パフォーマンス課題、永続的理解をすりあわせ、よりまとまりのあるカリキュラムにしていく必要があるのではないか。

英語の先生方と共通認識を持って、複言語によるグローバル教育を進めていきたい。

平成30年度 文部科学省 グローバル化に対応した外国語推進事業 公開授業 学習指導案

11月21日 水曜日 6校時 7校時

22クラス 奇数 18名 / 23クラス 奇数 18名

フランス語室1

1. 単元名

東京2020オリンピックで来日したフランスコフネー(フランス語圏)の選手や外国人観光客に道案内をしよう

2. 実施するクラスの状況

学習年次:2年次(中学2年生)、人数:19名、単位数:2単位、言語レベル:A1

使用教材: Adosphere 1 (Hachette), Module 5 Immane “Indiquer et demander un chemin” (p.61-p.72)

(約全15時間) 詳細は別紙、単元指導案参照

3. 指導対象集団の特徴

22クラス奇数 真面目でおどかない集団 / 23クラス奇数 明るく元気な集団

パフォーマンス課題発表グループはグループ内に上位層の生徒が一人、入るように分けてある。前期に行ったパフォーマンス課題のグループとは違うグループで構成。(グループメンバー一覧参照 ★印が上位層の生徒)

4. 単元の目標(この単元終了時にできるようになるパフォーマンス活動) 詳細は別紙、単元指導案参照

「東京2020オリンピックがせまってきましたね。2年後には世界中の超一流アスリートやたくさん外国人観光客がやってくるでしょう。彼らは、慣れない国で、道に迷ったり、全く違う異文化に困ったりすることもあるでしょう。そんな彼らが日本で素晴らしい滞在ができるように、フランス語による会話を作成してください。」

5. 単元観

生徒たちは、前期に「スゴーツについて語る表現」を学習し、夏休みに「世界にひろがるフランス語圏」について調べ学習を行った。そして現在、道案内の表現、町の紹介の表現などを学んでいる。間近にせまった東京2020オリンピックで来日するアスリートや外国人観光客が道に迷ってしまったことを想定し、日本での交流が素晴らしいものだったと思えるような道案内の会話を作るために、学習した語句や表現、文法をどのように適切に使えばよいかを思考し判断する力やわかみやすく伝えるための表現力を高める。また、多様な文化背景を持つ外国人旅行者の立場に立ち、異文化である日本においてどんなことに困るかを考えさせることで、自国を客観的に観る視点を養うことをねらいとしている。移民大国であるフランスの適応クラスの映像を見ることで、生徒たちが社会に出る日本ですます進むであろう多様な文化背景を持つ人々と共に生きていくために、どのような視点が必要なのか、その「気づき」のきっかけを与える。

6. 指導観

(1) 言語の5つの領域の目標(聞く、読む、話す(やりとり)、話す(発表)、書く)と異文化間理解能力を組み込んだ授業

だ授業: フランス語を使って何ができるかという視点に立ち、フランス語を聞いて理解できるだけではなく、自身の「ことば」としてのフランス語で発表を行うことで、気後れせずに発表する態度を養う。また積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を育成する。

(2) 生徒中心の授業: 講義形式ではなく、アクティビティを通して、生徒の考えを引き出し、クラスメイトとの協働作業を通じて、互いに学び合う姿勢を養う。

(3) Document authentique (真正性)の高い資料を使用した授業: 教科書以外に統計や映像を見せたり、間近に迫った東京2020オリンピックを想定した活動を行ったりすることで、教室の内外を結び付け、学習している言語が自分たちの生活にどう活かされるかを考えさせる。

7. 評価基準

パフォーマンス課題の評価基準は別紙参照。

A 関心・意欲・態度	B 表現の能力	C 理解の能力	D 知識・理解
ペアワークやアクティビティに積極的に取り組んでい	多角的な視点から自分の意見を書いたり話したりできる。	文章を正しく理解し、その内容について概要や要点を理解することができる。	進出語彙および仏文構造を理解し、適切に運用することができる。

8. 本時の目標

パフォーマンス発表の前段階として、内容を他のグループの仲間に伝えることで、学習した語句や表現、文法を確認する。また、フランクオニーや移民の適応クラスの映像を見て、文化の多様性に関する共通理解をベースに、お互いの発表を紹介し合うことで、より深い理解を促す。

9. 本時の指導計画

	学習内容	生徒の活動	教師の指導・支援	指導上の留意点	技能	評価
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> • あいさつ(簡単なやりとり) • 重要表現の復習 	<ul style="list-style-type: none"> • 今まで学習した文法事項・重要表現を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> • フランス語による挨拶、返答を促す。 • 本時の授業の流れ • 授業の目的の確認 • 重要表現を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業開始の雰囲気づくり • 協働作業を通じて、互いによりよい発表を作っていくことを認識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 聞く • 話す 	A
展開 10分	<ul style="list-style-type: none"> • 会話の中の重要表現の確認 	<ul style="list-style-type: none"> • 発表グループで会話に必ず盛り込む内容とポイントを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 会話に必ず盛り込む内容とポイントを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一人ひとりがアクティビティに参加するよう促す。 • 話し合いが終わったらグループ全員が理解していることを強調する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 話す 	C D
展開	<ul style="list-style-type: none"> • 前期の学習内容、夏休みの課題を思い出し、気づきを共有する。 • フランスの移民問題、多文化共生の取り組みを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> • 前期の学習内容、夏休みの課題を思い出し、個人の気づきを共有する。 • フランスの移民問題、多文化共生の 	<ul style="list-style-type: none"> • 前期の学習内容、夏休みの課題、そして Document authentique の資料を見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 前期からの学習内容のつながりを強調する。 • グループ間で意見交換をする前に、多様な文化背景を持つ人がフランス 	<ul style="list-style-type: none"> • 聞く 	A

		取り組みの資料を見る。		にはたぐさんいて、フランス語がはなされる地域(フランスコフォニー)も世界中にあるということを共通理解とすることを確認する。			
展開 22分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで以下3点のシェアとエキスパート同士の新しいグループのメンバーからアイデアをもらう。 ①会話の内容紹介 ②重要表現の紹介 ③外国人観光客が日本に来て困ること 	<ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート同士の新しいグループで、自分たちの会話の内容紹介と外国人観光客が日本に来て困ることを話す。 ・アドバイスできる点を意識しながら相手の発表を聞き、自分の考えを述べる。 ・得たアイデアをワークシートに書き留める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の内容紹介をする人と聞く人がそれぞれどのような点に注意をして活動していくかを紹介し、注意点を意識づける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話内容を初めて聞く人に、自分のことばで、伝わるように話すことを心掛けることを促す。 ・「個人の活動が責任を持ってなされている」ようにする。 	読む	A	
						B	
D	<ul style="list-style-type: none"> ・発表グループに戻ってそれぞれが得たアイデアをシェアする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアをシェアして、どのアイデアを取り入れるかを話し合う。グループによっては次の課題とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がもらったアイデアを明確に発表グループのメンバーに伝えられているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「メンバー全員が責任を持って取り組まない」と活動が完成しない」ことを強調する。 	書く	A	
						B	
	<ul style="list-style-type: none"> ・会話練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を見ながら、会話練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準を改めて確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音やイントネーションなどの指導を行う。 	話す (発表)	A	
						A	
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体の前で発表表をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いい点、改善点を最低1つずつ言えるように意識的に観るように促す。 	話す (発表) 聞く	A	
						A	
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ ・挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の振り返りをする。 ・次回までの課題を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日学んだことが、実際の生活に活かされるのか、考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日学んだことが実生活につながっていくという意識を持たせる。 		A	
						A	

中2フランス語 グループワークシート

共通理解

多様な文化背景を持つ人がフランスにはたくさんいる。
フランス語がはなされる地域はたくさんある。

グループでシェアすること

- ①自分のグループの会話の内容紹介
- ②外国人観光客が日本で困るのはどんなこと？

Faites attention ! 気を付けること

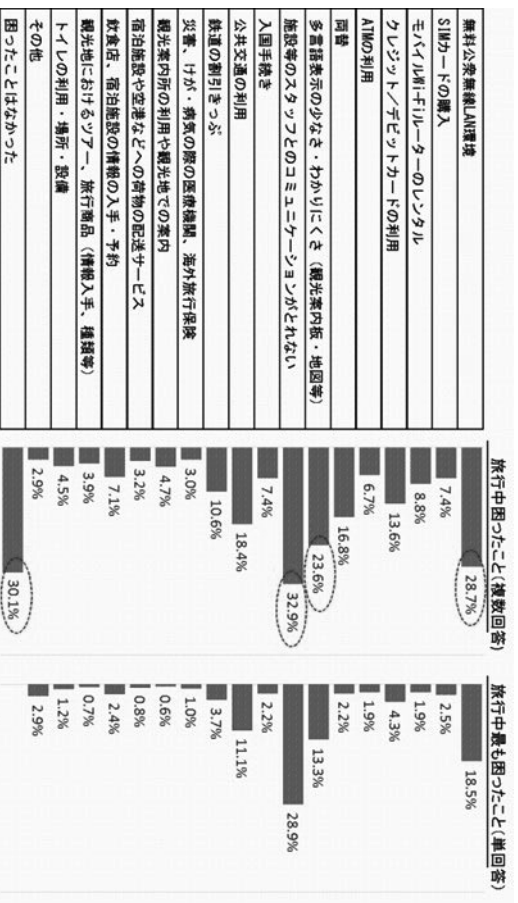
・話す人

初めて会話内容を聞く人にわかりやすく説明しよう

- ①登場人物は？（道に迷っている人は？教えてあげる人は？）
- ②場所は？
- ③外国人観光客が困っていることは？
- ④どのように教えてあげる？

・聞く人

- ①わかりにくいところがないか意識しながら聞こう
- ②よりよい発表になるようにどんなアドバイスができるか考えながら聞こう



メモ



舞台はパリの中学校。
世界の縮図のようなクラスが
1年後にたどりつく先は...？

24 人の生徒、20 の国籍、24 のストーリー。フランス中を感動に包んだドキュメンタリー。アイルランド、セネガル、ブラジル、モロッコ、中国…。世界中から 11 歳から 15 歳の子どもたちがフランスにやって来た。これから 1 年間、パリ市内にある中学校の同じ適応クラスと一緒に過ごすことになる。24 名の生徒、20 の国籍…。この世界の縮図のような多文化学級で、フランスで新生活を始めたばかりの十代の彼らが見せてくれる無邪気さ、熱意、そして悩み。果たして宗教の違いや国籍の違いを乗り越えて友情を育むことは出来るのだろうか。そんな先入観をいい意味で裏切り、私たちに未来への希望を見せてくれる作品。

Numéro _____ Nom _____



東京 2020 オリンピックで来日したフランスコナーの選手や観光客に道案内をしよう！

Module 5 (道案内) × フランスコナー × 東京 2020 オリンピック

みなさんは、前期に「スポーツについて語る表現を学習しました。夏休みには世界に広がるフランス語圏について調べ学習をしました。そして後期は、住んでいる場所を伝える表現、道を尋ねたり教えたりする表現、町に何があるかを説明する表現や移動手段の表現などを学んでいます。みなさんご存知のように、2年後には東京 2020 オリンピックが迫っています。日本政府は観光産業の底上げを成長戦略の柱の一つに位置付け、2020 年には日本を訪れる外国人旅行者を年間 4000 万人に増やす目標を掲げています。東京 2020 オリンピック・パラリンピックには、世界中の超一流アスリートがここ日本、東京へと集結しますし、非常にたくさんの人たちがやってくるでしょう。「日本にやってくるよかったです！」と喜んでもらうために一番大事なのは、もしかしたら競技場で、道ばたで、空港で、バーで、彼らが触れ合う私たち一人ひとりの存在なのかもしれません。せっかくに日本で世紀の祭典が開催されるのですから、私たちも外国人の方々とのコミュニケーションを思いっきり楽しみましょう。

今回は、東京 2020 で注目のフランスコナー選手を一部ですが紹介します。こんな選手たちや、外国人旅行者たちが道に迷ってしまっています。みなさんは、学習しているフランス語で助けを求めないわけにはいきません。道に迷ってしまっている人を設定し、紹介した選手の中から選んでも、フランスコナーの外国人旅行者でも、選手と旅行者の複数でも構いません(道案内をするシチュエーションを考え、会話を作ってください。その際、異文化である日本で彼らはどんなことに困るだろうかということを考え、それについて尋ねたり、教えたりする内容も含めてください。そして最後に、日本に住んでいるみなさんしか知らないあなたの街のとおきのおすすめのスポットについても教えてください。

課題

以下の参考にする資料と会話に盛り込む内容を使って、迷っている選手や外国人旅行者たちに道案内をしてあげ、さらにお勧めスポットを教える会話を作ってください。

参考にする資料

- ・ p.62 の Dialogue
- ・ p.63⑦の Pour indiquer un chemin 「道を教える」表現
- ・ p.64 の Inane の自分の街を紹介する表現
- ・ 「表現を増やそう」(1)～(3)プリント

会話に必ず盛り込む内容とポイント

- Je suis perdu(e)...迷っている人が複数の場合には Nous sommes perdu(e)s... 「迷っちゃったんだ」を使う。
- Traverser 「わたる」, continuer 「そのまま歩く」, tourner 「曲がる」, aller 「行く」を使う。
- Tout droit 「まっすぐ」, à droite 「右に」, à gauche 「左に」, après 「その後で」, loin de 「遠い」, près de 「近い」を使う。
- Où 「どこ」を使う。
- 表現をふやそうプリントの表現を使う。
- Vous venez de où ? どこから来たんですか？ を使う。
- Quest-ce qu'il y a d'intéressant à voir au Japon ? 日本で面白いところはどこですか？ を使う。
- フランスのメンバーの中で日本に住んでいる私たちしか知らないお勧めスポットを伝える。
- フランスコナーの国は様々な国があります。どこの国の方が・宗教は何を信じているか・食べ物や文化的背景などによって日本に来たときに困ることがあるはずですから、それを考えて、迷っている人がそれについて尋ねたり、私たちが教えたりする内容を入れましょう。

発表までの流れ・注意事項

- ★原稿は原稿提出の期日までに1回はチェックをうけること。早めに原稿を準備して発音や演技など完成度を高めていきましょう。
- ★翻訳機能を使うと、不自然な難しい表現で訳されますので使わないでください。テキスト、配布プリントで学習した表現を使い、語彙をアレンジしたりする形で作文しましょう。
- ★3分から5分程度の会話を作成してください。
- ★1人ひとりの会話の量のバランスがとれるように気を付けましょう。
- ★演出に必要な小道具は使っても使わなくてもどちらでも構いません。

採点基準

別配布の評価表に基づき一人ひとりを評価します。

原稿チェック期日 21,24 クラス 11/30 (金) 、 22,23 クラス 11/14 (水) 、 25 クラス 11/16 日 (金)

試験日 21,24 クラス 11/30 (金) 、 22,23 クラス 11/28 (水) 、 25 クラス 12/3 日 (月)

グループ グループは以下になります。グループ内の配役は、任せます。

- 21/25 奇数 (1,9,11,21,31) (3,13,19,23,33)(5,15,25,29,35)(7,17,27,37,39)
- 21/25 偶数 (2,10,12,22,32)(4,14,20,24,34)(6,16,26,30,36)(8,18,28,38)
- 22/23/24 奇数 (1,9,11,21,31) (3,13,19,23,33)(5,15,25,29,35)(7,17,27,37)
- 22/23/24 偶数 (2,10,12,22,32)(4,14,20,24,34)(6,16,26,30,36)(8,18,28,38)

東京 2020 オリンピックで来日したフランスコナーの選手や観光客に道案内をしよう！

- ① **Christophe Lemaitre** クリストフ・ルメートル選手
フランス陸上界の星は、ドラゴンボールとフアイナルファンタジー大好きな日本通！



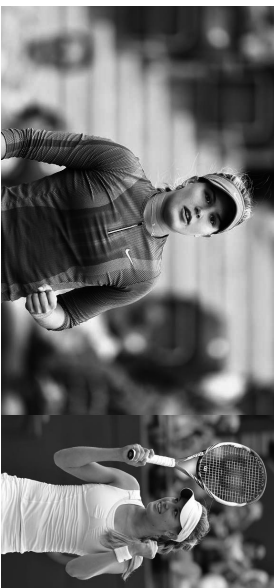
陸上の 100m と 200m を専門とするフランス人のクリストフ・ルメートル選手は 2010 年 7 月、20 歳の時に挑んだフランス選手権の男子 100m で 9 秒 98 のフランス新記録を達成し、自身初の 10 秒台の壁を破りました！そしてその勢いはとどまることを知らず、翌月の大会で 9 秒 97 をマークし自身を持つフランス記録を更新！2011 年にはさらに記録を伸ばす 9 秒 92 を出し、現時点でこのタイムが自己最高記録！そしてこれまで 7 度の 9 秒台を記録しています!! スポーツ一家で育った彼は、父親が元レスリング選手でフランス国内の大会で上位に入るほどの実力者とのこと。しかしレスリングに執着させずハンドボールやサッカー、ラグビーとさまざまな競技をさせる教育を施していく中、ほとんどトレーニングを行わずに参加した陸上大会の 100m で 11 秒 46 を記録。周りが騒然とするような足の速さを披露したことにより周囲から陸上を勧められ、15 歳の時に本格的に短距離を始めたそうです。そしてその翌年、100m で 10 秒 96 をマークし、フランス陸上界の新星として大きな注目を浴びるようになりました。100m の印象の強いルメートル選手ですが、200m もヨーロッパを代表する選手で、2008 年の世界ジュニア選手権優勝、2010 年ヨーロッパ選手権優勝、そして 2016 年のリオデジャネイロオリンピックでは銅メダルを獲得しており、自己記録の 19 秒 80 はフランス国内の最高記録となっています。名実ともに世界トップクラスの選手であり、加えて甘いルックスを兼ね備える美男子。海外でもとても人気の高いルメートル選手は日本通としても知られています。特に日本のアニメゲームが好きで、小さいころからの愛読書はドラゴンボール！そしてゲームの「フアイナルファンタジー」シリーズは全作プレイしているとのこと！日本で陸上大会が行われた際は秋葉原に向き、フアイナルファンタジーグッズを購入して帰ったというエピソードも残っています。28 歳となり成熟期を迎えるルメートル選手ですが、まだまだ進化を遂げるその姿が東京の地でもきっと見られることでしょう！ まだまだ目が離せません。

- ② **Teddy Liner** テディ・リネル選手
柔道界で圧倒的な強さを見せる「テディ・ベア」は心優しいナイフガイ!!



身長 204cm で体重 129kg の大柄な体型から得意の大外刈りや内股など繰り出し、世界選手権 8 大会連続優勝、100kg 超級 7 連覇するなど圧倒的な強さを誇っているのが、テディ・リネル選手！2000 年シドニーオリンピックで金メダルを獲得し現在男子日本代表の監督を務める井上康生氏を模範としており、無類の強さを見せ続けているリネル選手ですが、その愛くるしい笑顔が女性のハートをつかみ、そのイケメンさと人間離れた強さから「テディ・ベア」という愛称で親しまれています！リネル選手は 1989 年、フランスの海外県でカリブ海に浮かぶ西インド諸島の一角、小アンツィル諸島に位置するグアドループで生まれました。5 歳のころにフランスに移住し、柔道のほかサッカー、陸上、水泳、バスケツポールとさまざまなスポーツに触れたリネル選手でしたが、大会で実績を残し続けていた柔道に本格的に向き合うようになると、みるみると上達し頭角を現すようになります。14 歳の時にフランスの指定強化選手に選ばれると、2007 年の世界選手権で憧れの存在だった井上康生選手を破る大金星！そして男子では史上最年少となる 18 歳 5 カ月で優勝を果たしたのでした。初めてのオリンピックは 2008 年の北京大会。準決勝で敗れるものの敗者復活戦の末、銅メダルを獲得！そして 4 年後のロンドン大会では積極的に攻めるスタイルで勝ち上がり、決勝でもそのスタイルを崩さずついに念願の金メダルを獲得したのでした！2016 年リオデジャネイロ大会でも勢い衰えずオリンピック連続優勝を果たしたリネル選手。その強さから総合格闘技のオプナーもあつたことですが、当の本人は「体が傷つき、子どもたちの前で危険なことではできない」という理由でまったく興味を示さなかったそうですよ。2007 年の 100kg 超級初優勝から数えて世界選手権 8 連覇中というリネル選手ですが、今年 9 月の世界選手権には出場を辞退する意向とのこと。連覇の夢は儚く消滅。31 歳で迎える 2020 年の東京オリンピックに照準を合わせるため日程を稼ぐためとのことですが、表舞台での露出を控えるという状況となっている今、今後の去就が注目されています。

③ 選手 「ポニーテールの天使」の“男前”な約束、一般男性と賭けでデート？



美人女子テニスプレイヤーとして今脚光を浴びているのがポニーテールの天使ともいわれるウー・ジンイー。ウインブルドン選手です。カナダのケベック州出身のウインブルドン選手は5歳からテニスを始め、2012年のウインブルドンジュニアダブルスとダブルスで二冠を達成！翌年からはプロに転向し全仏オープンで初戦を突破し、2回戦でマリヤ・ピヤラポワ選手と対戦。敗れはしたものの接戦を演じたウインブルドン選手に対して多くのテニスファンから期待のこもった眼差しが向けられるきつかけとなり、この年の年間最優秀新人賞を受賞しました！2014年も彼女の躍進は止まることを知らず。全豪オープンベスト8、全仏オープンではベスト4入りを達成。そしてウインブルドンではカナダ女子選手として初めてとなる決勝に進出し準優勝を果たし、4大大会で大きな実績を残しました！ラッキンガムも一気に飛躍し、ウインブルドン終了後には7位。この年の最高順位は5位にまで達し順風満帆の競技生活を送っていました。ところが2015年、彼女は極度の不振に陥り、期待されていた全仏オープンとウインブルドンでは初戦敗退。全米オープンではダガリスの競技終了後に足をすべらせ頭を強打するアクシデントに見舞われ、その後の大会において脳しんどうの後遺症に悩まされ競技に集中できない状況に陥り、散々な一年となってしまいました。怪我を完治させて迎えた2016年、ツアー大会で決勝進出を果たすなど復調をアピール。豪快なサーブで主導権を握りコースに打ち分けるストロークを見せる攻撃的なテニスで、2014年のニュルンベルクオープン以来となるツアー優勝に向けてチャレンジし続けます。またウインブルドン選手はSNSを積極的に活用しファンとのコミュニケーションを展開していて、アメリカンソフトボールのスーパースターが開催された際は、Twitter上で知り合った一般男性とどちらかが勝つかを勝負し、その賭けに負けたウインブルドン選手はその男性とデートするという公約を果たし世間を驚かせました！そしてアメリカのスポーツ誌の水着特集号で鍛え抜かれた美貌とキュートな笑顔を披露したウインブルドン選手の人気は急上昇し、彼女のInstagramのフォロワー数は170万人にのぼっています。

④ Stéphane Houdet ステファン・ウデ選手 車いすテニスで最強の2組の双子の父！



ロクールニートラントイック県サンニナゼールに生まれる。右利き。8歳でテニスを始め、ロクール地方で開催されたジュニア大会で優勝経験もつ。1996年、オートバイ事故で左大腿部を切断、2001年から2006年まで、義足でプレーする障害者ゴルフにおいてフランス国内選手権を6連覇した。ヨハン・クライフのもとで障害者ゴルフのワールドツアー実現を目指して働いていた時期に、障害者スポーツにおける先駆者として車いすテニスに注目。少年時代のテニス経験や、2012年のロンドンオリンピックにおいてゴルフが実施競技から外れたこともあり、自らが国際的に競技できる場として、2005年、34歳で車いすテニスを始める。2007年には男子シングルスの世界ランキンング3位にまで駆け上がり、2008年、パリンピック初出場となる北京大会では、ミカエル・ジェレミアスと組んだ男子ダブルスで金メダルを獲得した。

⑤ Anissa Kheifaoui アニサ・ヘルフアウイ選手 アスリートでフェンシング期待の星！



1991年8月29日生まれ。北京、ロンドン、リオと3度のオリンピック出場を果たし、金銀銅のメダルを獲得。現在東京2020に向けてトレーニングを積んでいる。



東京 2020 オリンピックで来日したフラッコフオニーの選手や観光客に道案内をしよう！

Module 5 (道案内) × フラッコフオニー × 東京 2020 オリンピック

Les membres du groupe (グループメンバーの番号と名前)

Pourquoi ? (なぜその人物を選んだか)

参考にする資料

- ・ p.62 の Dialogue
- ・ p.63⑦の Pour indiquer un chemin 「道を教える」 表現
- ・ p.64 の Imane の自分の街を紹介する表現
- ・ 「表現を増やそう」 (1) ~ (3) プリント

会話に必ず盛り込む内容とポイント

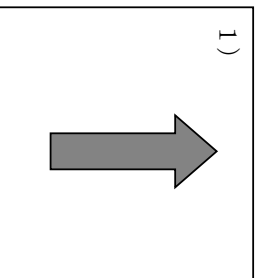
- Je suis perdu(e)...迷っている人が複数の場合には Nous sommes perdu(e)s... 「迷っちゃったんだ」を使う。
- Traverser 「わたる」, continuer 「そのまま歩く」, tourner 「曲がる」, aller 「行く」を使う。
- Tout droit 「まっすぐ」, à droite 「右に」, à gauche 「左に」, après 「の後ろで」, loin de 「遠い」, près de 「近い」を使う。
- Où 「どこ」を使う。
- 表現をふやそうプリントの表現を使う。
- Vous venez d'où ? どこから来たんですか？ を使う。
- Qu'est-ce qu'il/ya d'intéressant à voir au Japon ? 日本で面白いところはどこですか？ を使う。
- フラッコフオニーのメンバーの中で日本に住んでいる私たちしか知らないお勧めスポットを伝える。
- フラッコフオニーの国は様々な国があります。どこの国の方が・宗教は何を信じているか・食べ物や文化的背景などによって日本に来たときに困ることがあるはず。それを考えて、迷っている人がそれについて尋ねたり、私たちが教えたりする内容を入れましょう。

MODULE 5 Imane



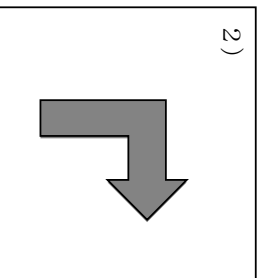
♪ 表現を増やそう(1) ! ♪

宿題プリント⑮の道順の説明、P. 63 COMMUNICATION⑧で道案内をするときなど、
P. 63 COMMUNICATION⑦や下の表現を参考にしましょう。



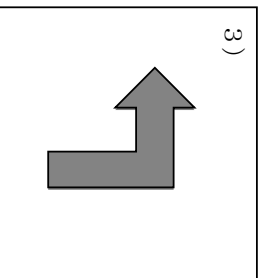
tout droit まっすぐ

- Tu continues tout droit.
- Tu *vas tout droit. *vas < aller(行く)動詞の活



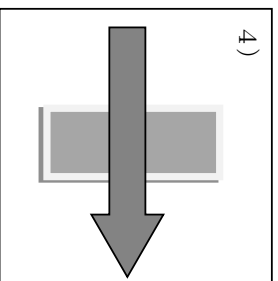
à droite 右に(〜)

- Tu tournes à droite.
- Tu tournes à droite, rue Goscinny.
- Tu prends la première (rue) à droite.
- Tu prends la deuxième (rue) à droite.
- Tu prends la troisième (rue) à droite.



à gauche 左に(〜)

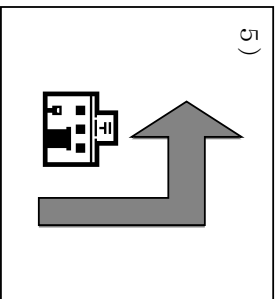
- Tu tournes à gauche.
- Tu tournes à gauche, rue Goscinny.
- Tu prends la première (rue) à gauche.
- Tu prends la deuxième (rue) à gauche.
- Tu prends la troisième (rue) à gauche.



Traverser 横切る、渡る

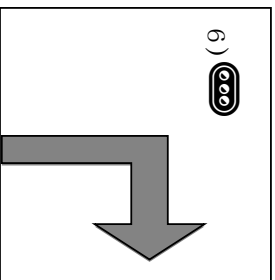
- Tu traverses la rue.
- Tu traverses le pont.
- Tu traverses la place.

他にも、こんな表現もあります。



après ~ ~を過ぎて

・Tu tournes à gauche après la poste.



avant ~ ~の手前に、で

・Tu tournes à droite avant le feu.

また、順番を言う場合は次の表現を使います。

d'abord まず
puis そして、次に
ensuite そして、次に
enfin 最後に

— Je suis perdu. Je suis sur le pont de Tolbiac. C'est loin, chez toi ?

僕、迷っちゃったよ。トルビアック橋の上にいるんだけど。遠いの、君の家は？

— Non. D'abord, tu continues tout droit, puis tu prends la troisième rue à gauche et ensuite tu tournes à droite, rue Goscinny et enfin, c'est au numéro 8. À pied, c'est à 10 minutes du pont de Tolbiac.

いいえ。まず、まっすぐ進んで、そして3つ目の通りを左に曲がって、それからゴッジニ通りを右に曲がって。そうしたら、8番地よ。歩きだと、トルビアック橋から10分ね。

MODULE 5 Imane



J 表現を増やそう(2)！ J

宿題プリント②③、P. 61 と P. 64 を参考に自分の街、地区について言ってみましょう。

以下の単語も自由に使って作りましょう。

Dans mon quartier ~ 私の地区では	Dans ma ville ~ 私の街では
J'habite à ~ ~に住んでいます	
Il y a ~ ~があります	beaucoup de ~ たくさんのも
J'aime ~ ~が好きです	J'adore ~ ~が大好きです

街の中にある単語を増やしましょう！(赤字はp. 113のイラストの単語です)

la ville	街	la place	広場	le jardin	庭園
le monument	建造物	le théâtre	劇場	le parc	公園
le stade	競技場	la bibliothèque	図書館	la rue	通り
le cinéma	映画館	l'aéroport	空港	la gare	駅(JRなど)
le musée	美術館・博物館	la poste	郵便局	le métro	地下鉄
le pont	橋	l'école	学校	la station de métro	駅(地下鉄)
le port	港	l'école primaire	小学校	le bus	バス
la rivière	川	le collège	中学校	l'arrêt de bus	バス停
la mer	海	le lycée	高校	la voiture	車
la police	警察	l'université	大学	le vélo	自転車
l'hôpital	病院	le café	カフェ	la station-service	ガソリンスタンド
l'hôtel	ホテル	le restaurant	レストラン	le carrefour	交差点、十字路
le bureau	オフィス	la pharmacie	薬局	le trottoir	歩道
le magasin	お店	la boucherie	お肉屋	la route	道路
le grand magasin	デパート	la boulangerie	パン屋	la piste cyclable	自転車専用道路
la boutique	お店	la pâtisserie	お菓子屋	le passage piéton	横断歩道
le supermarché	スーパー	la librairie	本屋	le feu	信号
la banque	銀行	la mairie	市役所	le feu rouge	赤信号
la piscine	プール	l'église	教会	le feu vert	青信号

場所を表す前置詞も増やしましょう！

près de ~	~から近くに	loin de ~	~から遠くに
en face de ~	~の正面に	dans ~	~の中に
sur ~	~の上に	sous ~	~の下に
devant ~	~の前に	derrière ~	~の後ろに
au coin de ~	~の角に	au bout de ~	~の突き当りに
entre A et B	AとBの間に	à côté de ~	~の横に
jusqu'à ~	~まで		

好きな理由を言うときは、

★ J'aime (ma ville / mon quartier) parce qu'il y a

があるから私の(町 / ところ)が好き。

の中に単語を入れてあげればいいですね。

例えば、la Tokyo Skytree スカイツリーがあるから

des jardins 庭園があるから

la mer 海があるから

la nature 自然があるから

de la verdure 緑があるから

★ J'adore (ma ville / mon quartier) parce que c'est + ~だから私の住んでいる(町 / ところ)が大好き。

は次の単語を入れてみましょう。

pratique 便利だから

animé にぎやかだから

tranquille 静かだから

beau きれいだから

propre 清潔だから

MODULE 5 Imane



J 表現を増やそう(3) ! J

いろいろな表現があります。アレンジして使ってみましょう。

Pardon, Madame ! / Monsieur !
 Où est la poste, s'il vous plaît ?
 Pour aller à la gare, s'il vous plaît ?
 Je cherche le musée du Louvre.

すみません！
 郵便局はどこですか？
 駅に行きたいんですが。
 ルーヴル美術館を探しています。

Pourriez-vous m'indiquer où je suis, sur cette carte ?

この地図のどこにいるのか教えてくださいませんか？

Comment s'appelle cette rue ?
 Il y a une banque, près d'ici ?

この通りは何と云うんですか？
 この辺には銀行はありますか？

C'est en face.
 C'est sur votre droite.
 C'est sur votre gauche.

向かいです。
 右手にあります。
 左手にあります。

Désolé(e), je ne suis pas d'ici. Demandez à quelqu'un du quartier.

すみません、ここではありませんので。土地の人に聞いてみてください。

C'est à côté du café.
 C'est entre la librairie et la boulangerie.
 C'est loin, à pied ?
 Environ cinq minutes.
 Le mieux, c'est de prendre un taxi.

カフェのとなりです。
 本屋とパン屋の間です。
 歩くと遠いですか？
 5分くらいです。
 タクシーで行くのがいちばんいいですよ。

La Tour Eiffel, c'est quelle station ?

エッフェル塔に行くには、どの駅がいいですか？

Où est-ce que je prends le train / le bus / le métro pour ~ ?

～に行く電車/バス/メトロはどこで乗れますか？